

CONTENTS

prologue

3

Vol.1 Blenda Lockhart

～ブレンダ ロックハート～

5

Vol.2 Luven Alhadi

～ルヴェン アルハーディ～

37

Vol.3 Akihiko Sakata

～サカタ アキヒコ～

69

Vol.4 Anita Diamonte

～アニタ ディアモンテ～

101

Vol.5 Crimson Blow

～クリムゾン ブロウ～

133

Vol.6 Royce Felder

～ロイス フェルダー～

165

epilogue

197

GUNHAZARD who's who

キャラクターリスト

198

postscript

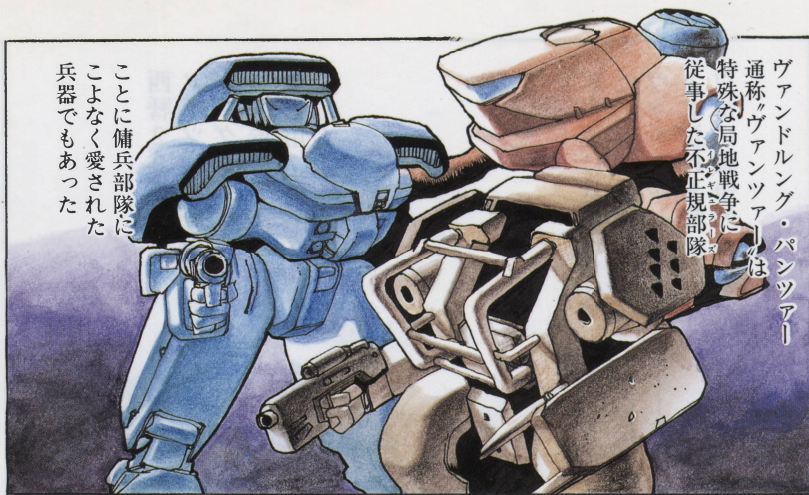
あとがき

199

西暦2030年
ドイツの大型機械メーカー
ガングシュナイダー社は
二足歩行型作業機械の
軍事用プロトタイプを
初めて世に送り出した

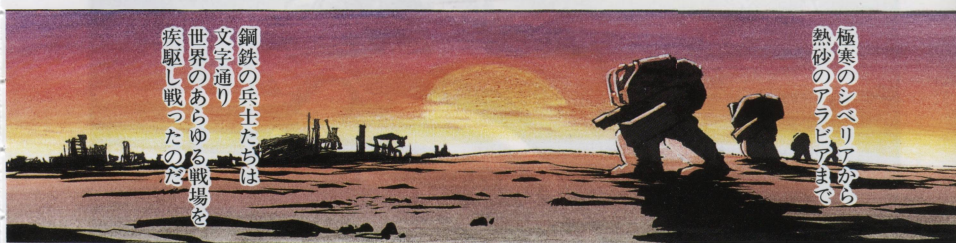
軍事用に武装化された
この奇妙な鋼鉄のけものたちは
ヴァンドルング・パンツァー(歩く戦車)
と名付けられ
以後の戦争の主役を担うこととなった





ヴァンドルング・パンツァー
通称「ヴァンツァー」は
特殊な局地戦争に
従事した不正規部隊

ことに傭兵部隊に
こよなく愛された
兵器でもあった

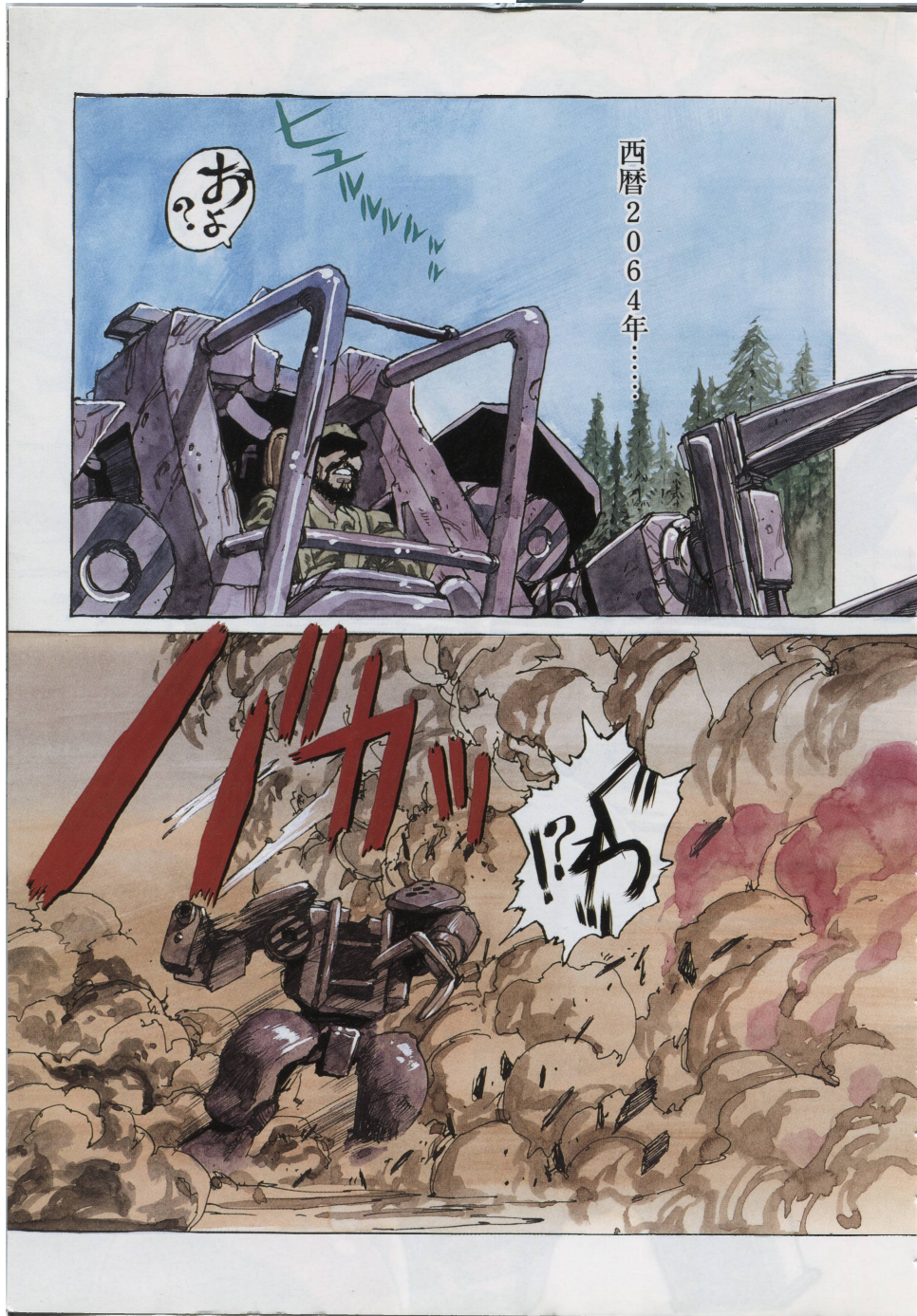


極寒のシベリアから
熱砂のアラビアまで

鋼鉄の兵士たちは
文字通り
世界のあらゆる戦場を
疾駆し戦ったのだ



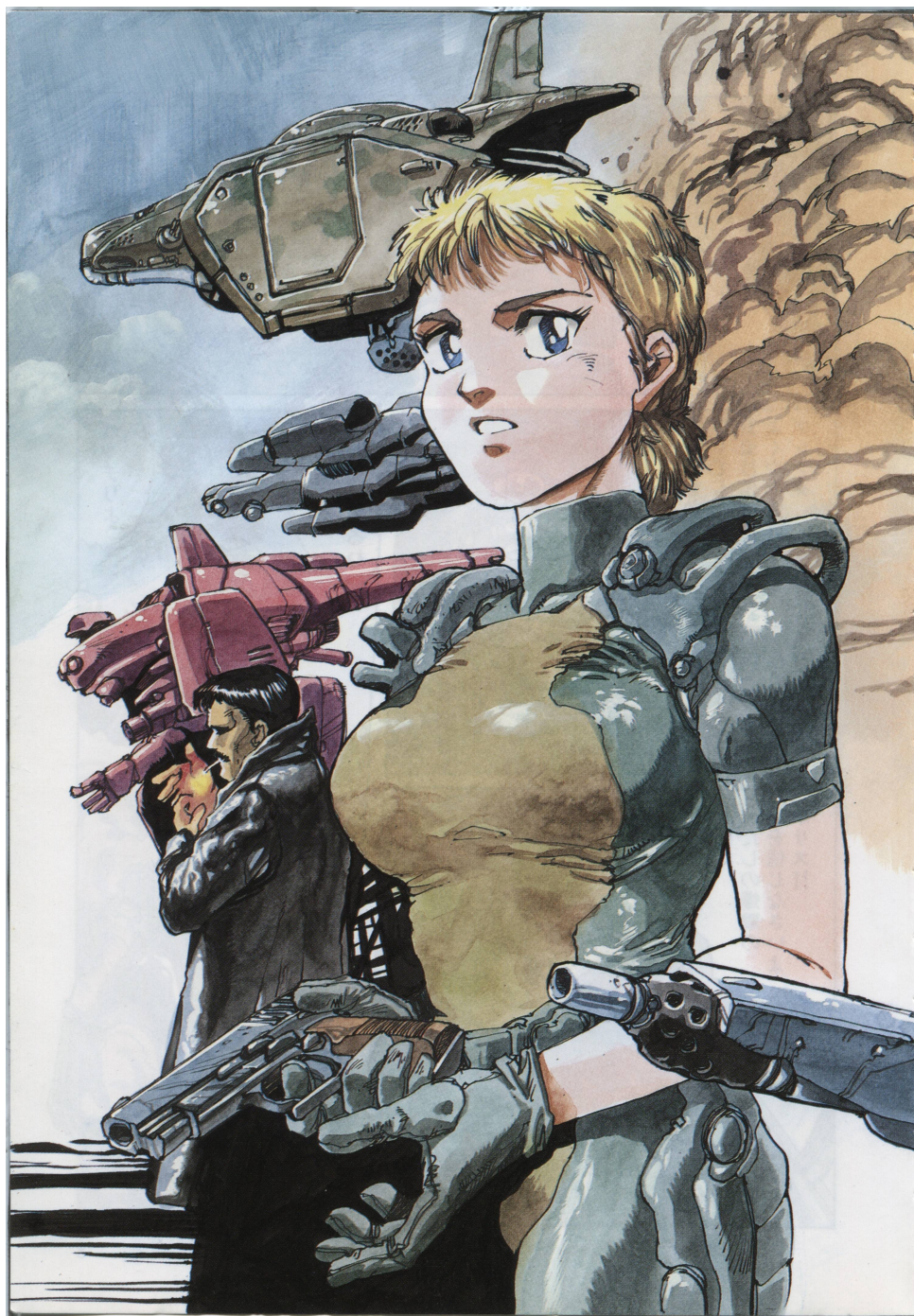
この物語は
つねにヴァンツァーと共にあった
彼等の物語である

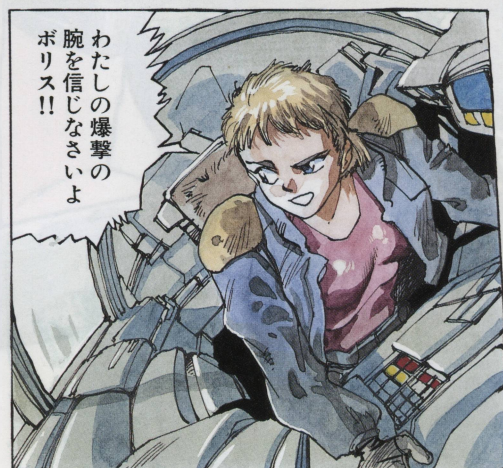
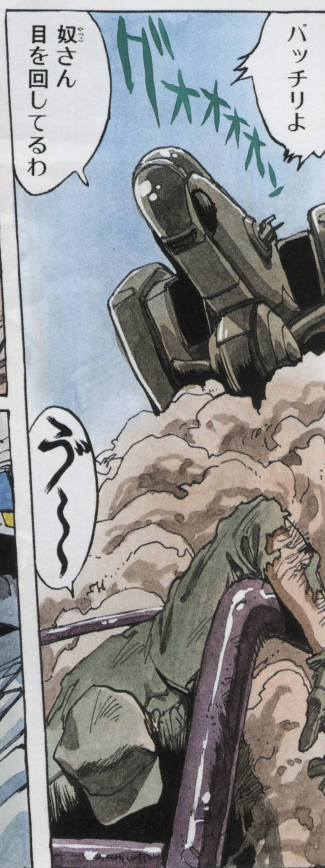




Vol.1 Blenda Lockhart

～ブレンダ ロックハート～



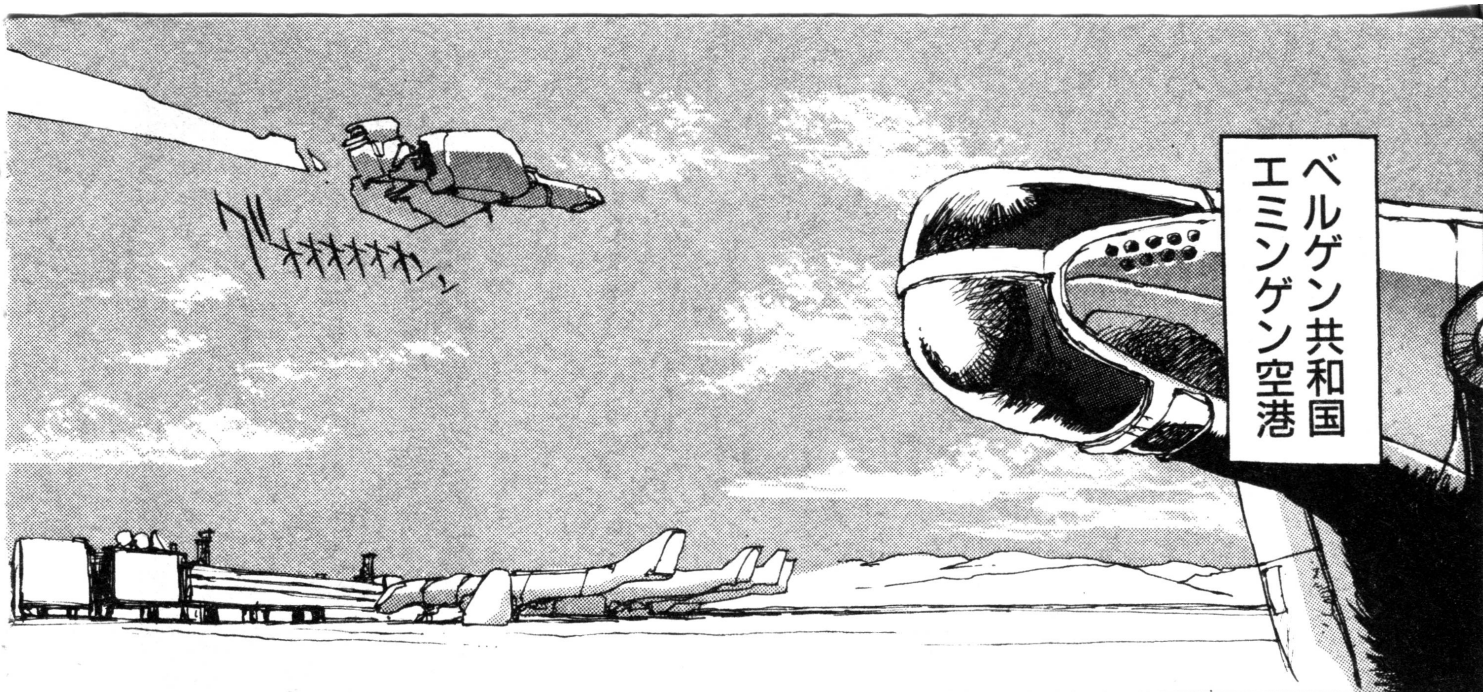


明日は当局に
奴の身柄を引き
渡したら
仕事は終わりでしょ

ねえボリス

久しぶりに
ゆつくりと街に出て
買い物でも
しようよ





ベルゲン共和国
エミンゲン空港

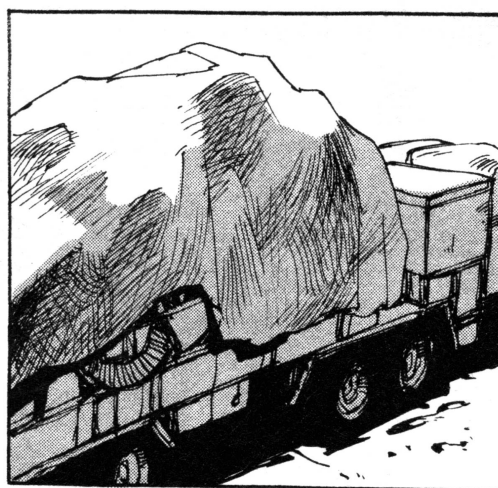


ん？



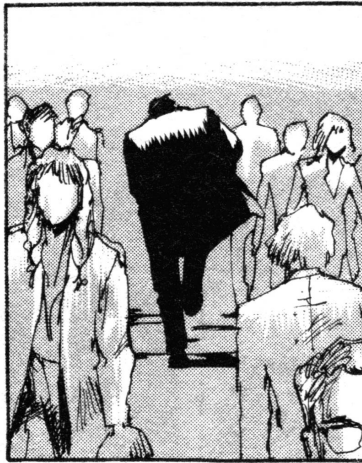
いろいろ買い物が
できそうね――

けっこう
都会じゃない





もう...



ちよつと
ボリス!!
どこへ...

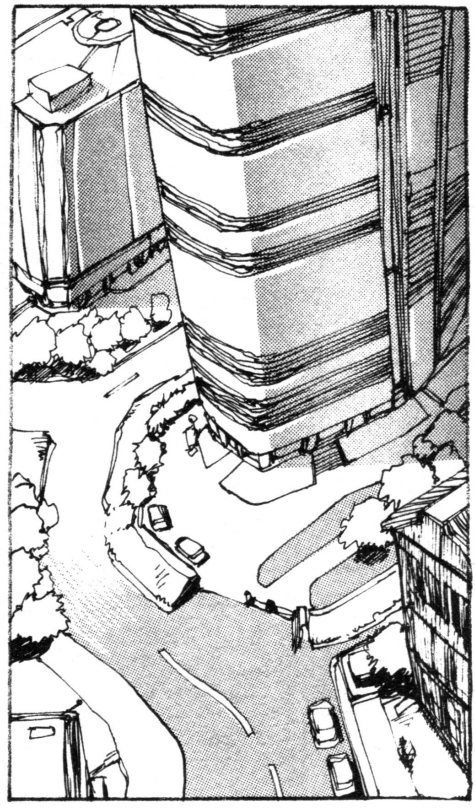


? シュラムだが

千ヤ



70
ル
ル
ル
ル



ボリスだ

いやなに

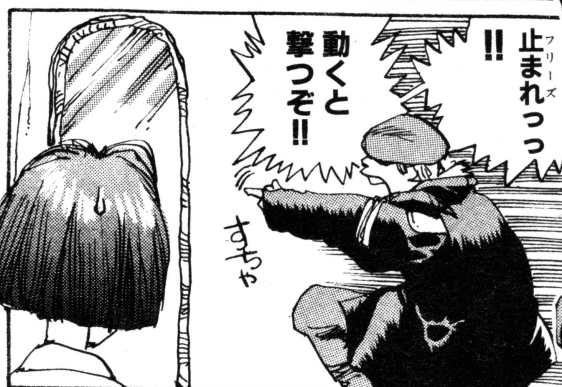
懐かしいな

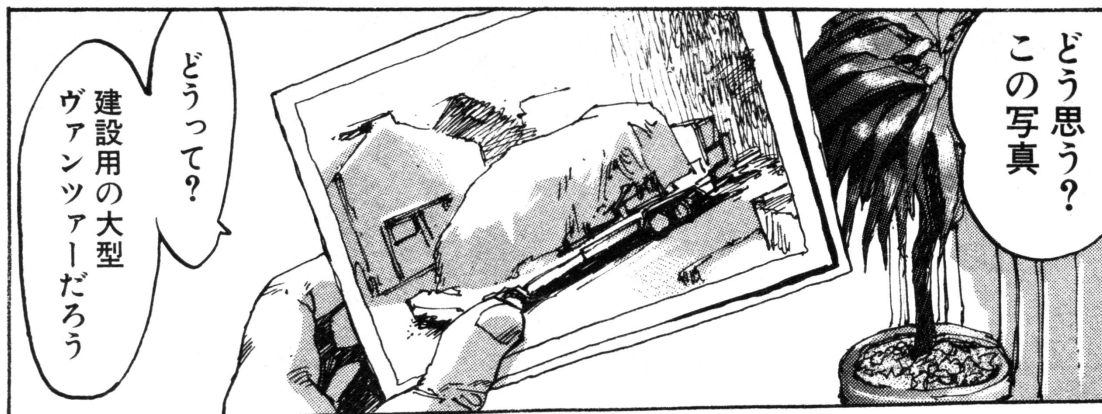
ああ

うむ

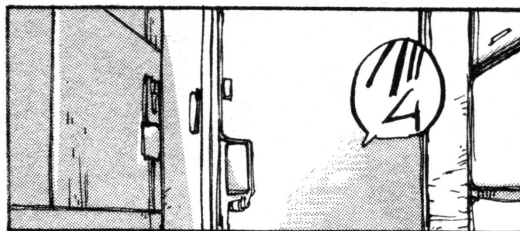
ちよつと
時間が取れないか?



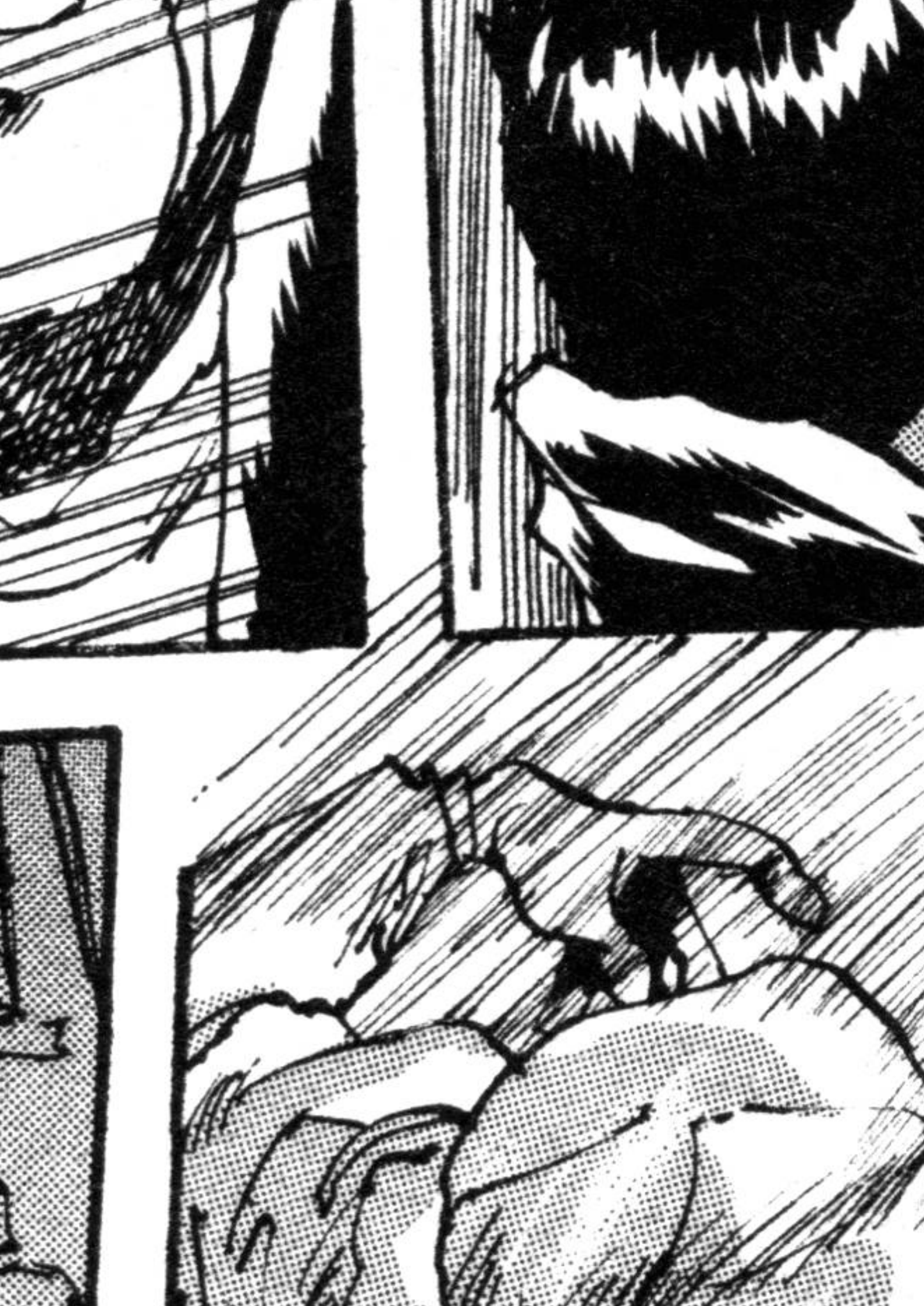






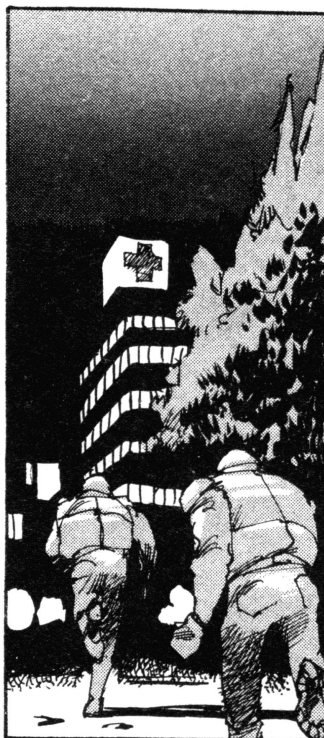
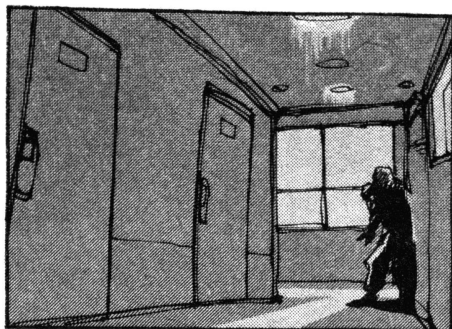


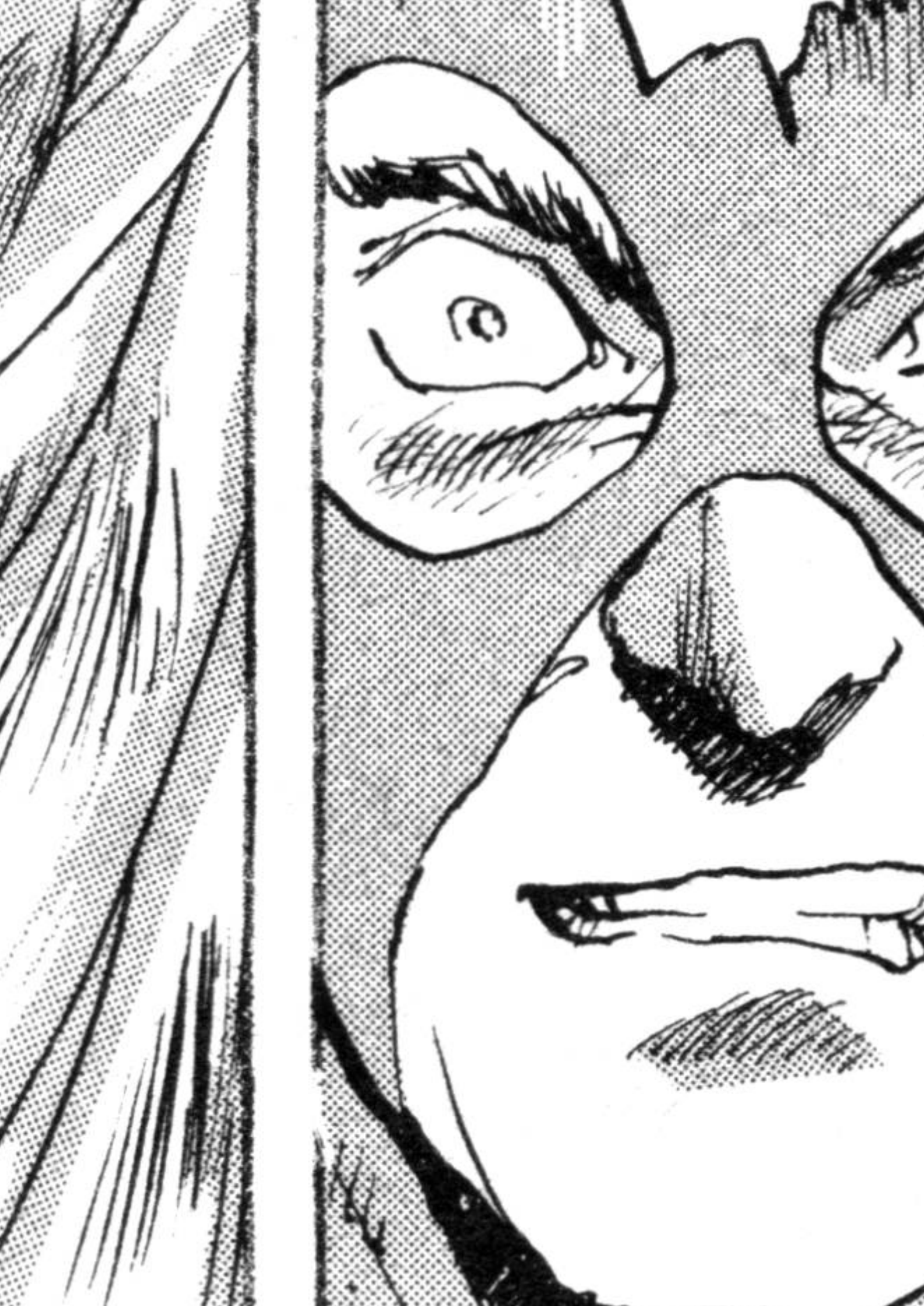


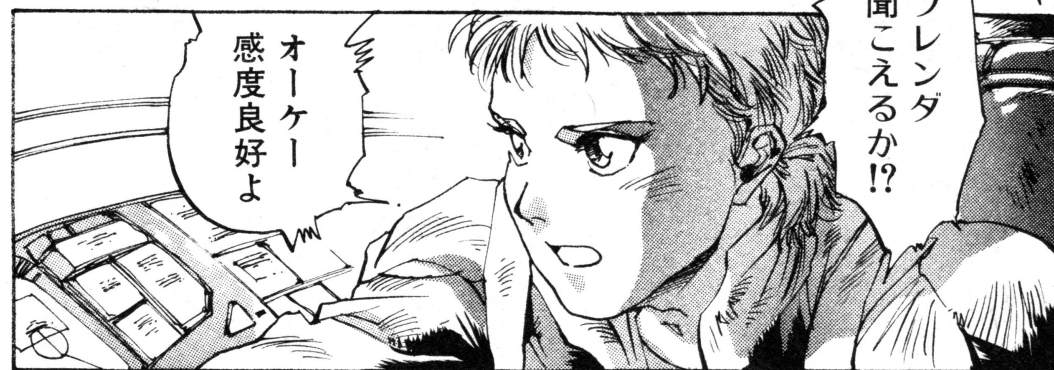
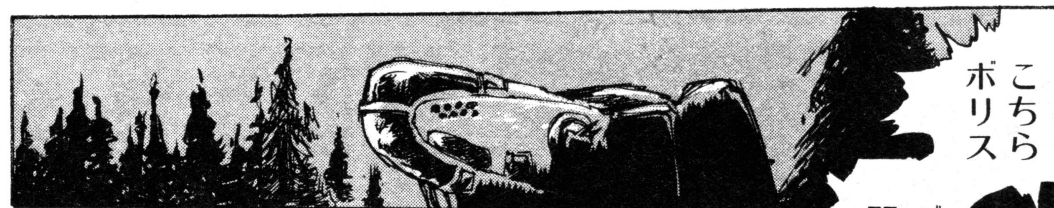
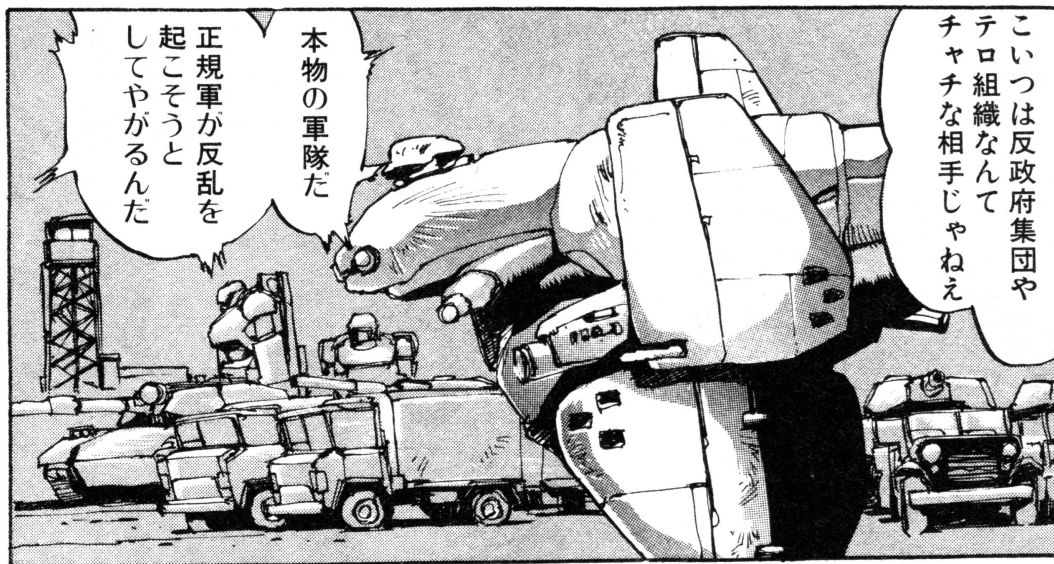


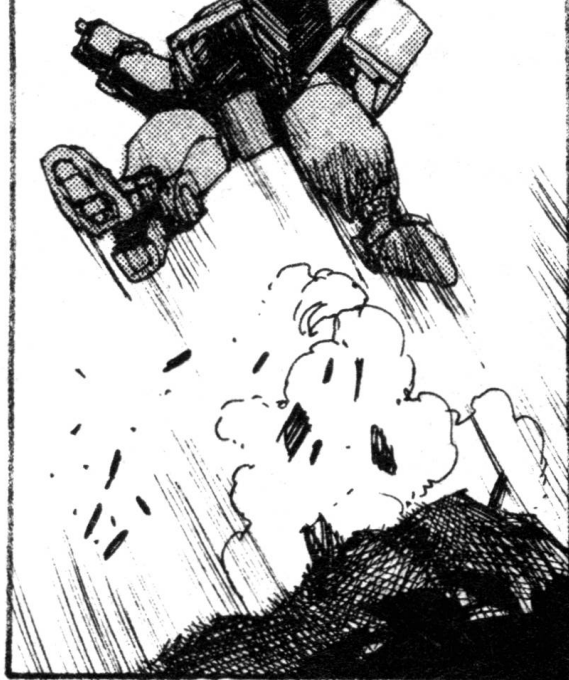




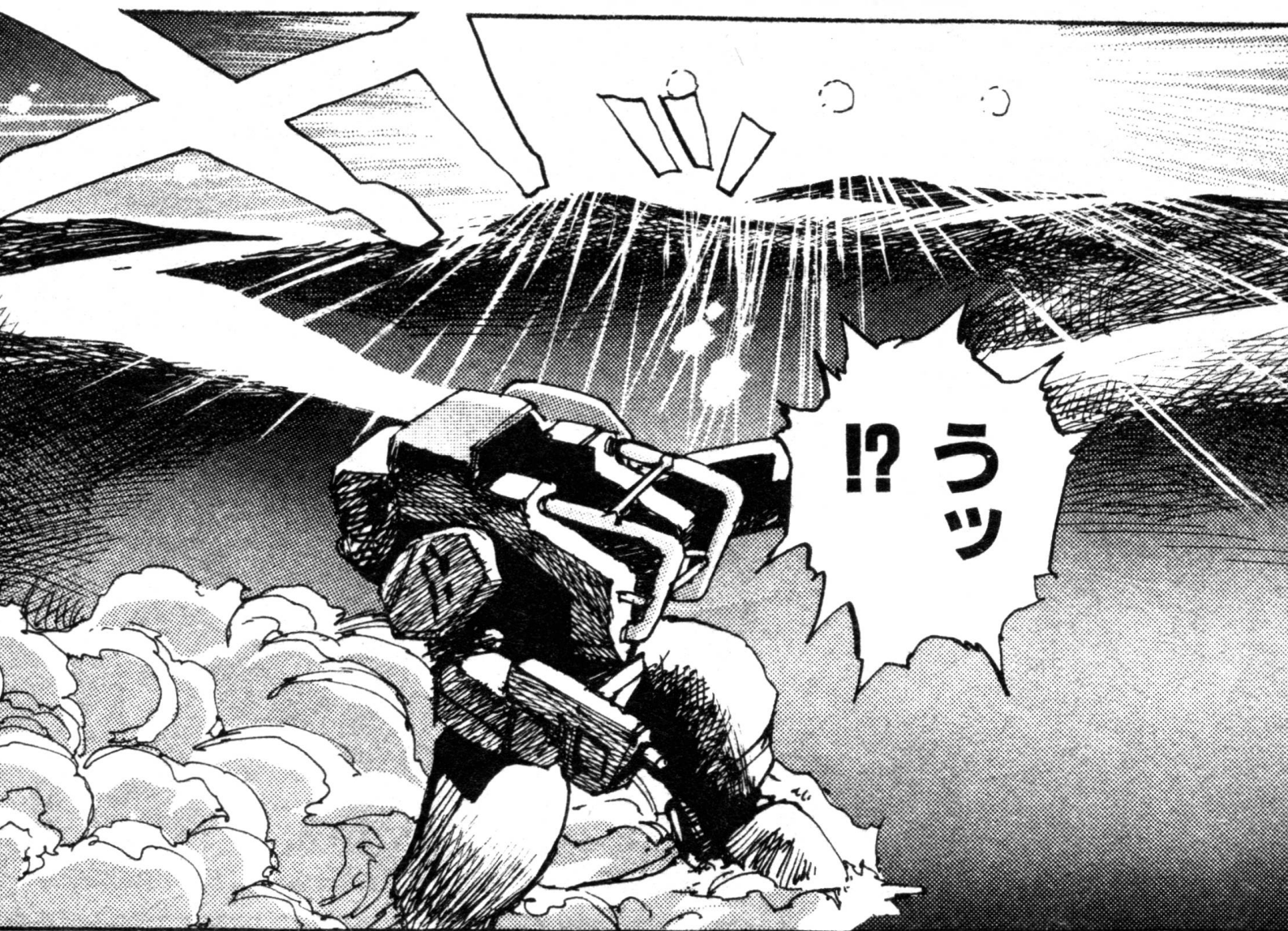








地点で
くれ



!? うッ





!! ボリス

やるじゃないか
きみにはまんまと
一杯くわされたよ



やむを得ん

もう
時間がないのだ

こんな形で
会いたくはなかったが



シラム:

やはり
おまえか



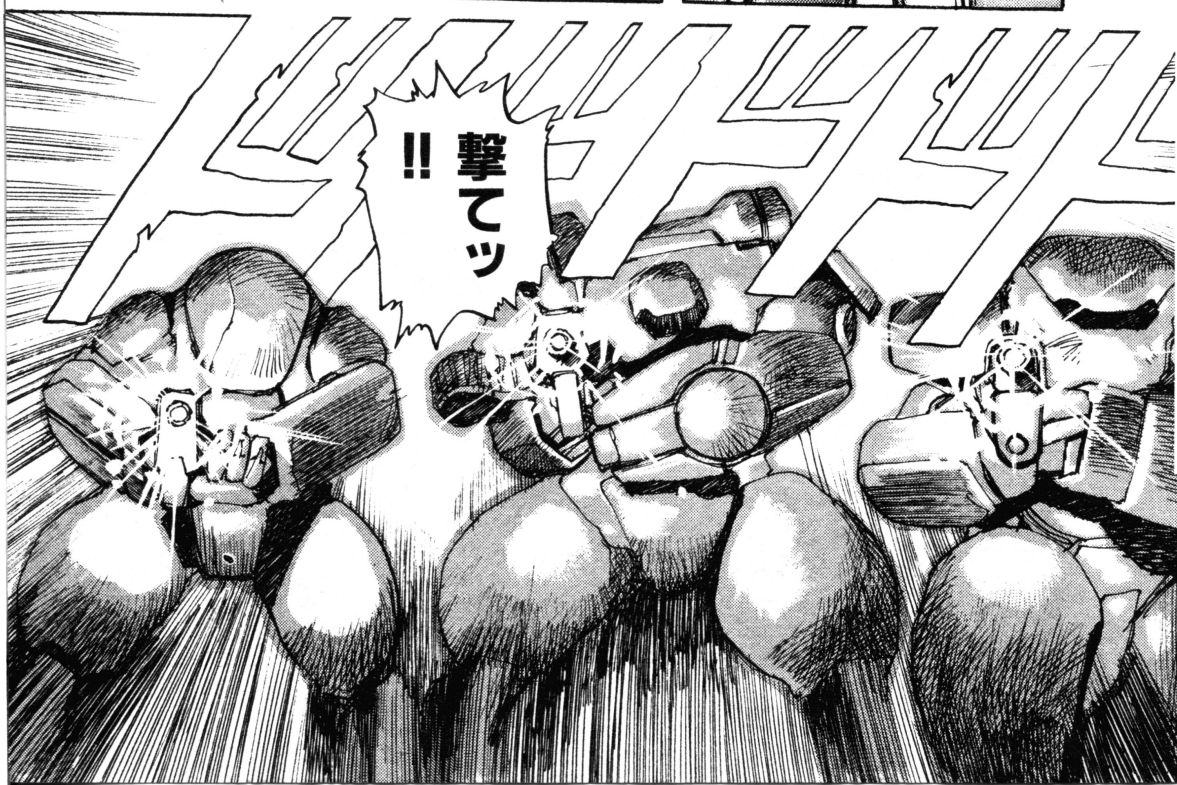
いかん!!

ブレンダ
来るなっ!!

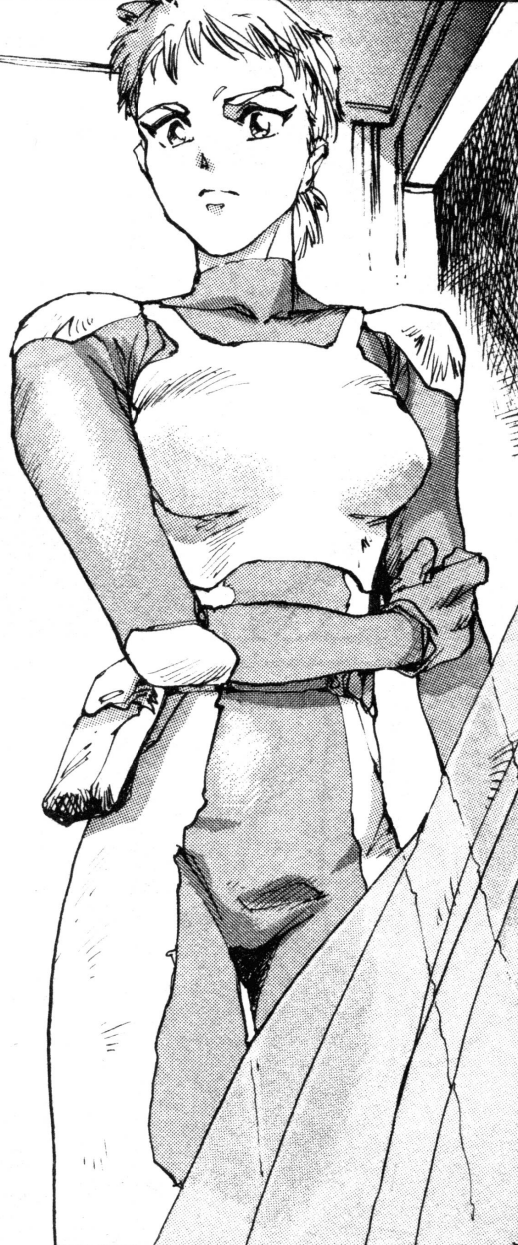
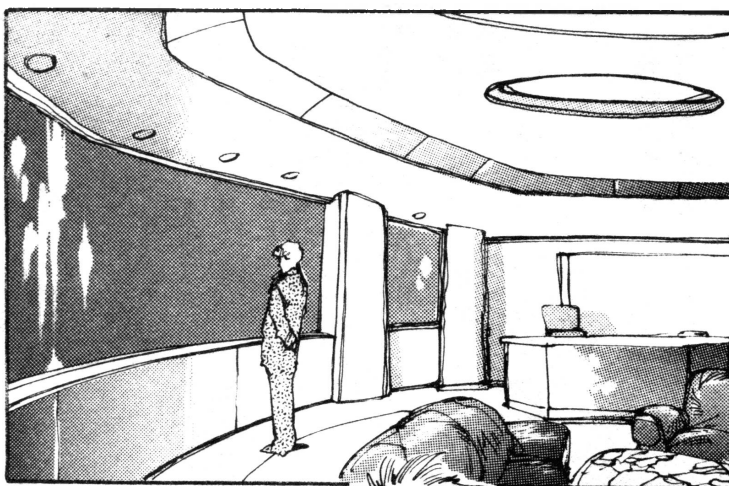


!? シラムが

ボリス
待って!!
5分で着くわ

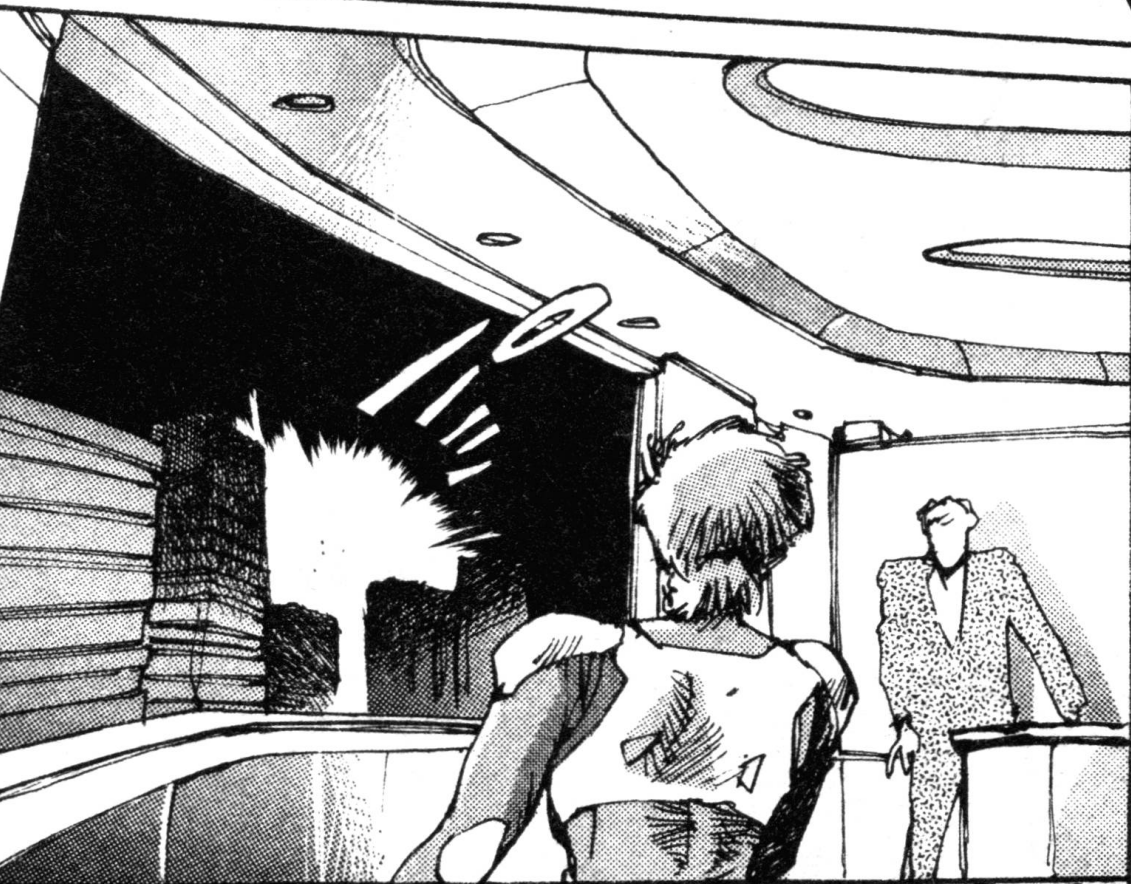








!? は



時間だ

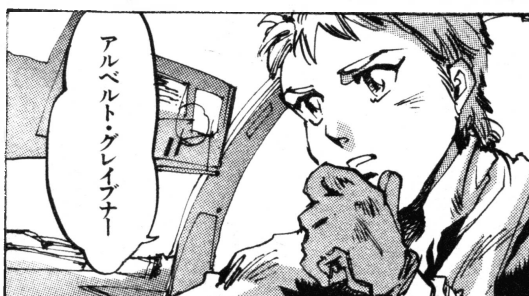
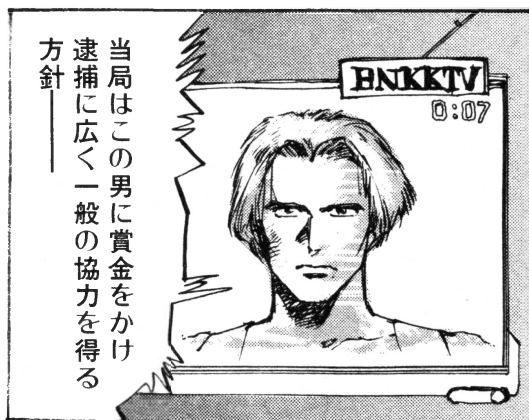
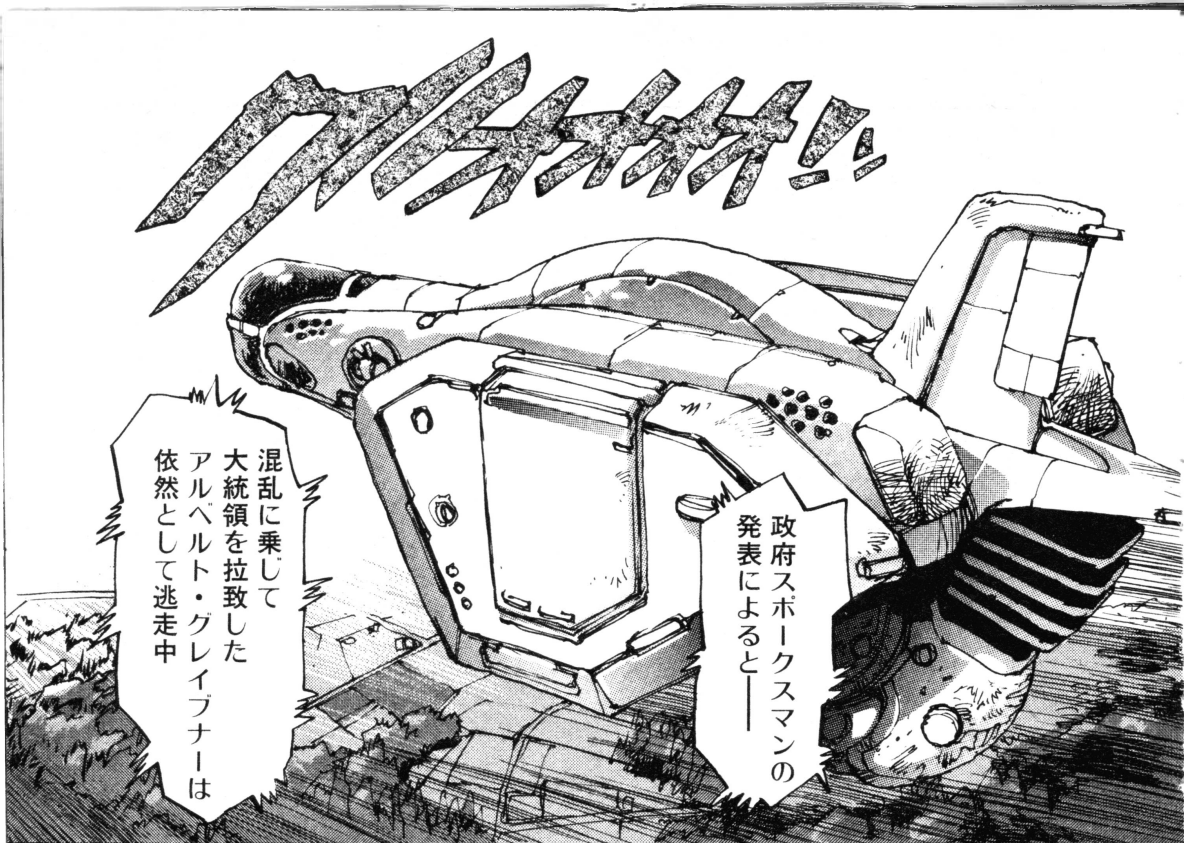


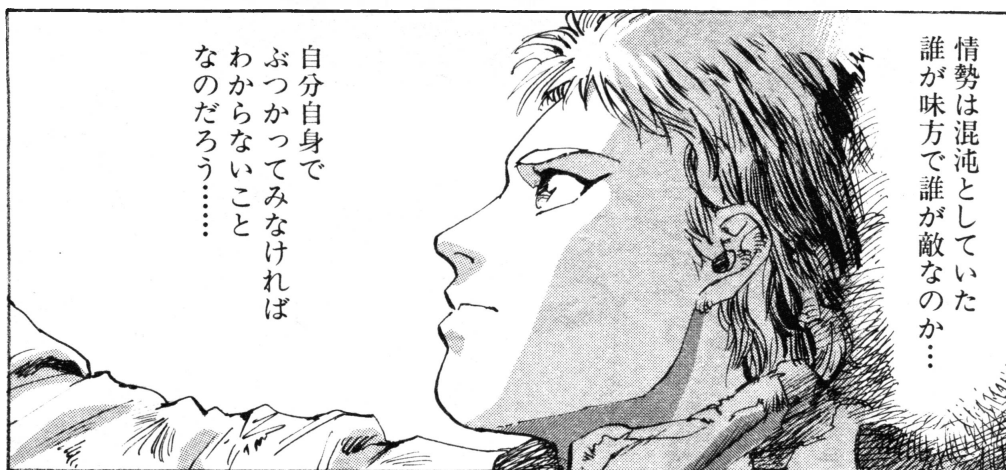
すぐに
わかる











情勢は混沌としていた
誰が味方で誰が敵なのか…

自分自身で
ぶつかってみなければ
わからないこと
なのだろう……



だがこの国を
離れる気には
ならない

あたしの
知らないところで
何かが動いている…
それがなんなのか

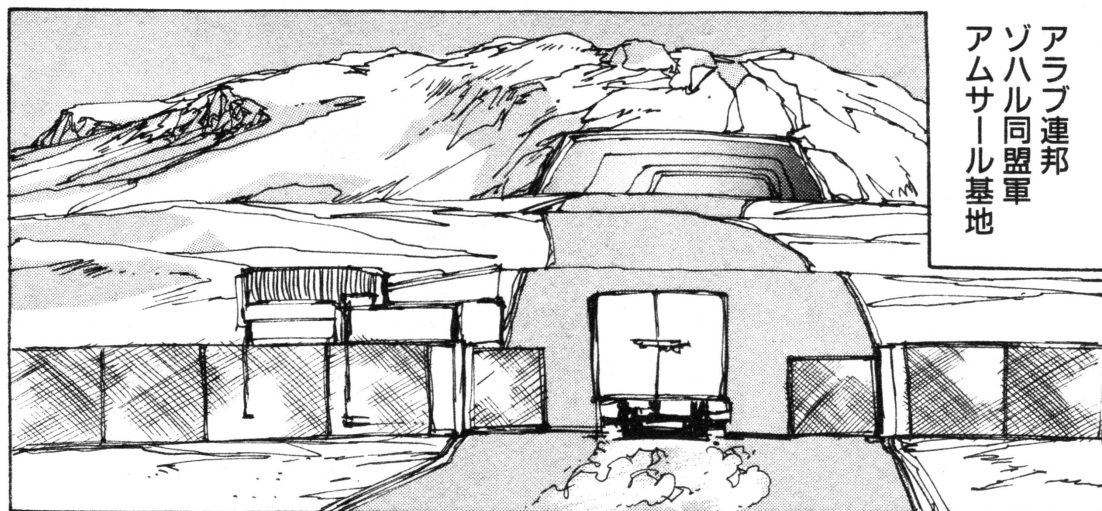
自分自身で
たしかめてみよう
……
そう心に決めたのだ…

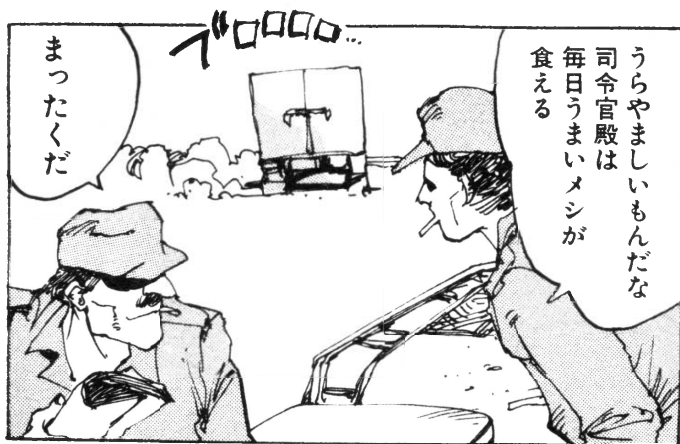
Vol.1 Blenda Lockhart / END

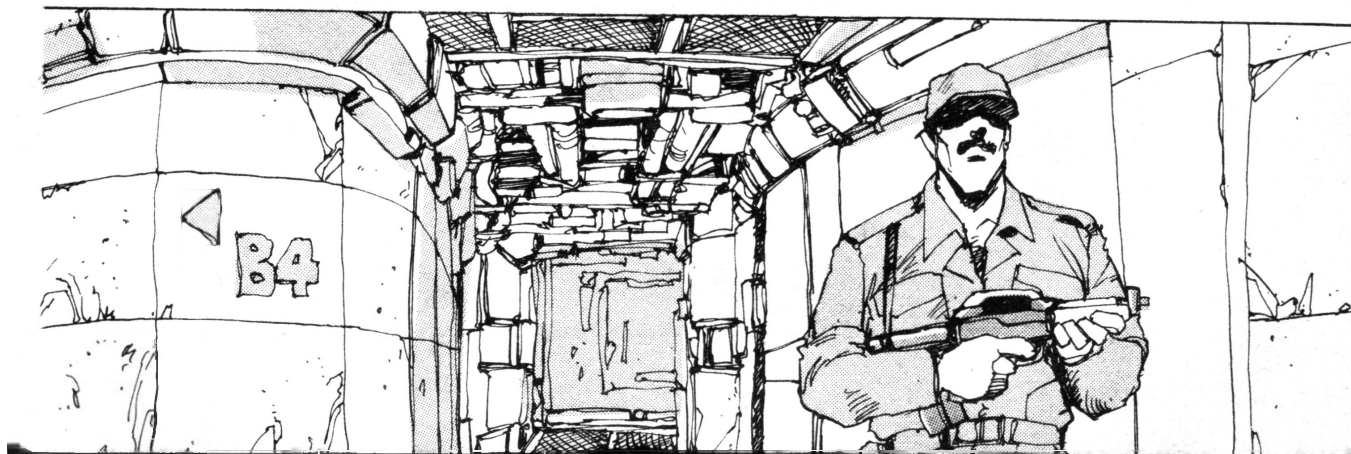
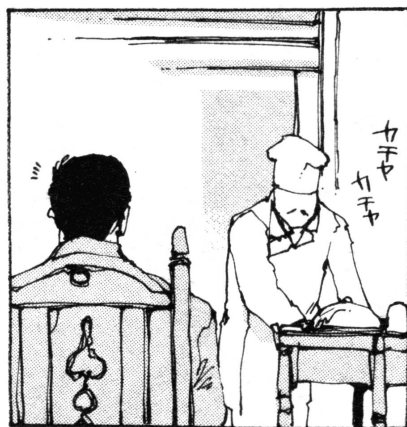
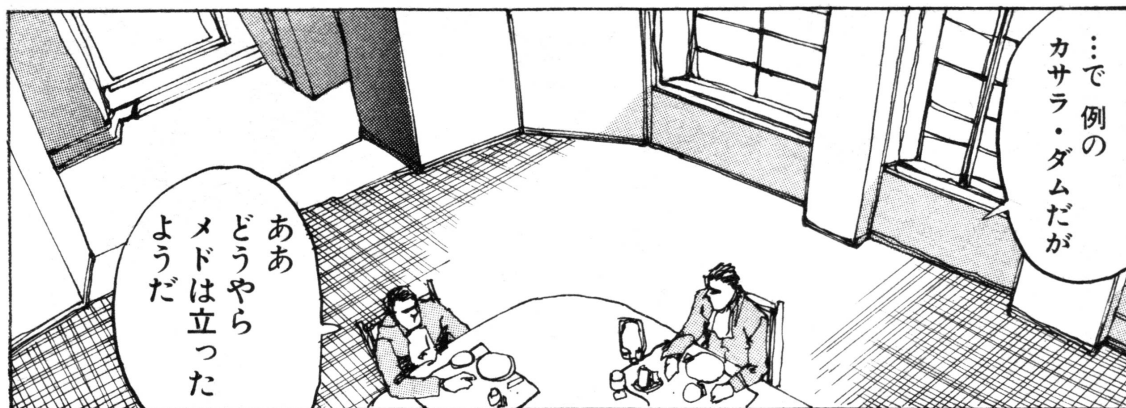
Vol.2 Luven Alhadi

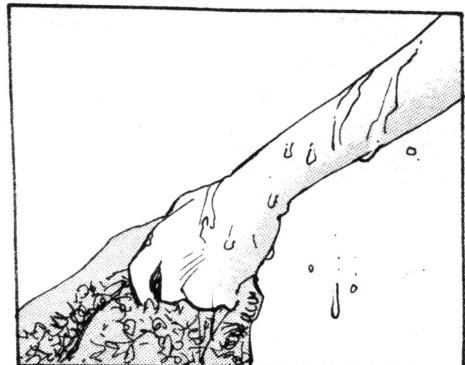
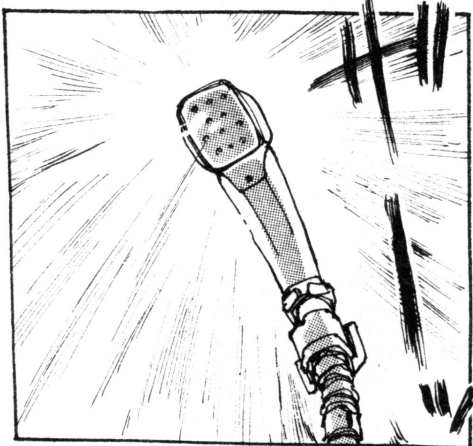
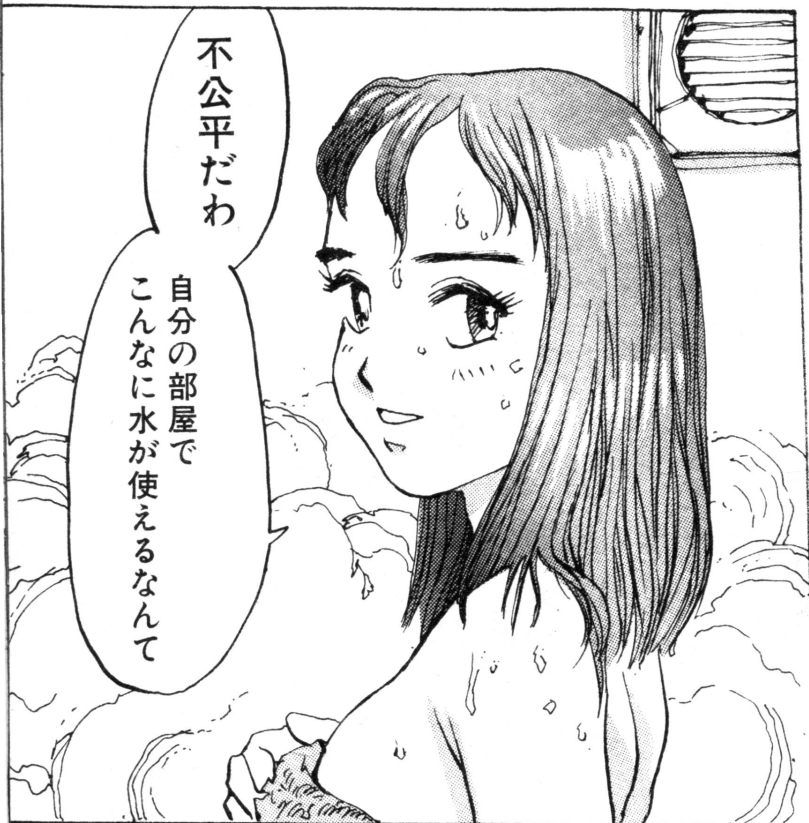
〜ルヴェン アルハーディ〜

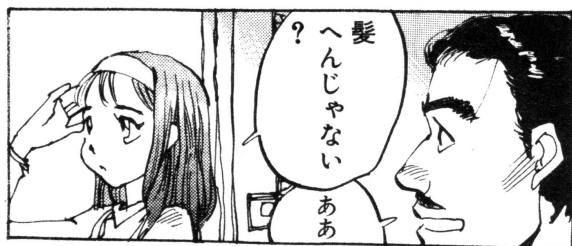
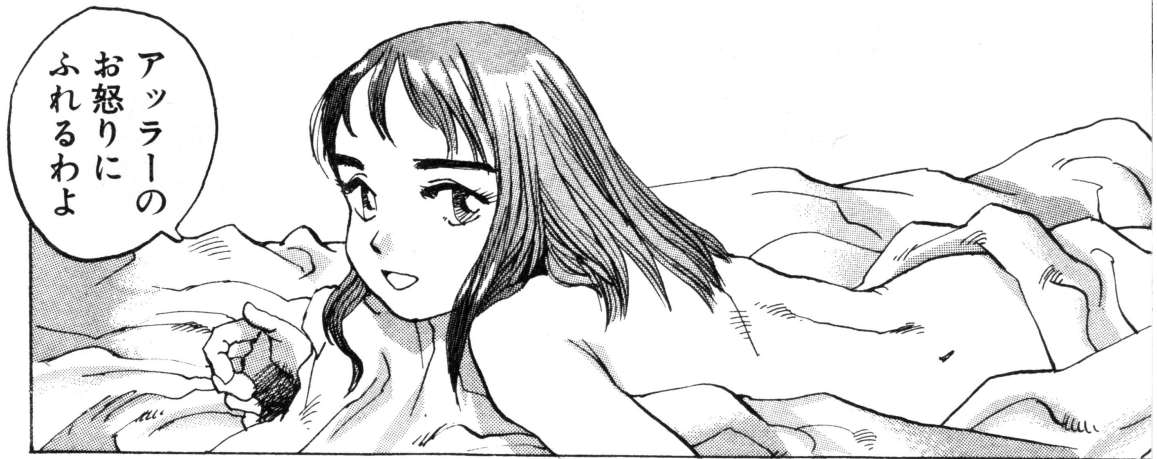




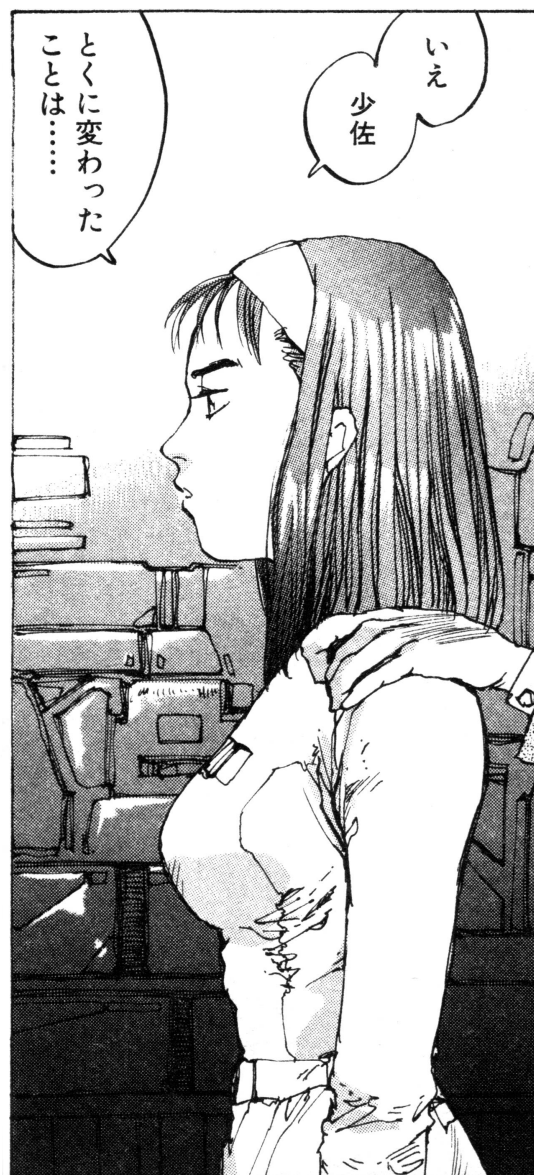
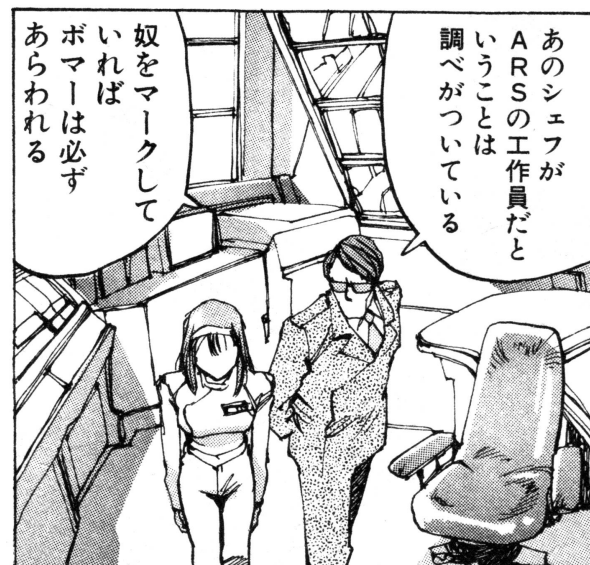






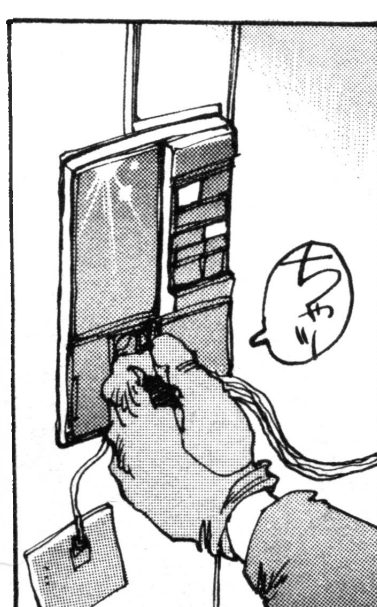
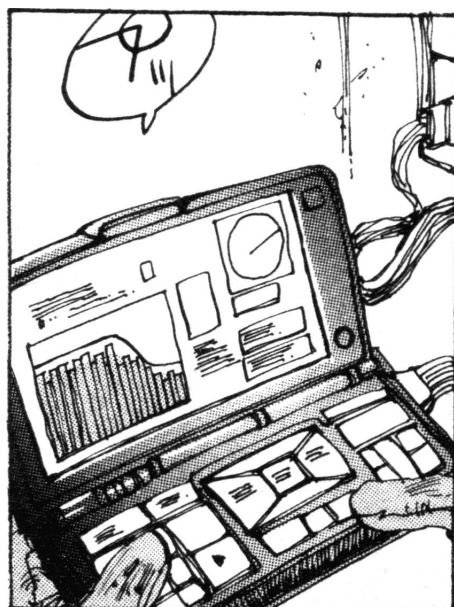
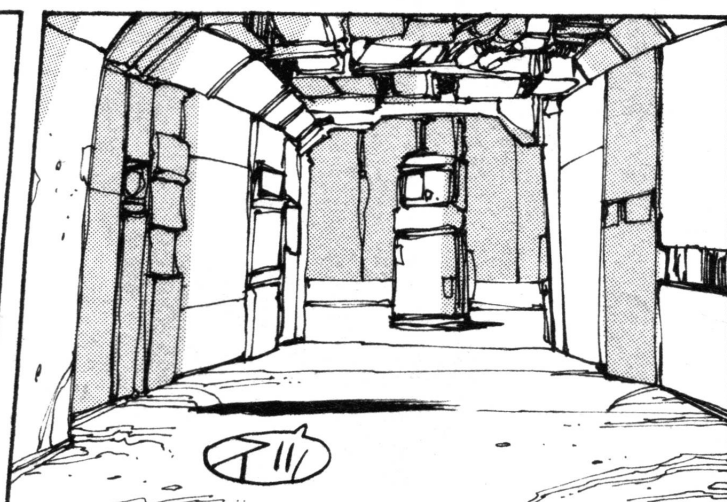




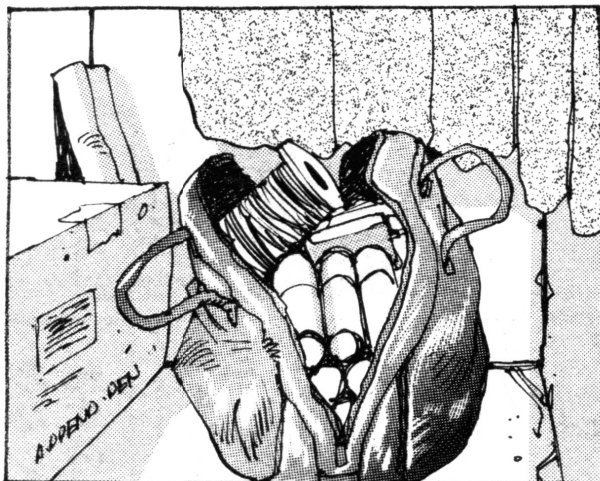
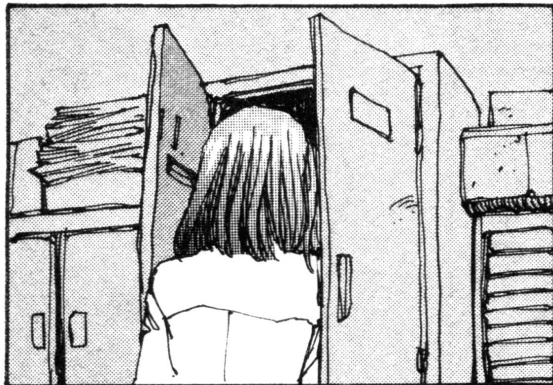
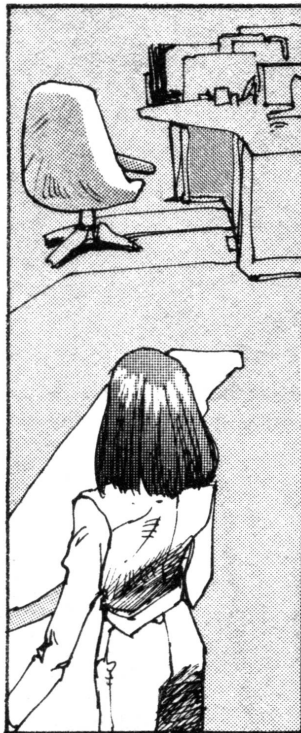












ボマーね!?

おれの暗号名を
知ってるとなると

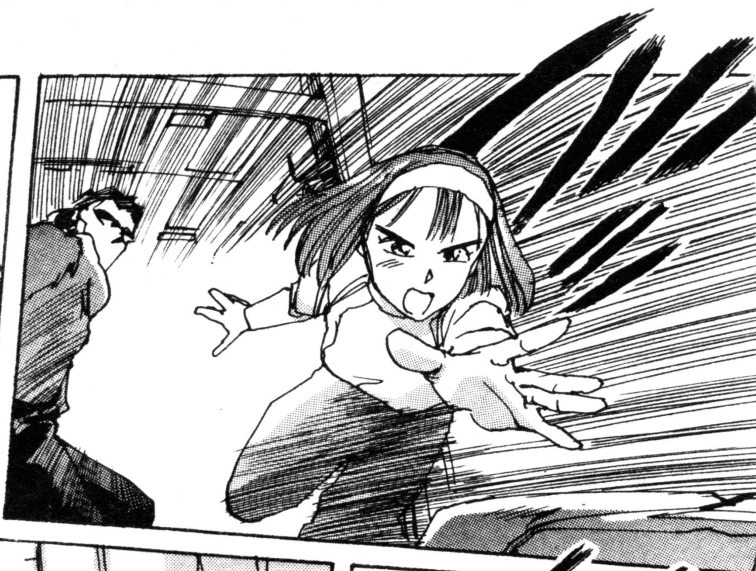
ただのネズミじゃ
なさそうだな

逆スパイか?

見ろ
アイアン・マンの奴め
俺の心配した
とおりじゃねえか

あたしを
殺すの?

いま考えている
ところさ

















ゲ
ホッ
ゴ
ホッ

う
う
ッ

ボ…
ホマーは!?



敵だっ!!

バカ野郎
こんな
ところで
撃つな!!



アイアン・マン
急げ!!



ちくしょオッ

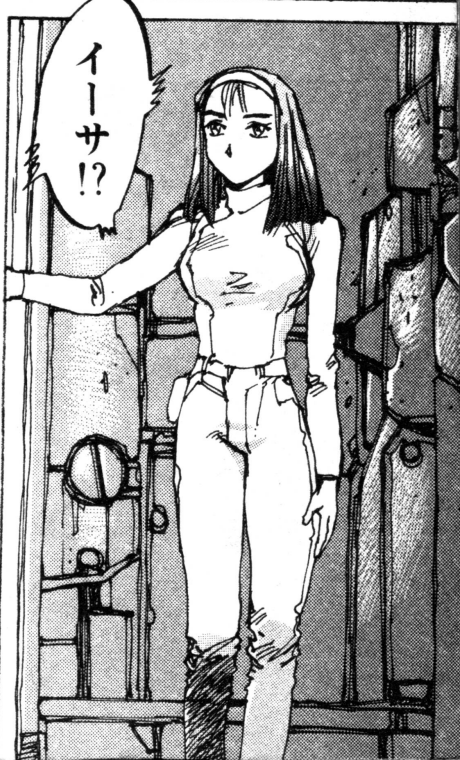
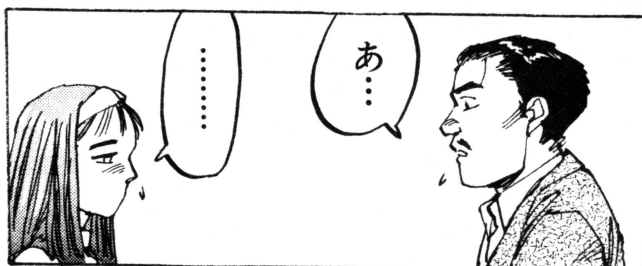
なんて荒っぽい
お迎えなんだいっ
!!

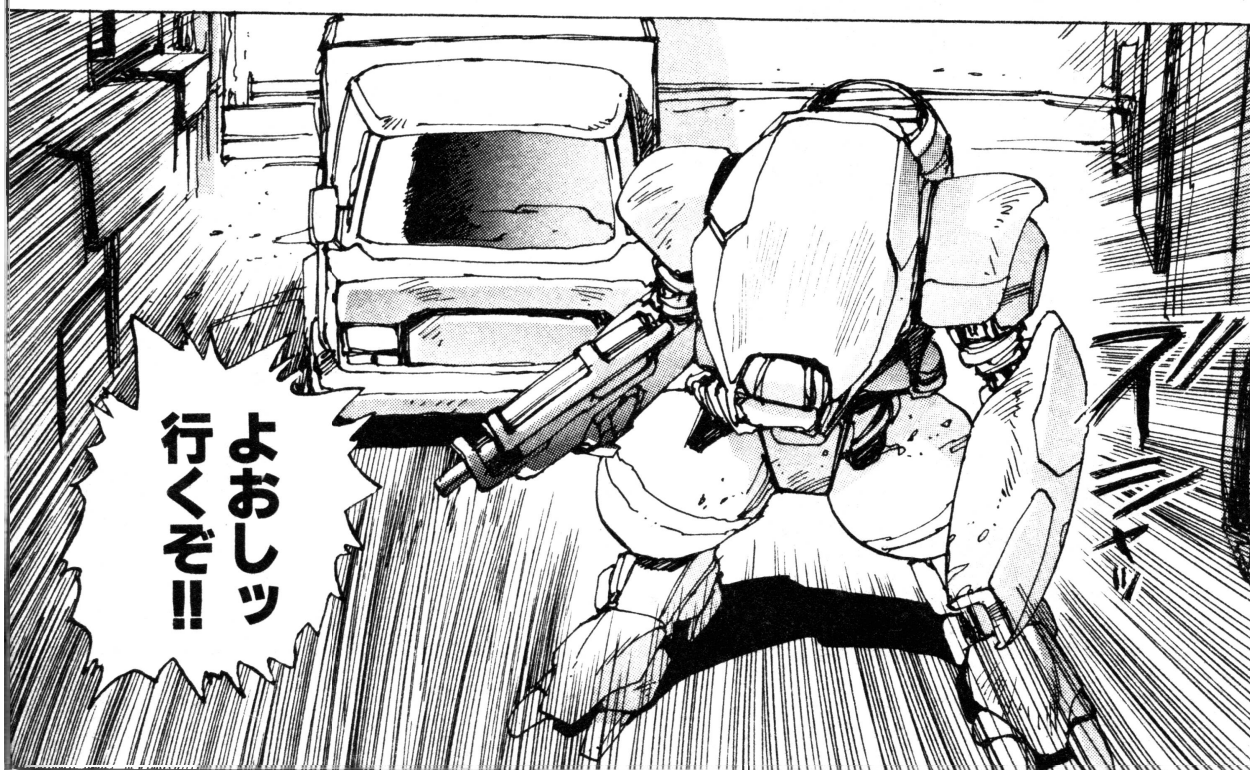


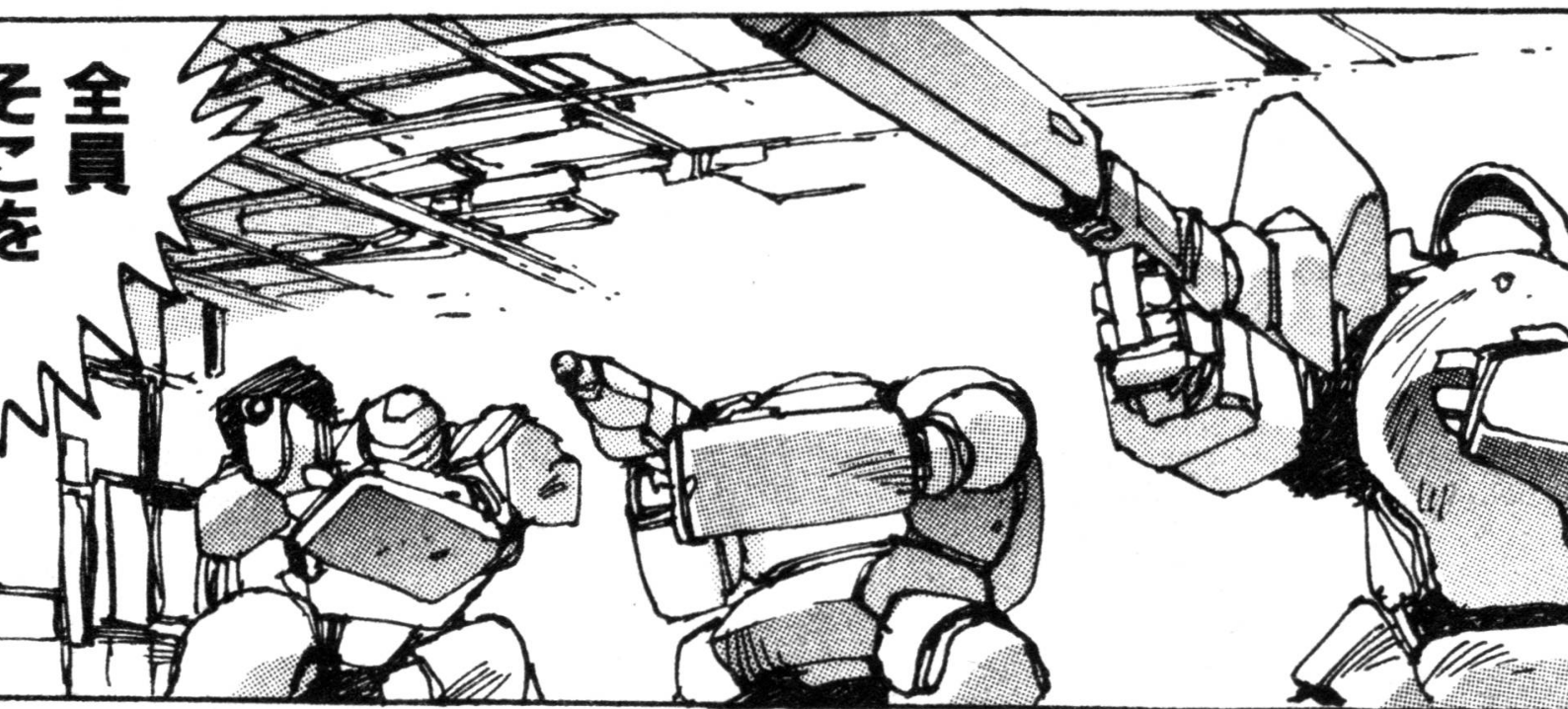
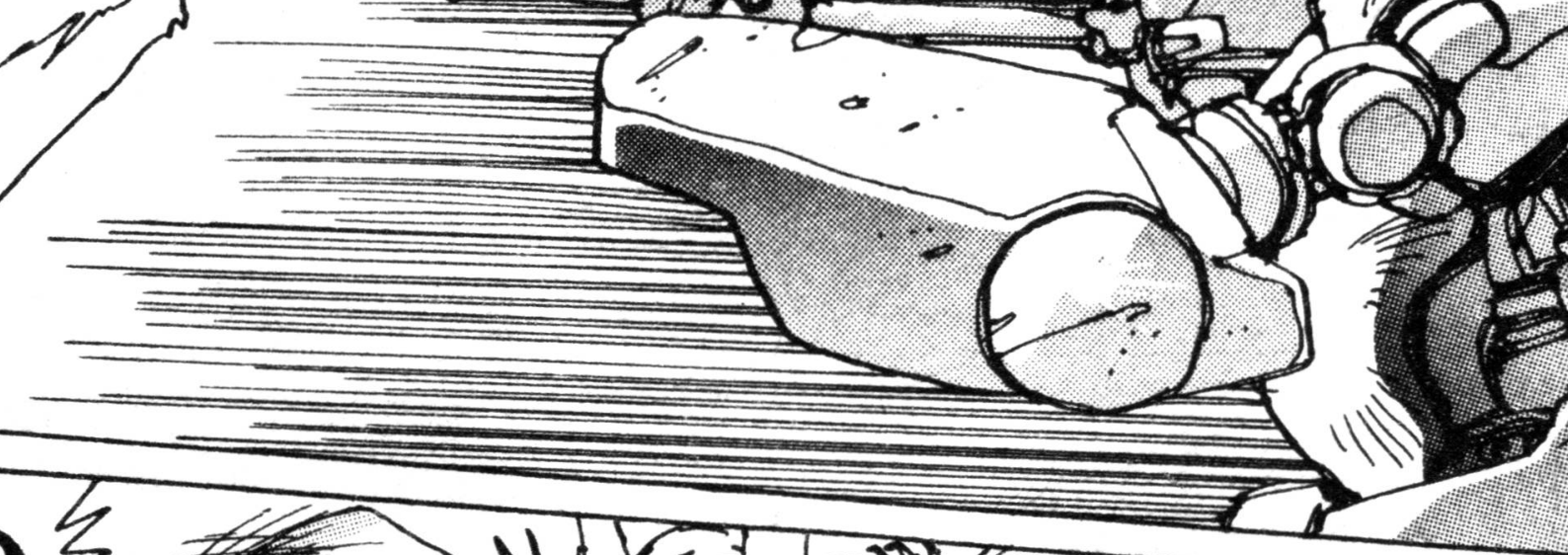
逃がすなッ

警報を!!







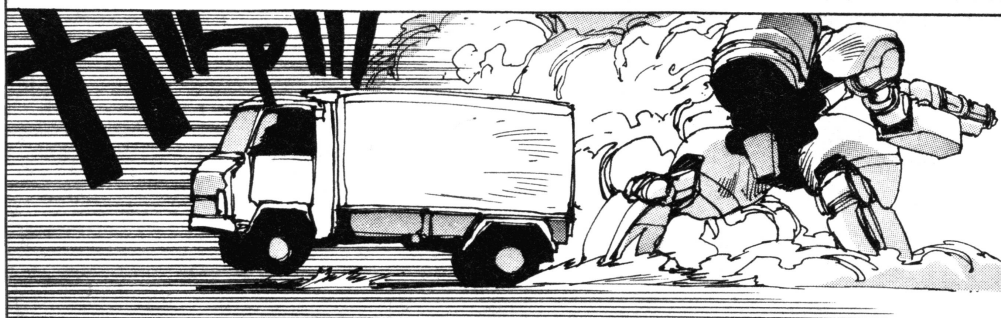




ここは
俺がおさえる
行け!!



アイアン・マン
走れッ!!



逃げきれねエ

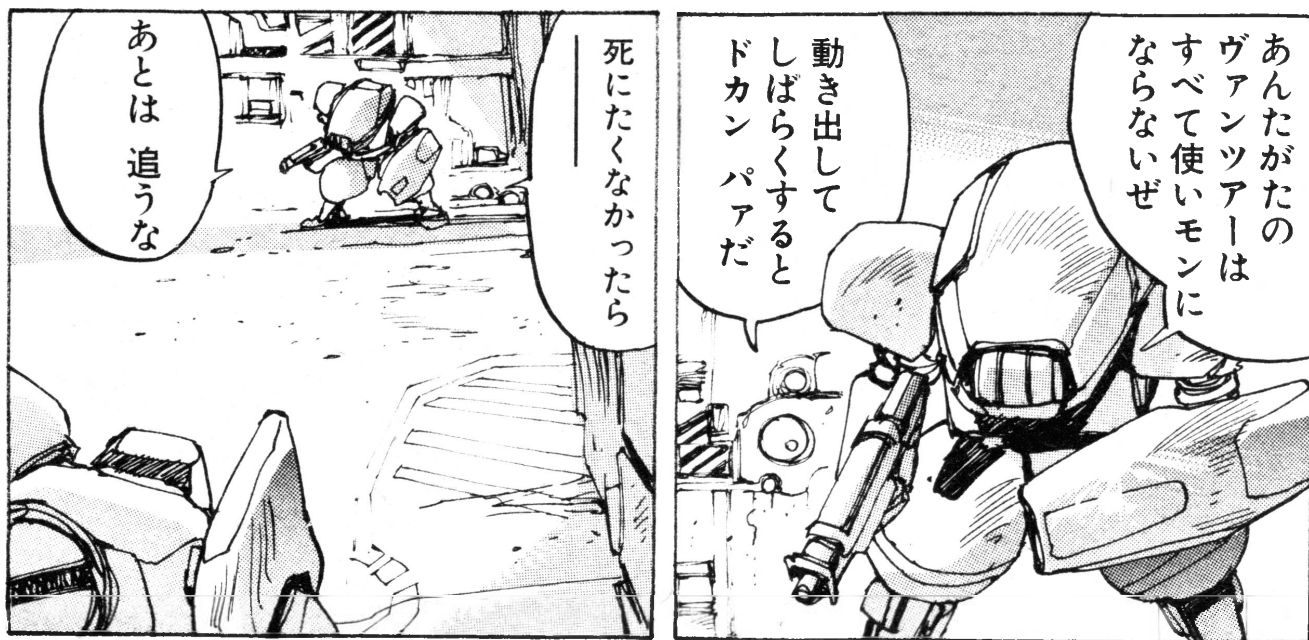
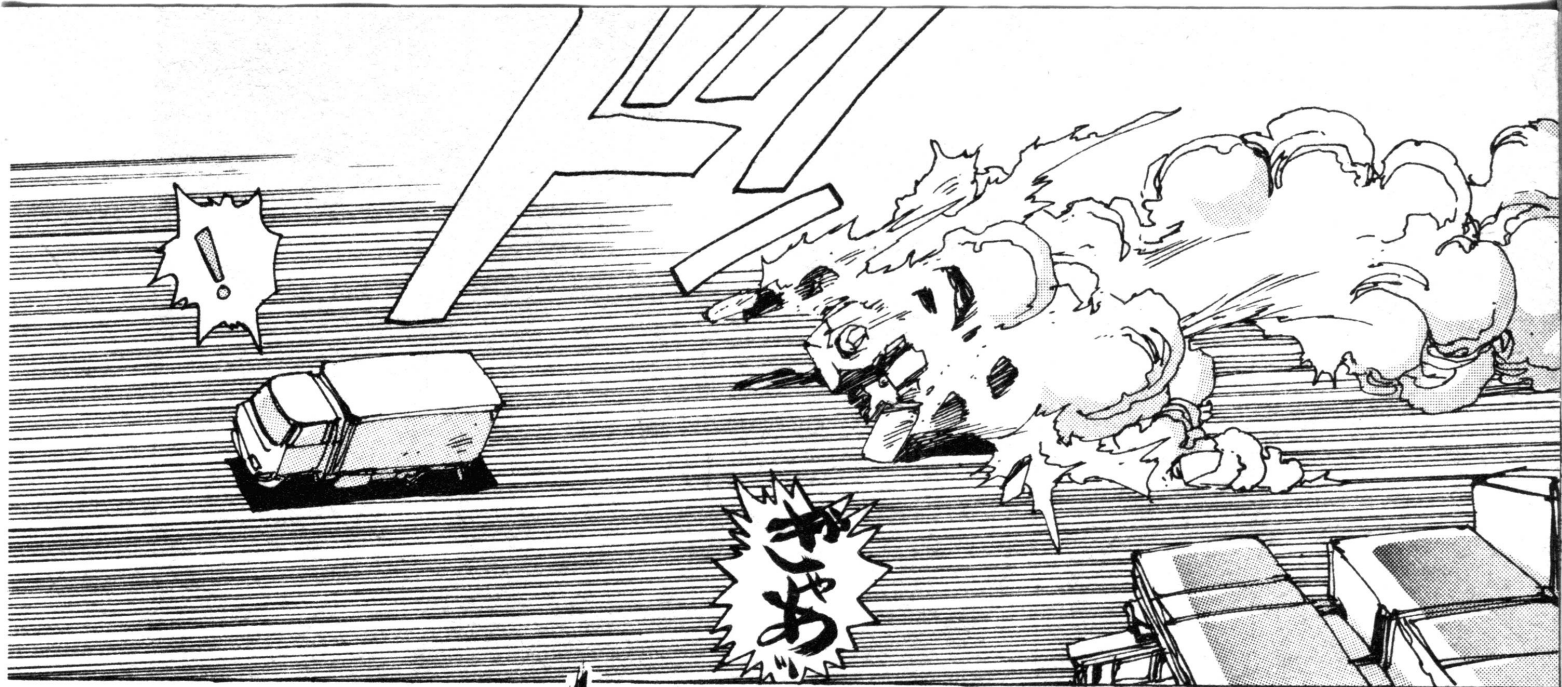
ちくしょう
だめか!!



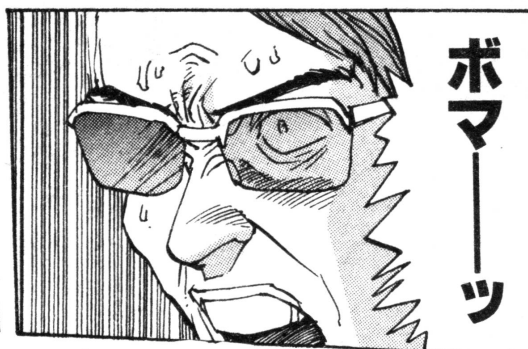
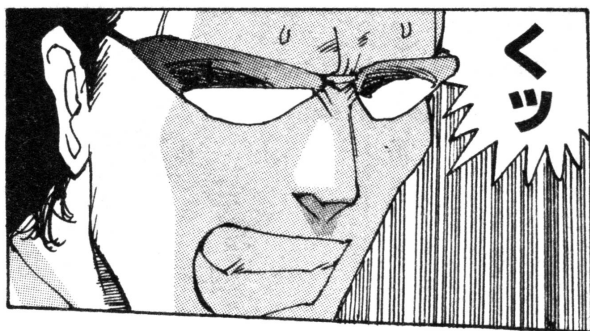
バカめ

捕らえろ!!

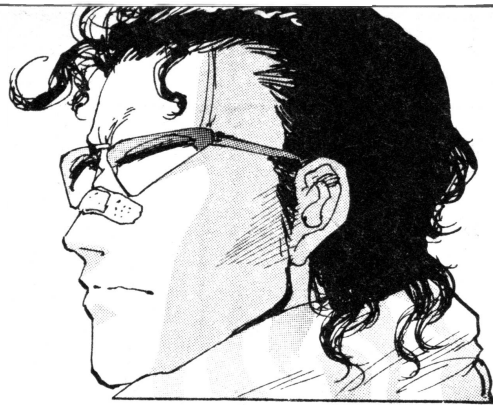
はッ











タバリーの奴が
うまく逃げ
おおせていれば

あるいは助けが
来るか...

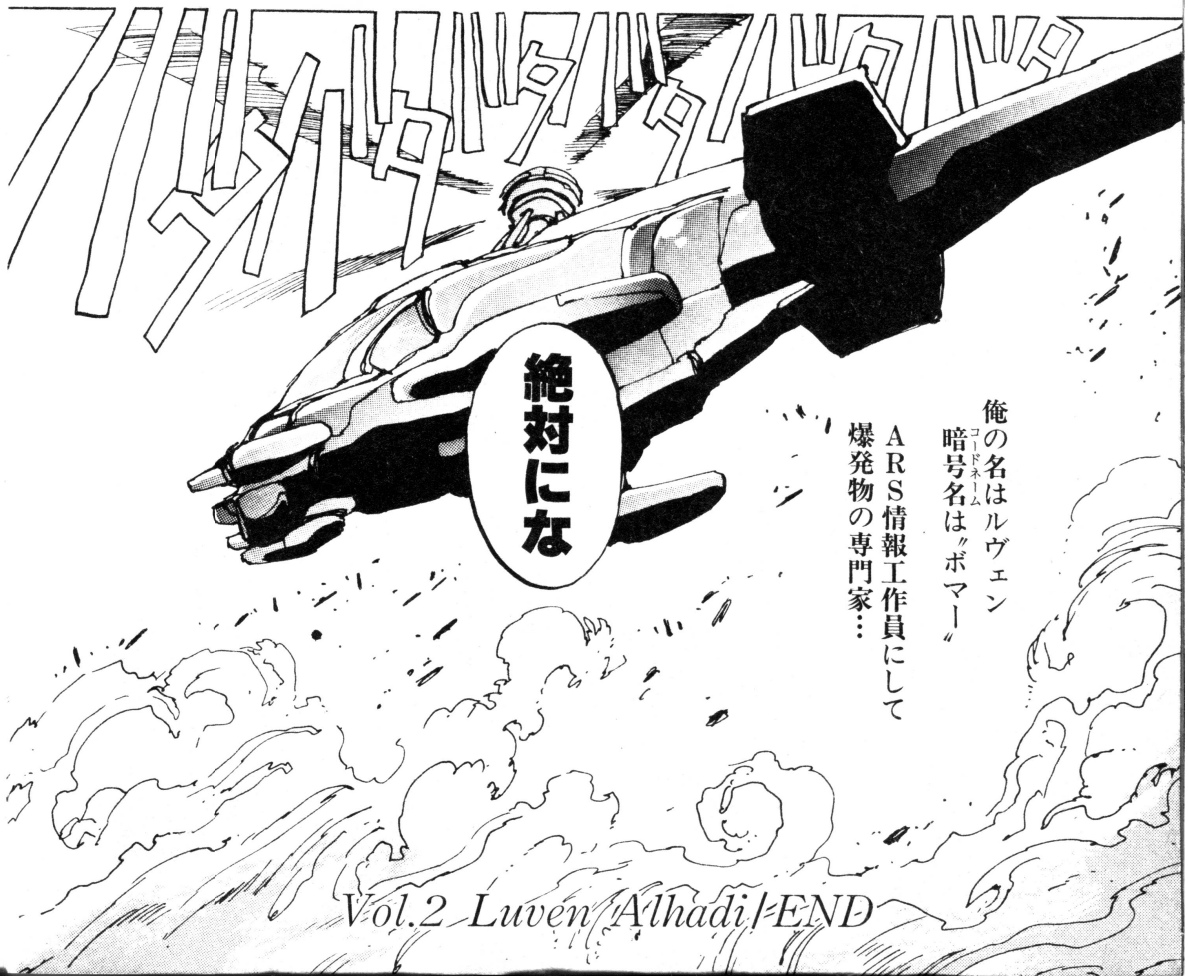


あまりあてにや
ならねえな
.....

だが

あきらめる
のは

俺の性分に
合わねえ



俺の名はルヴェン
暗号名は「ボマー」

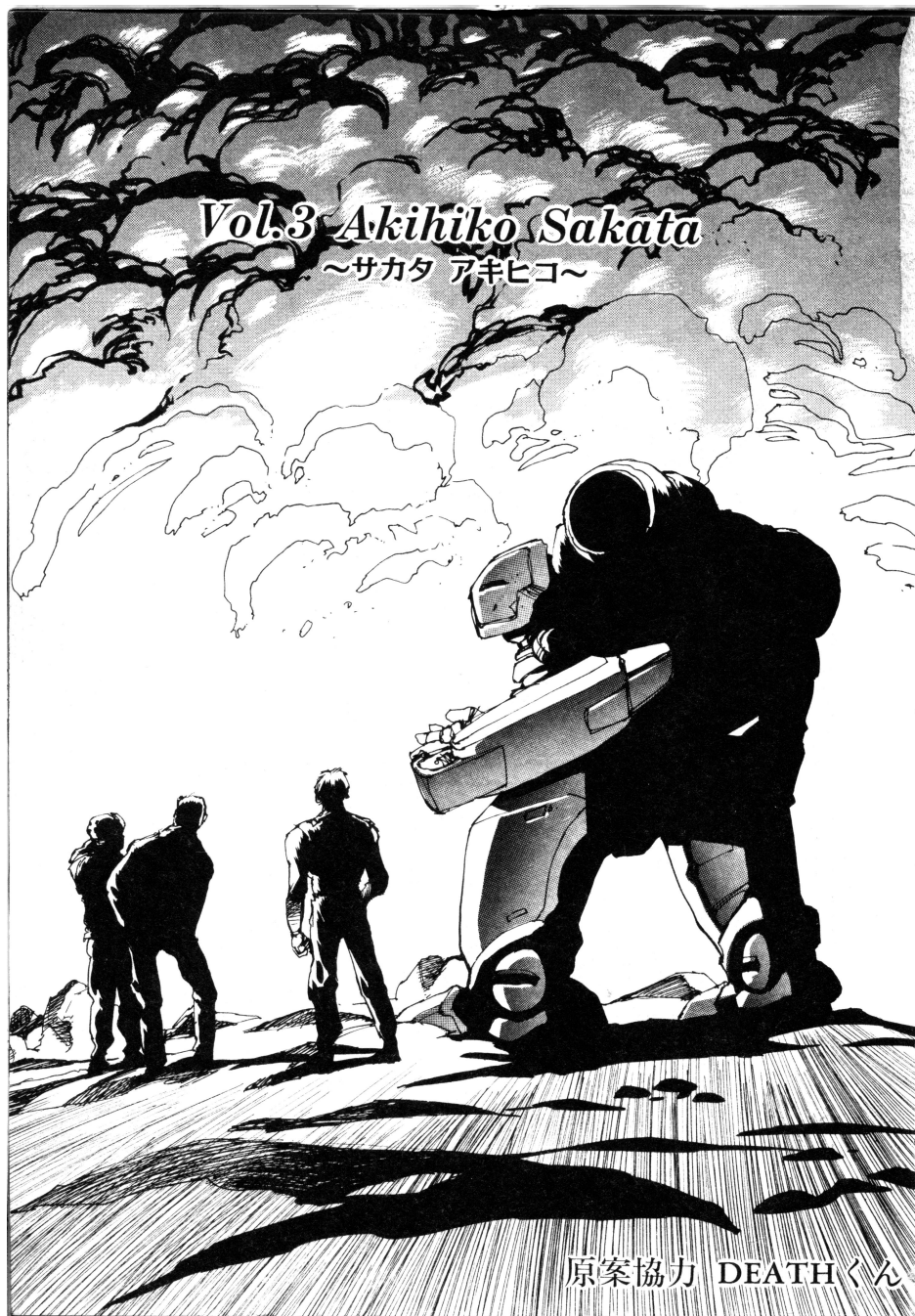
ARS情報工作員にして
爆発物の専門家...

絶対にな

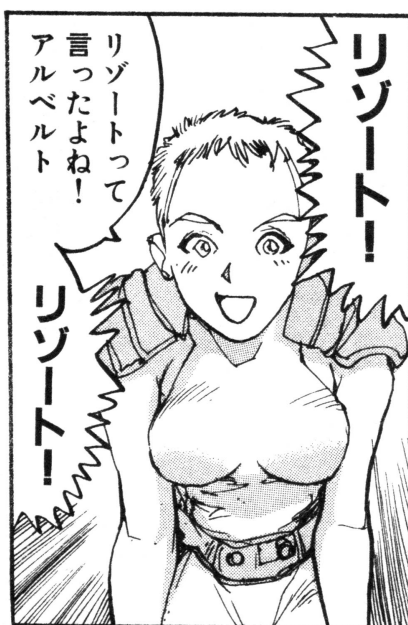
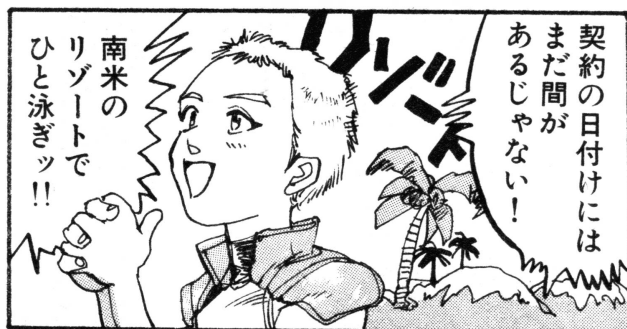
Vol.2 Luven/Alhadi/END

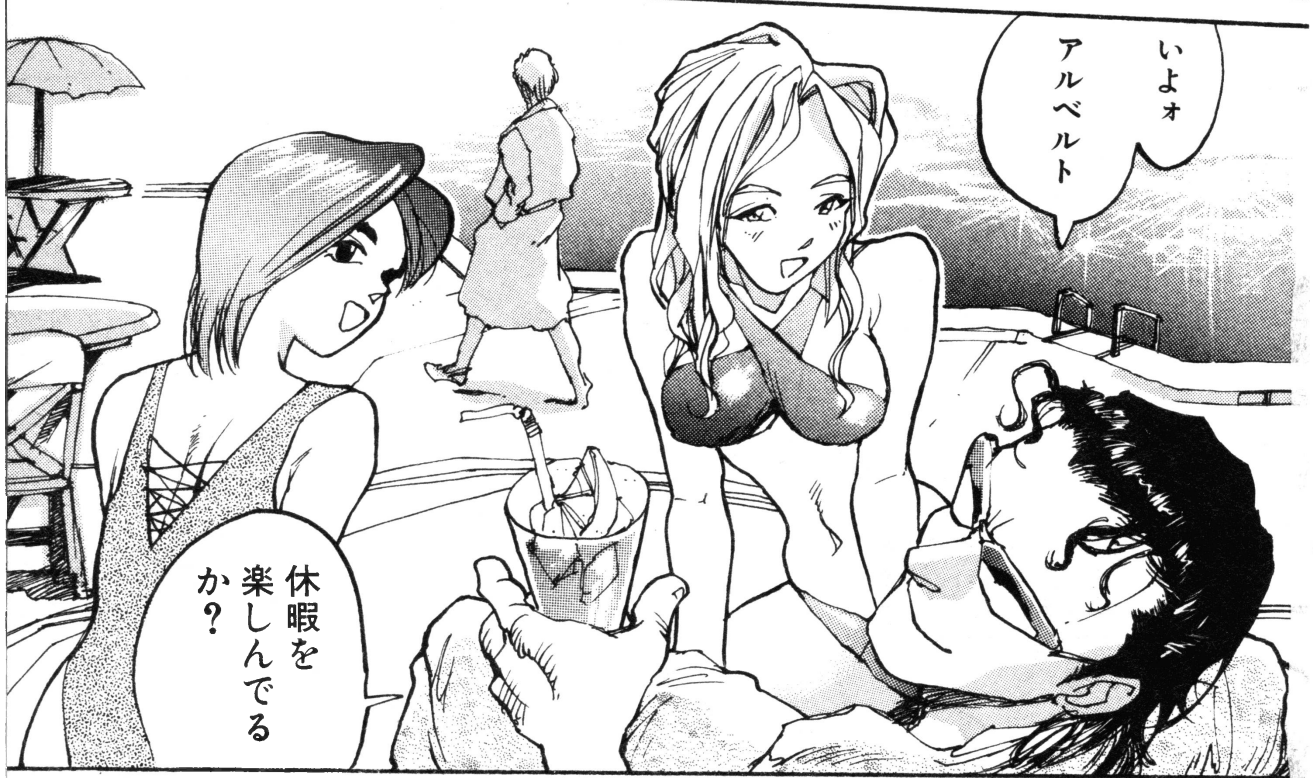
Vol.3 Akihiko Sakata

～サカタ アキヒコ～



原案協力 DEATHくん





こうしていると
すべてが遠い夢のようだ



ベルゲンで起こった
クーデター
殺された両親…
アルハリの戦い…
硝煙とヴァンツァーの
オイルのにおい……

ルヴェン…
クラーク…



エミル…
アクセル…



いいもんだな

気のおけない
仲間たち…

そして…



ブレンダ…



おや…

そういえば

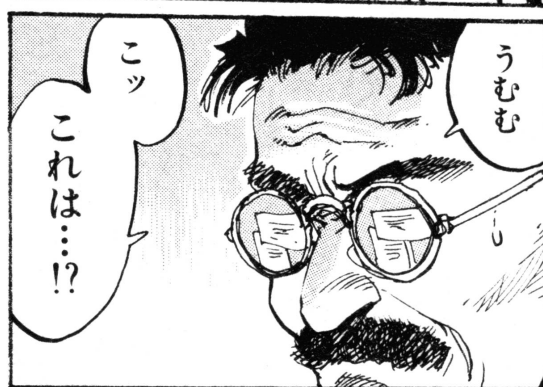
あの先生は
いったい
どこに…?

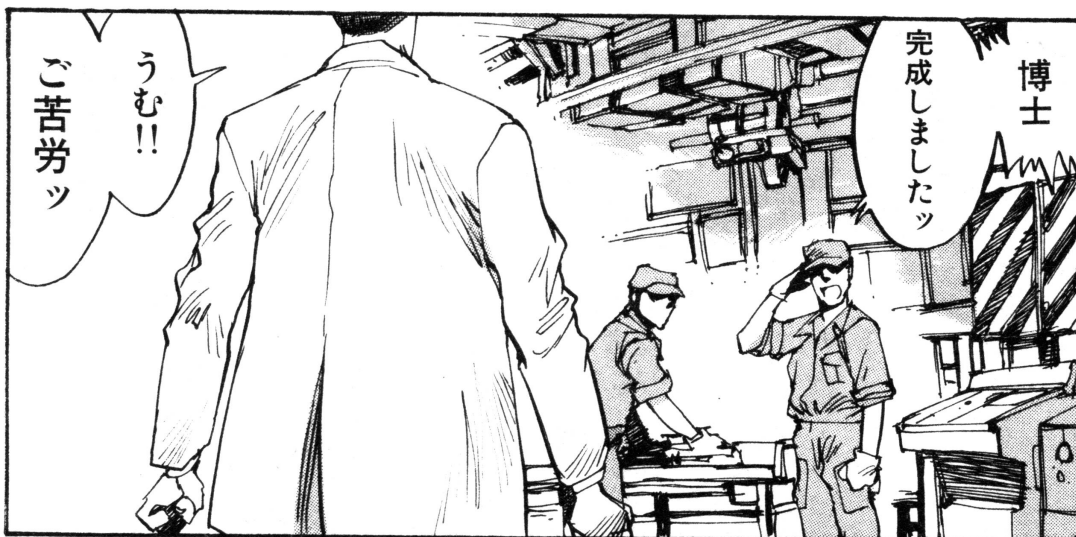


うむむ

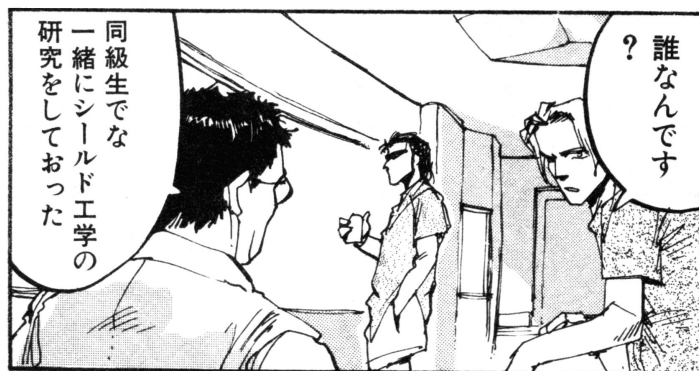
こッ

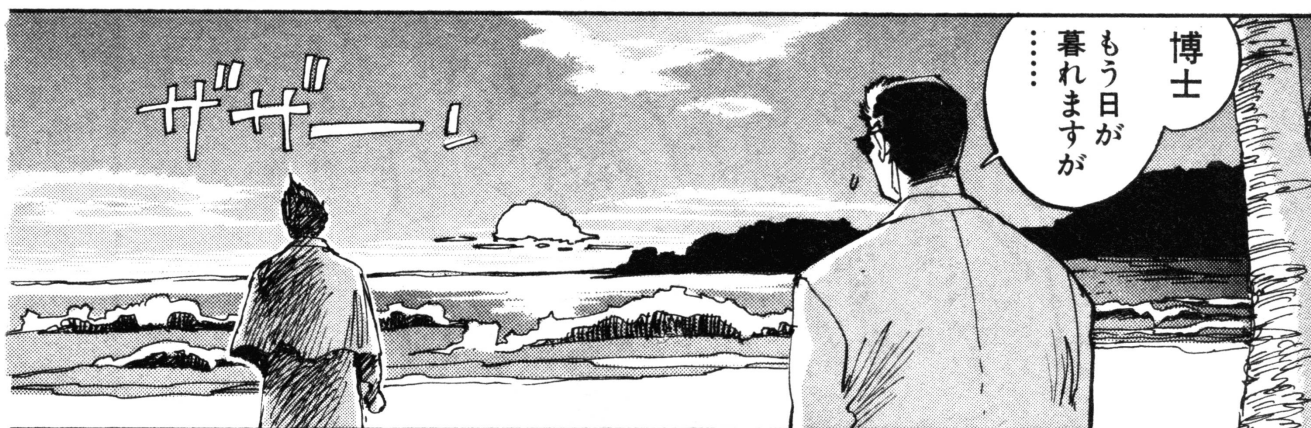
これは…!?

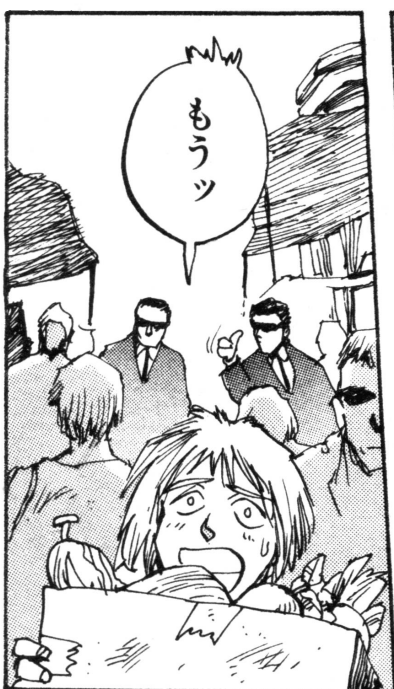


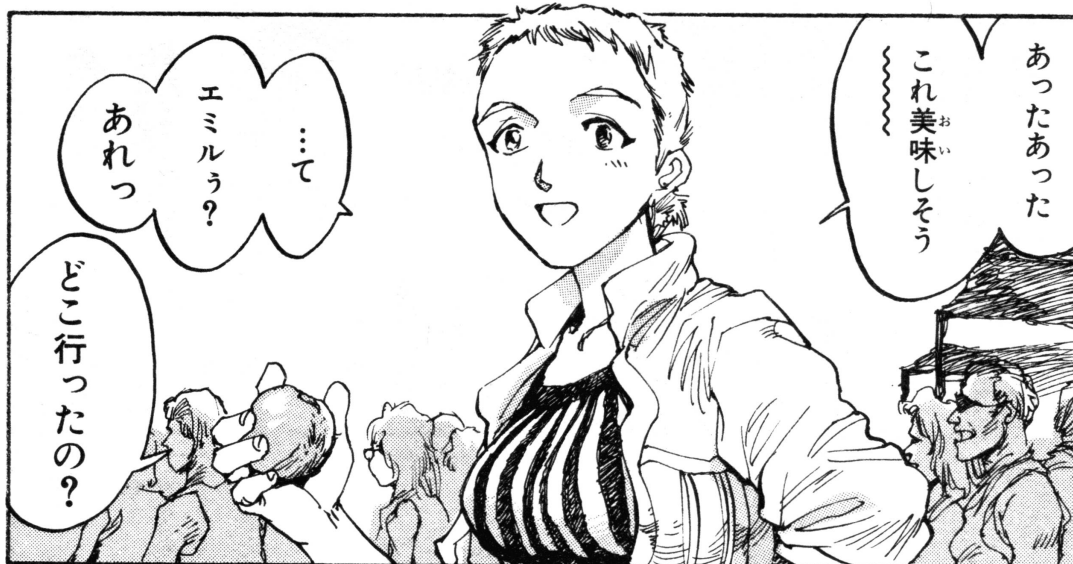


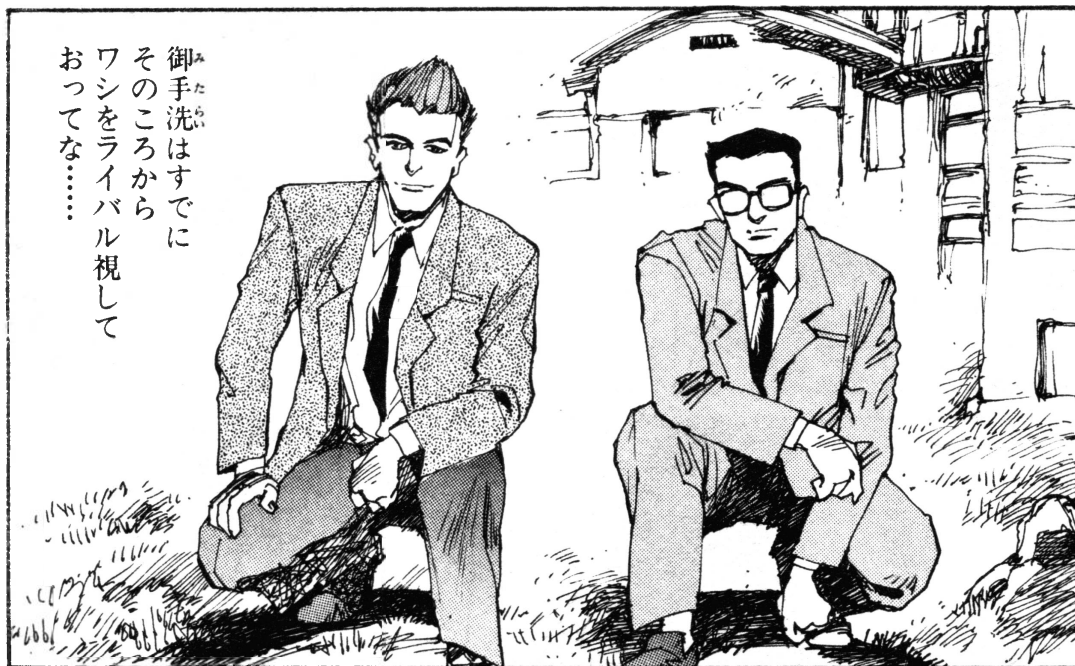










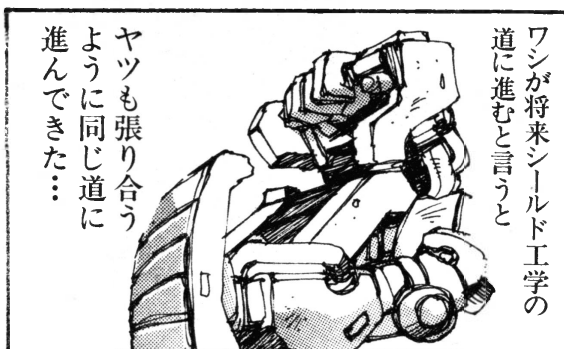


御手洗はすでに
そのころから
ワシをライバル視して
おつてな……



サカタくんっ

御手洗は
たしかに
秀才では
あつたが
……



ヤツも張り合う
ように同じ道に
進んできた……

ワシが将来シールド工学の
道に進むと言うと



うッ



オレ様が
添削して
やるっ

どれ
見せてみろ

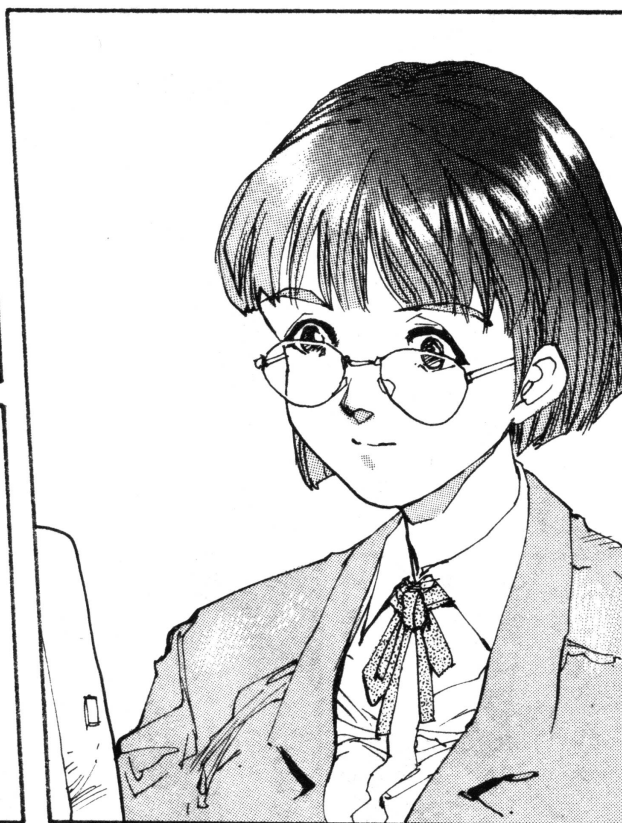
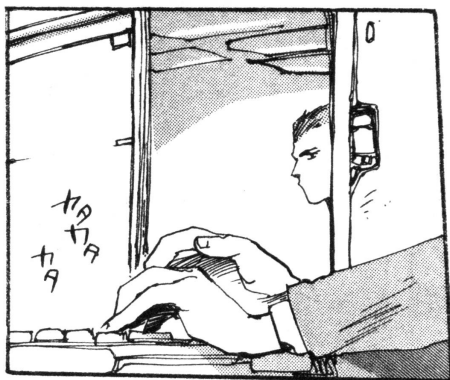


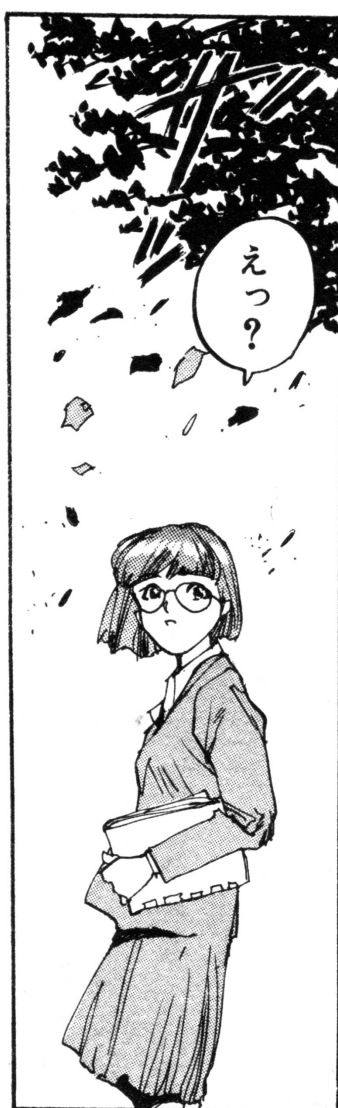
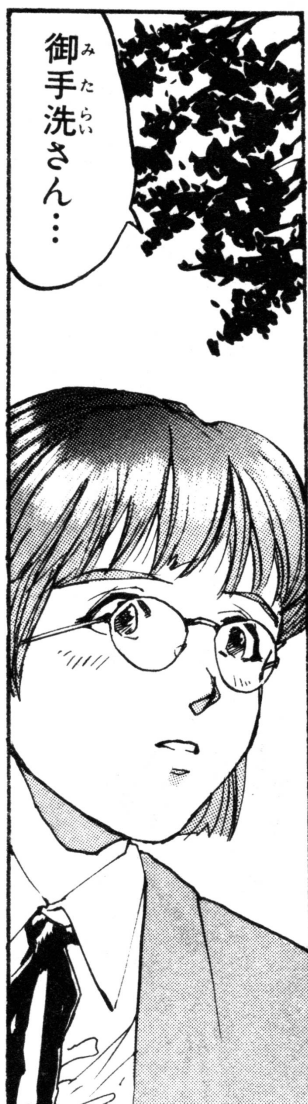
論文の調子は
どうっ？

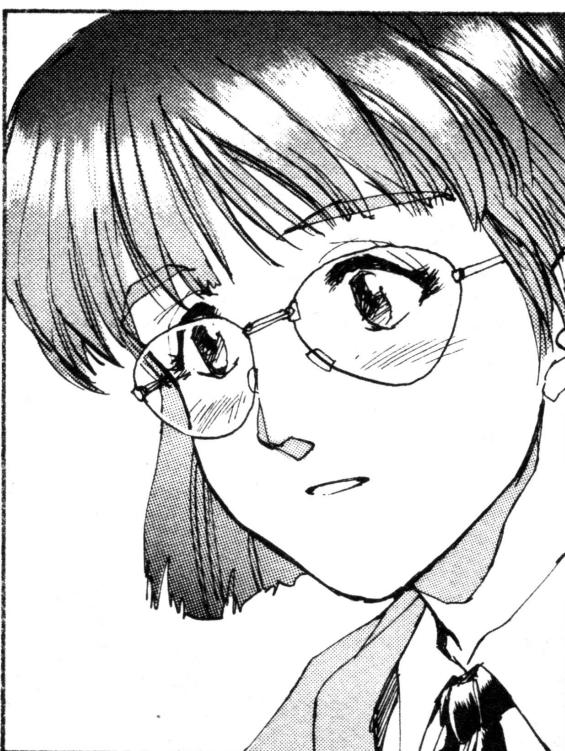
いやまだ
半分くらい
だが

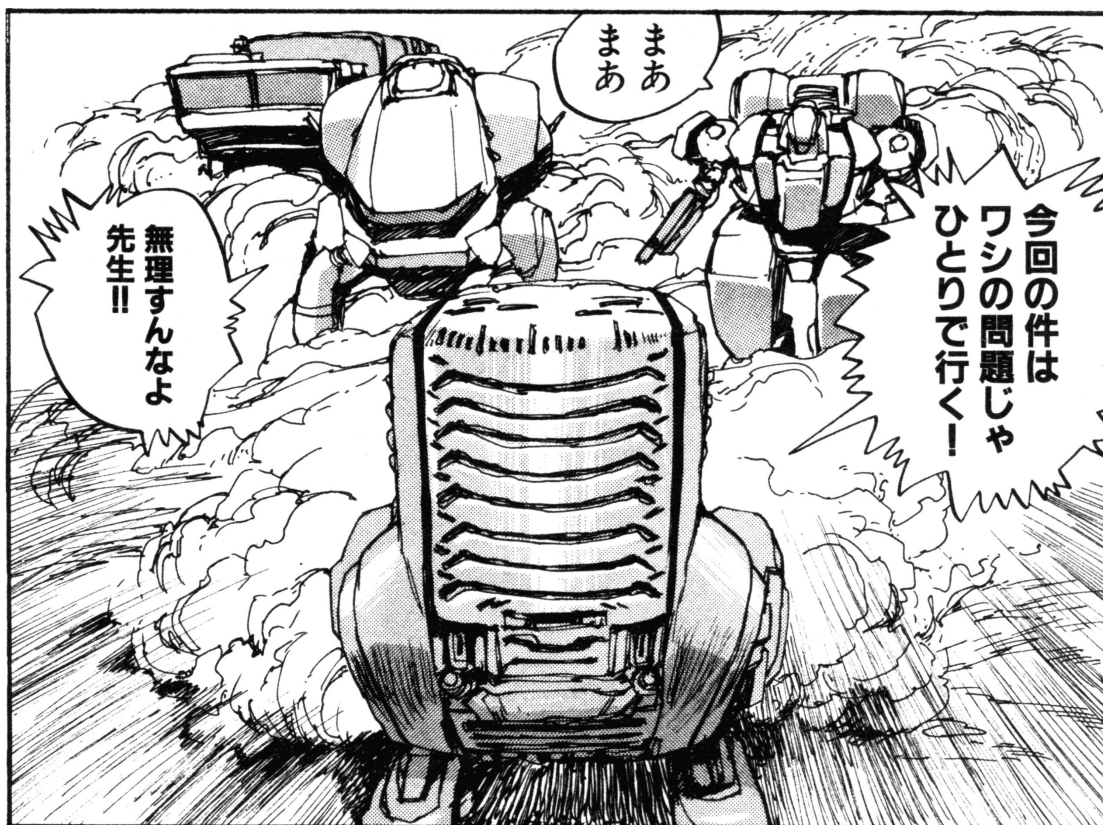
遅いなっ
オレのはもう
できたぜっ

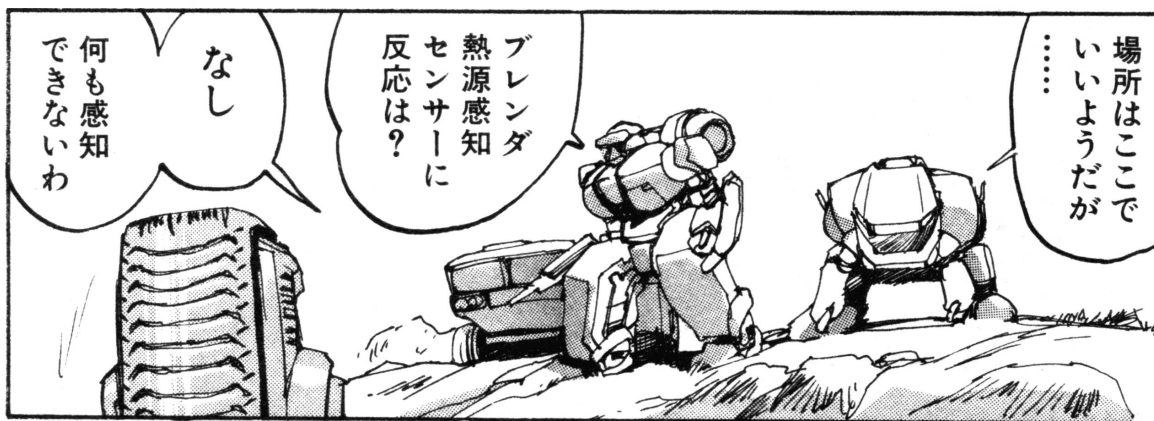
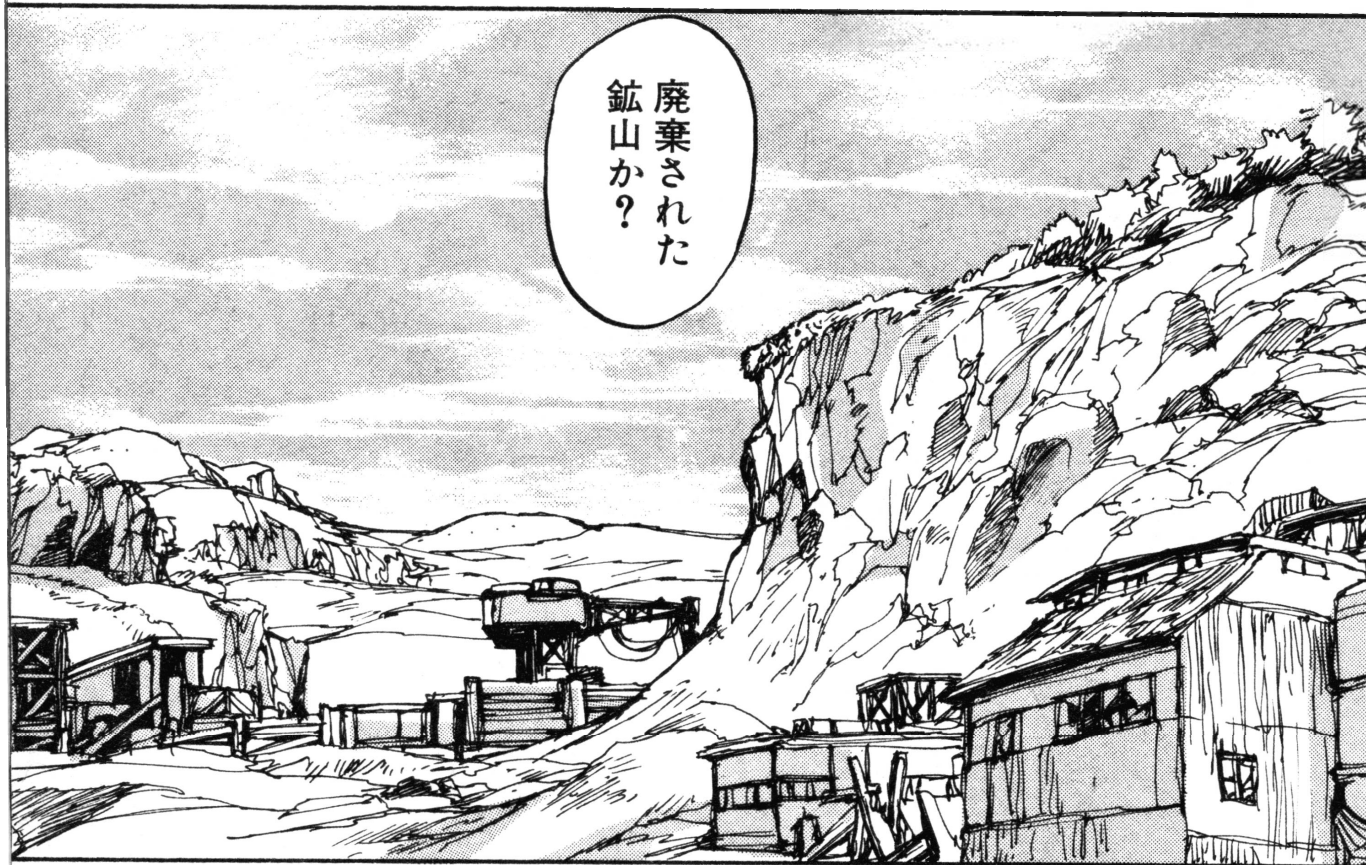




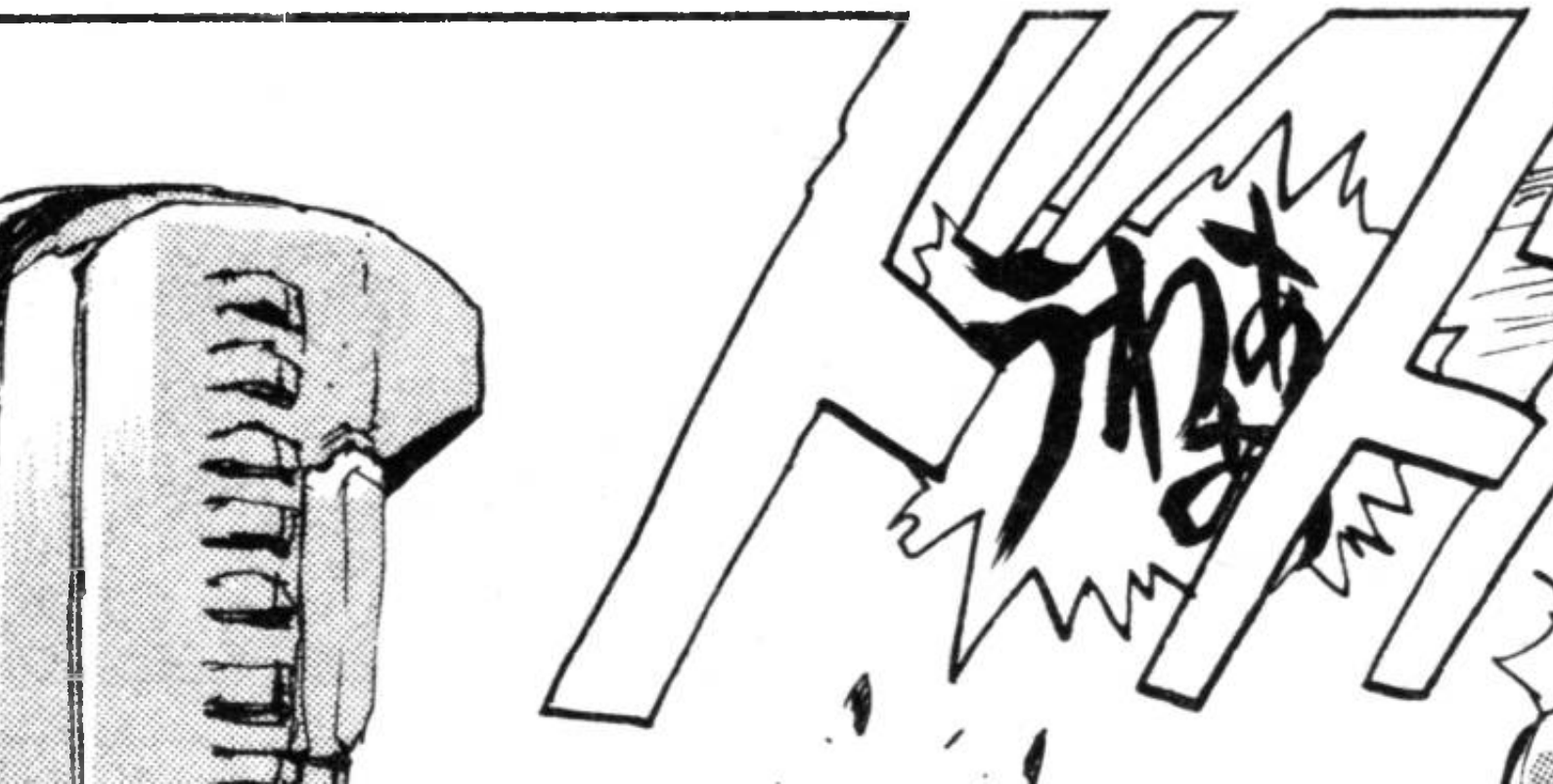
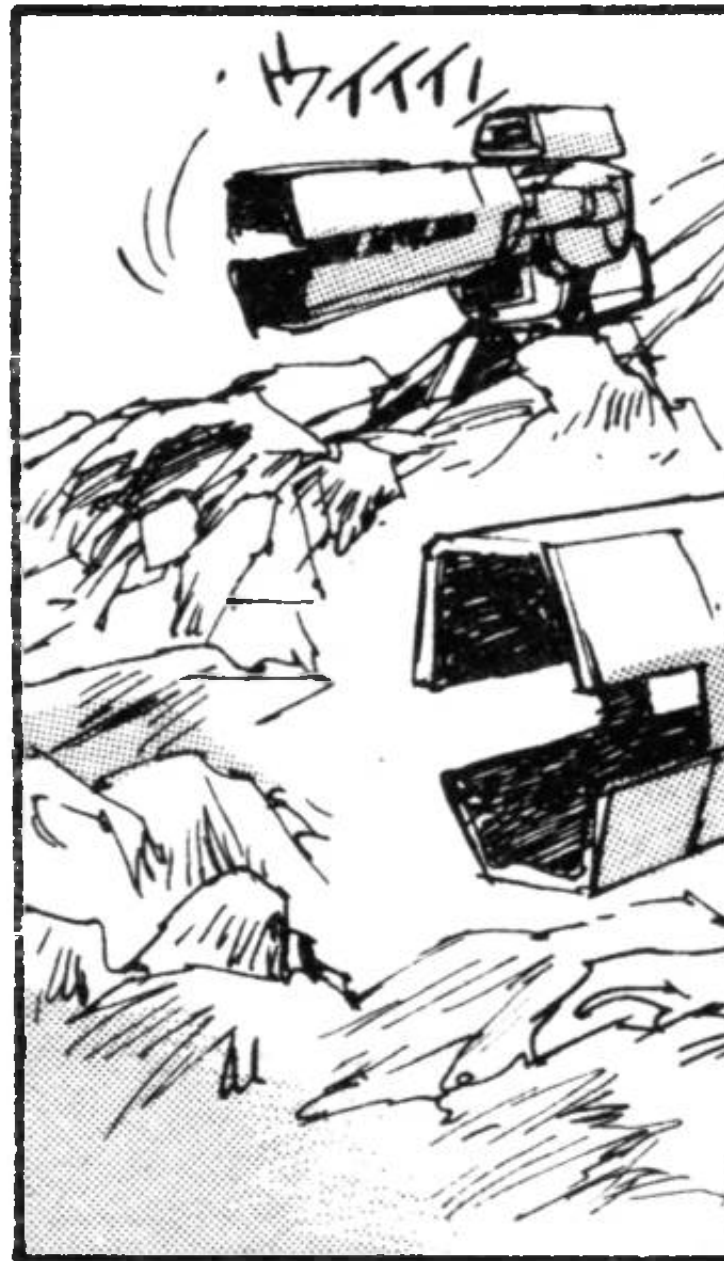








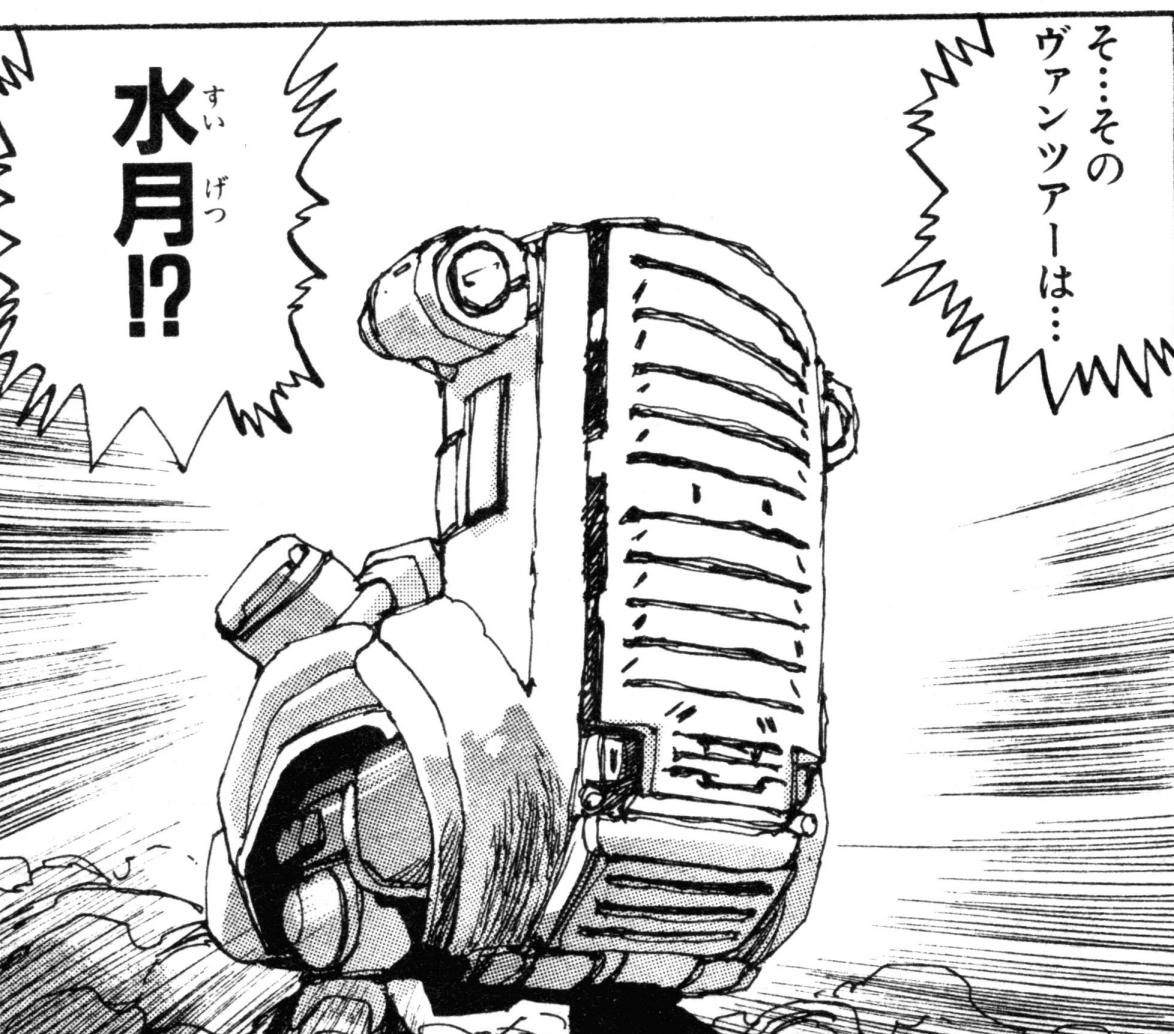
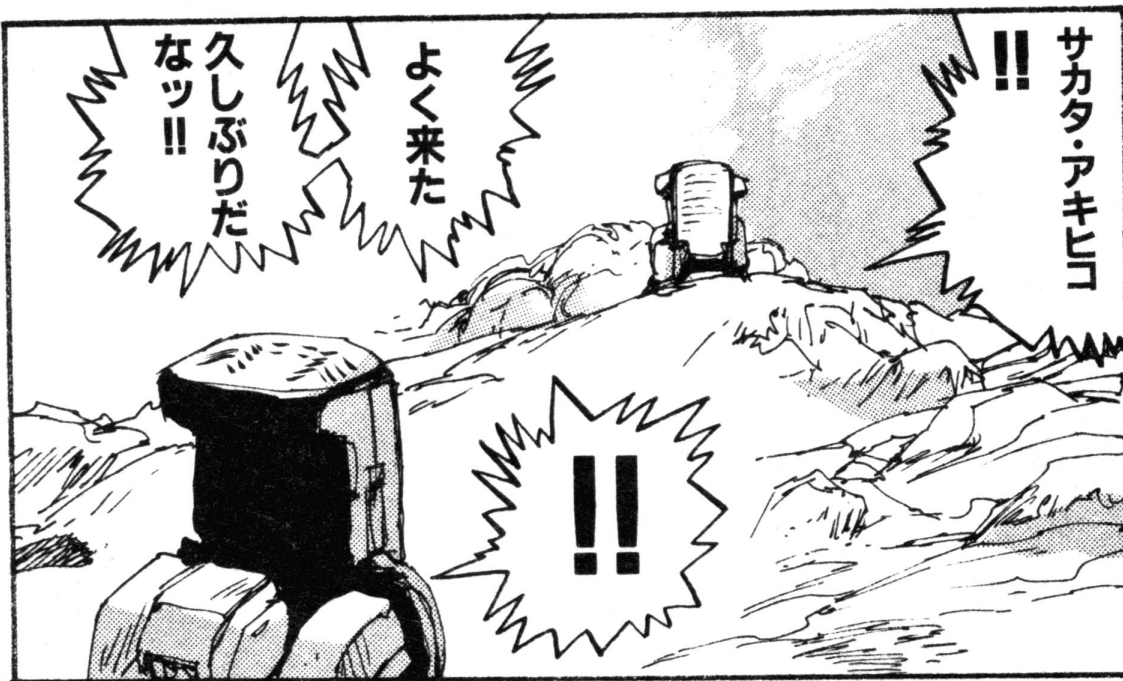
か

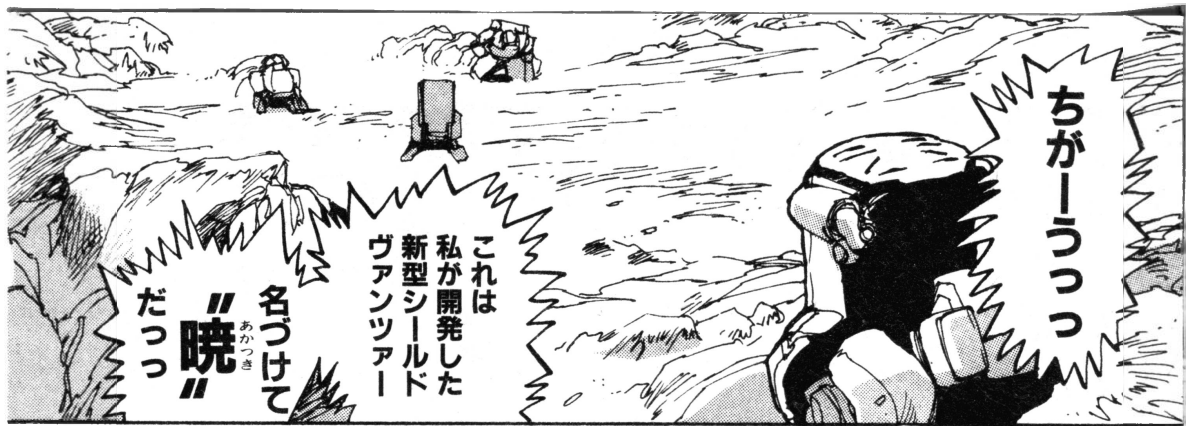




メルベルト!
ルヴェン!

電気系統
麻痺!
行動不能





ちがーうつつ

これは
私が開発した
新型シールド
ヴァンツァー

名づけて
“**暁**”
だっつ



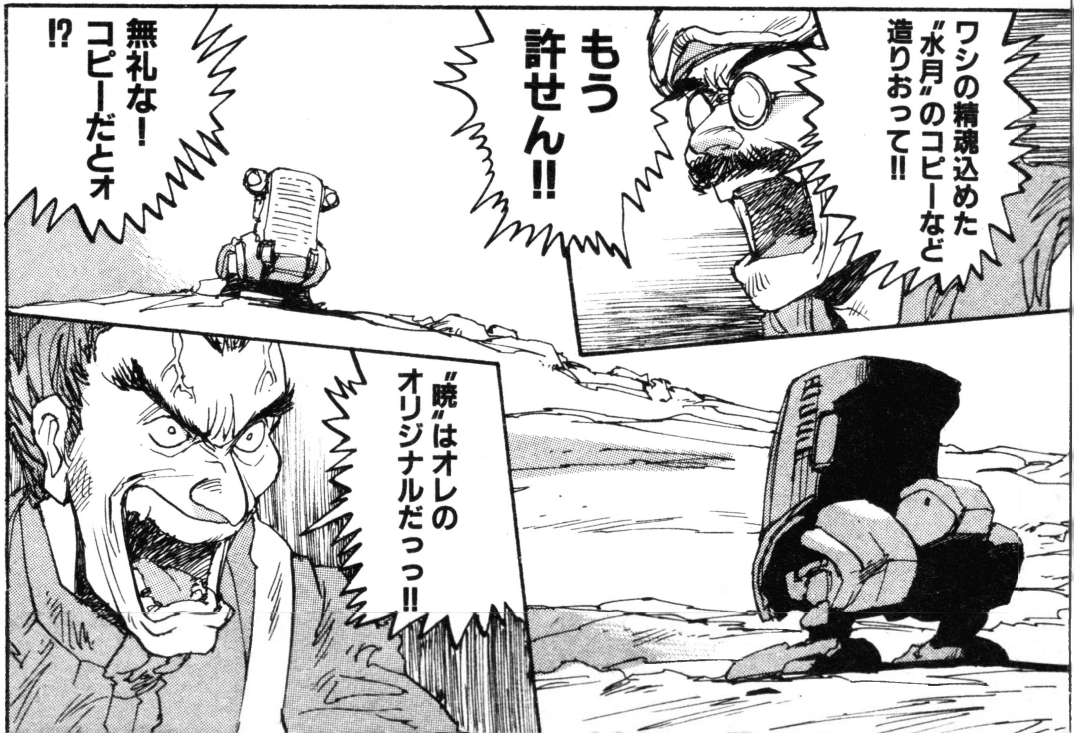
なあにが対決じゃ
!!

ワシの
コンピューターから
実験データを盗んだのは
おまえじゃな!!



おたがいシールド
工学者同士——

シールド対決で
決着をつけようではないか

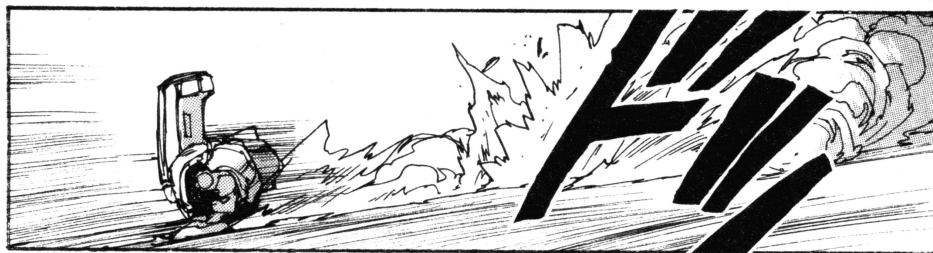
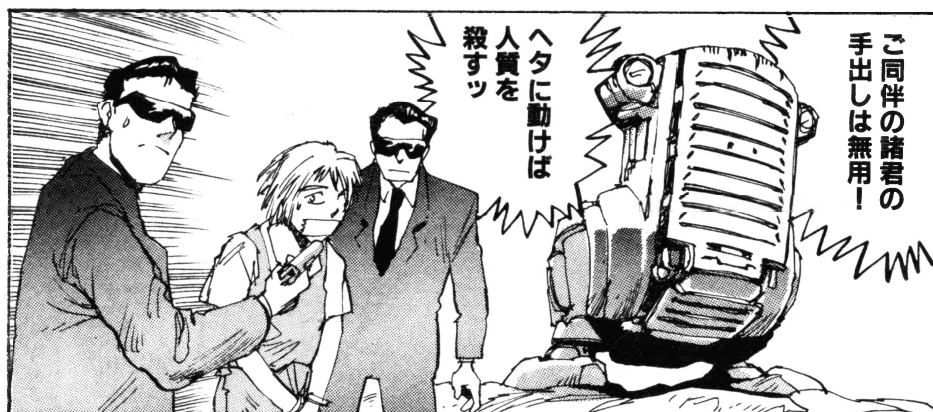
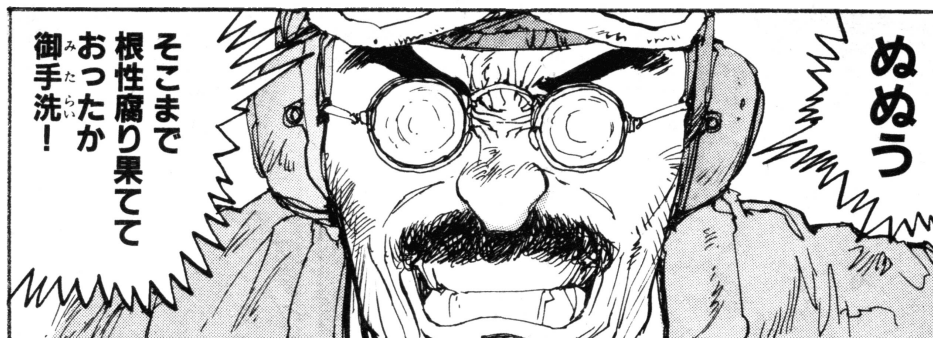


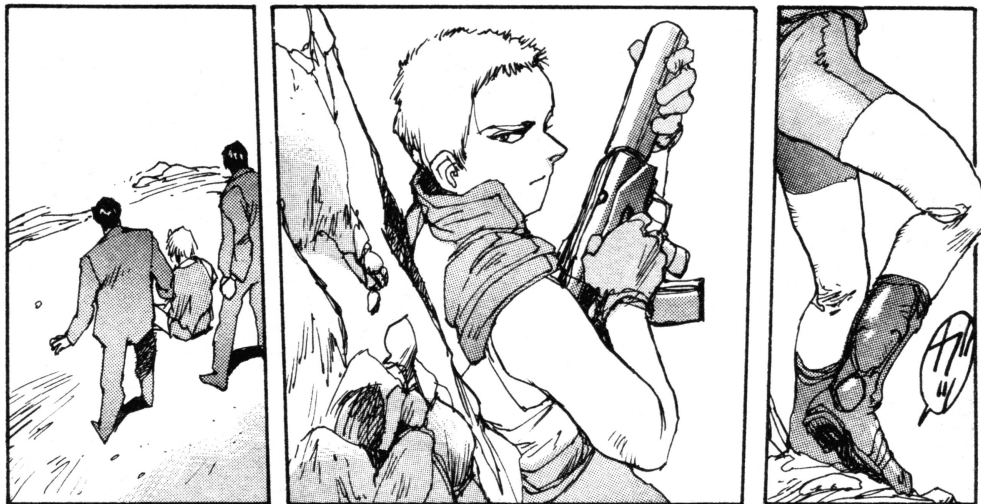
ワシの精魂込めた
“水月”のコピーなど
造りおって!!

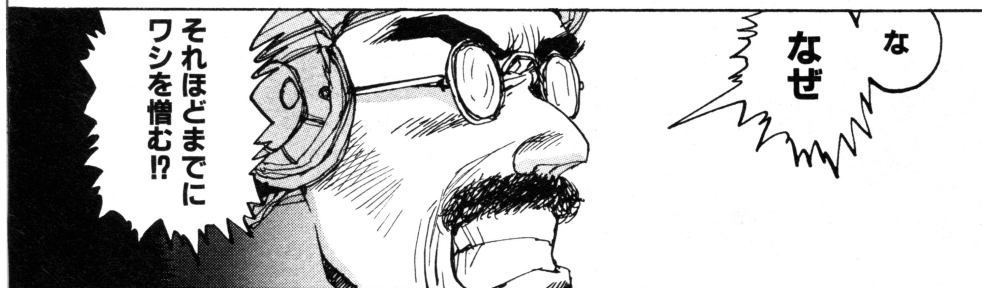
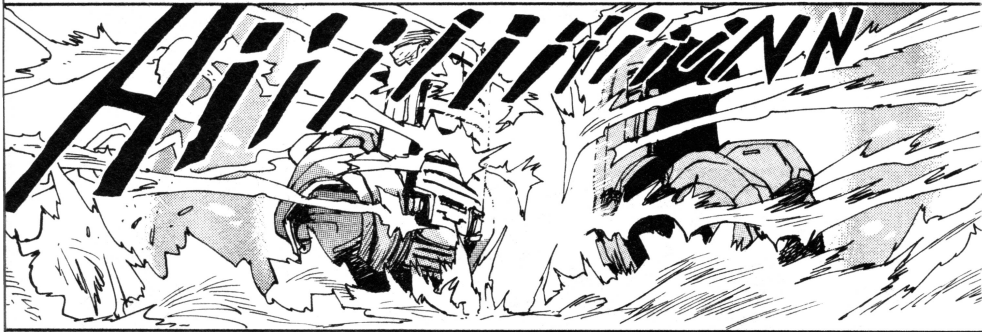
もう
許せん!!

無礼な!
コピーだとオ
!?

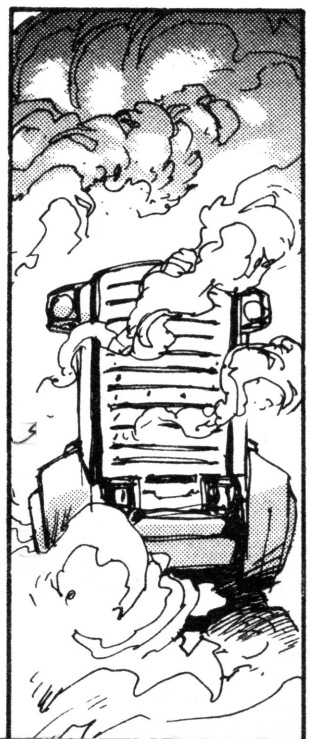
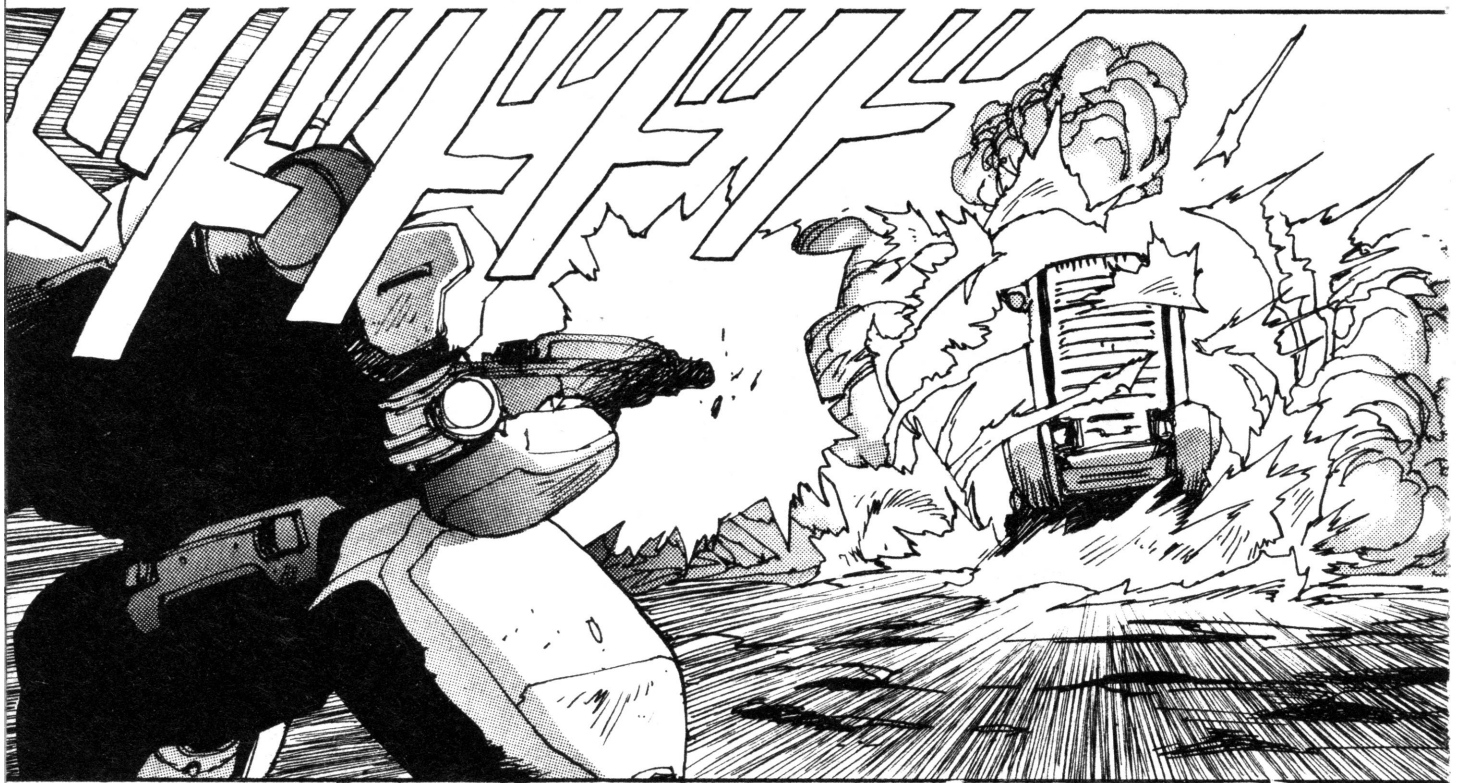
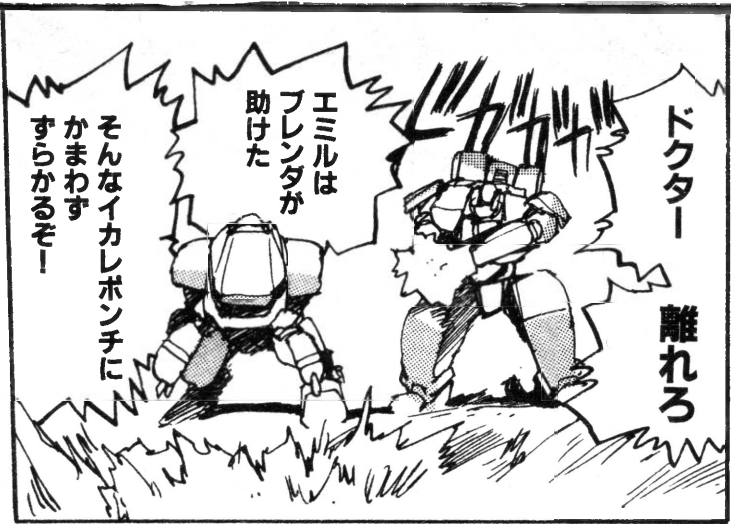
“暁”はオレの
オリジナルだっつ!!













まだ生きとるか?

アルベルト



コピーではない!!

と言うとろが!
水月^{すいげつ}にはない攻撃能力も
ちやあんと備えておるわ!!



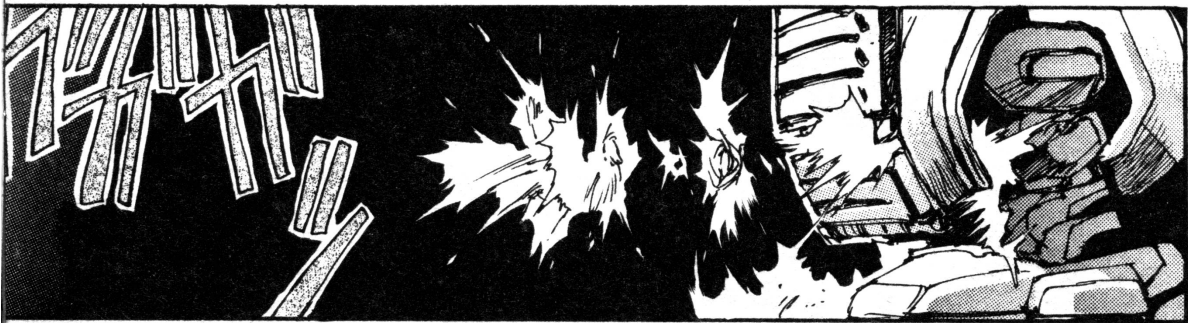
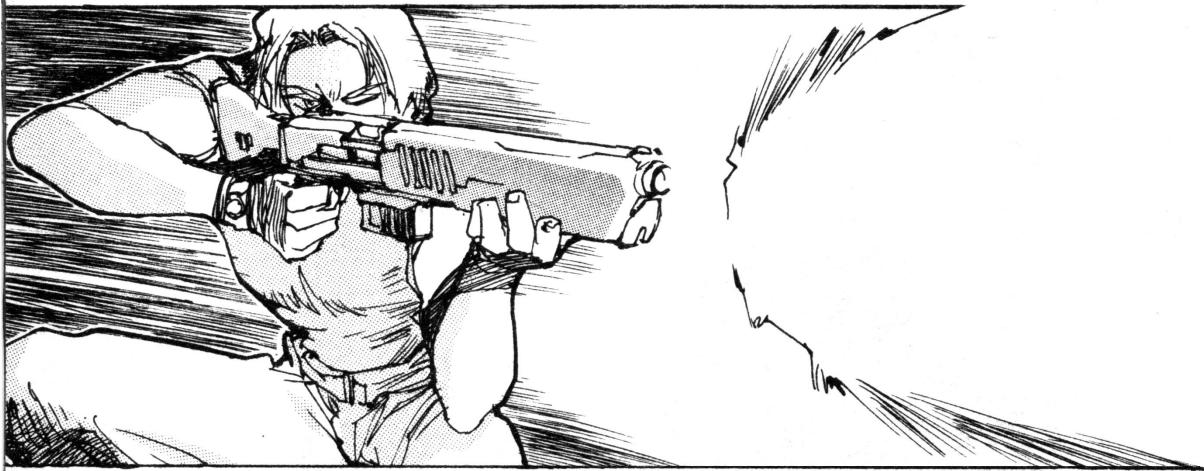
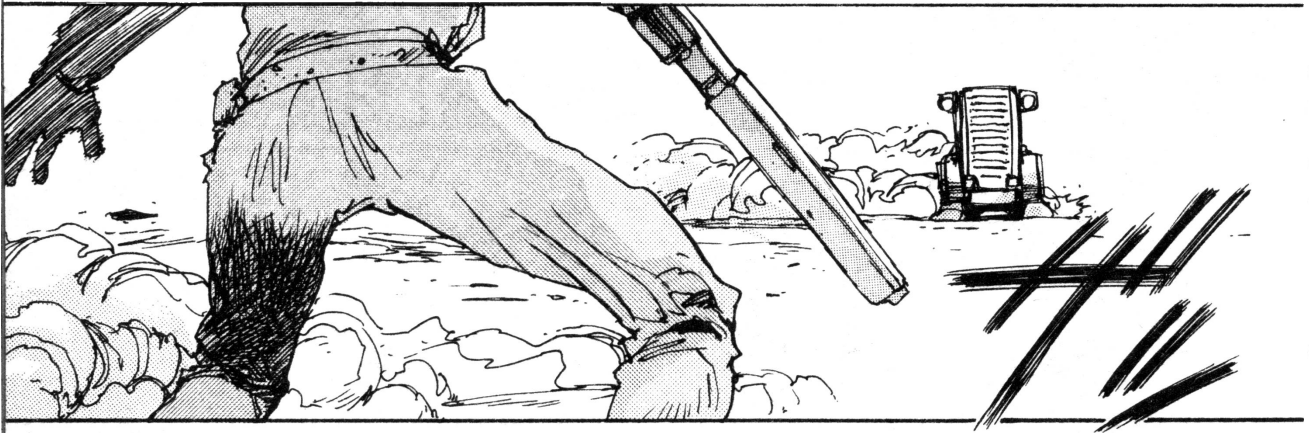
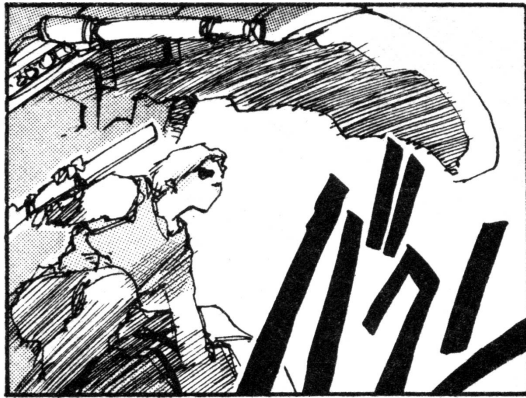
前部装甲板の最下部から
測って33センチ…
そこに斥力シールドの
ピンホールが…ある

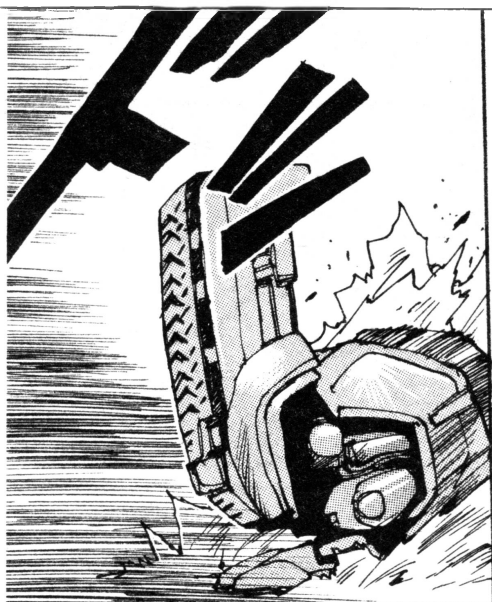
水月^{すいげつ}の左脚駆動ユニットの
右上方30°



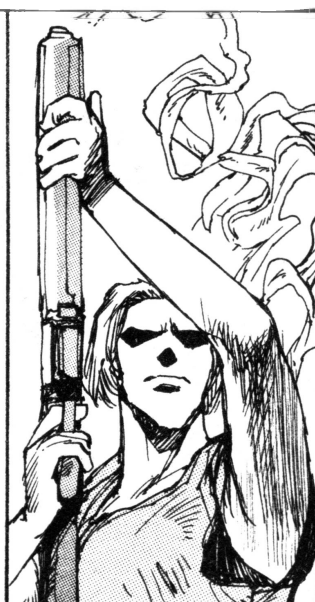
ああ

なんとか



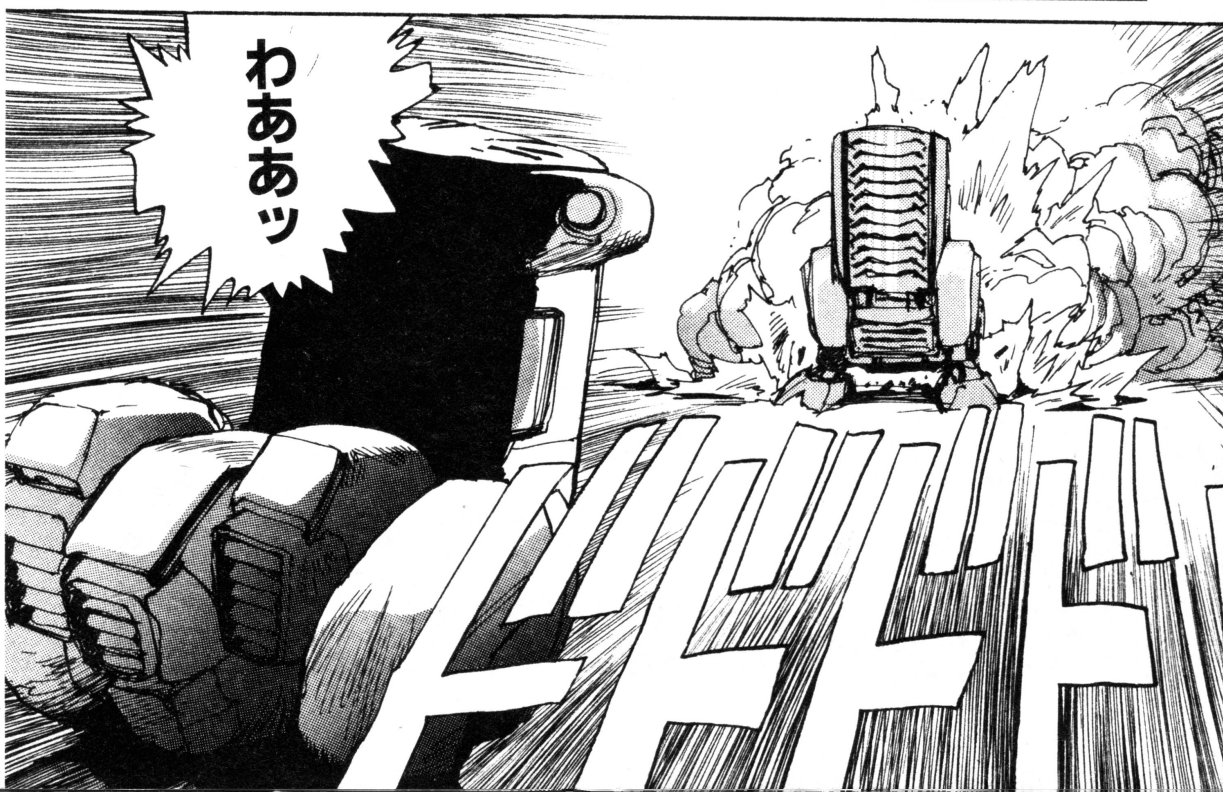


な…
なんだ!?
シールド出力が
異常低下!?



こ…
ここを破壊
されれば
シールド全体の
出力が低下して…

そうか…
斥力シールドの
キリング回路
干渉波がピンホールを
…

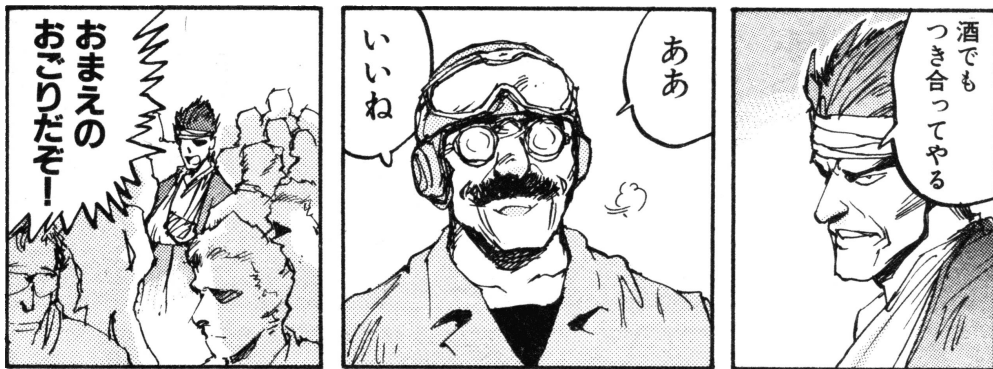


わああッ

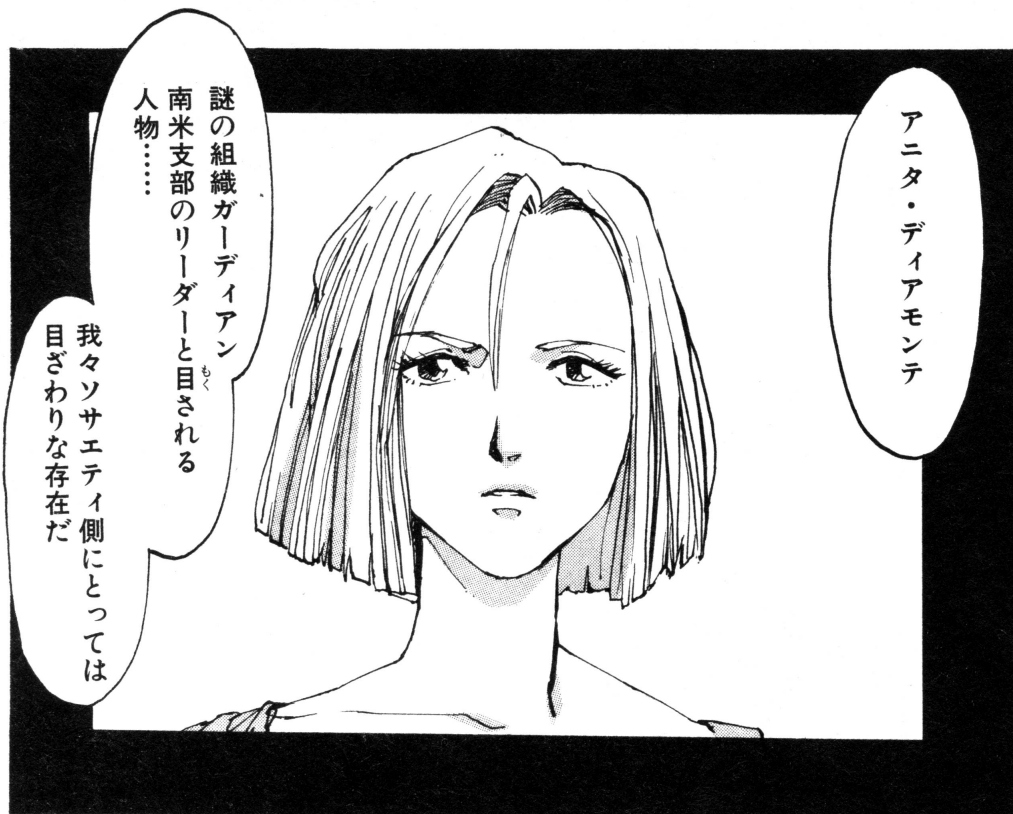








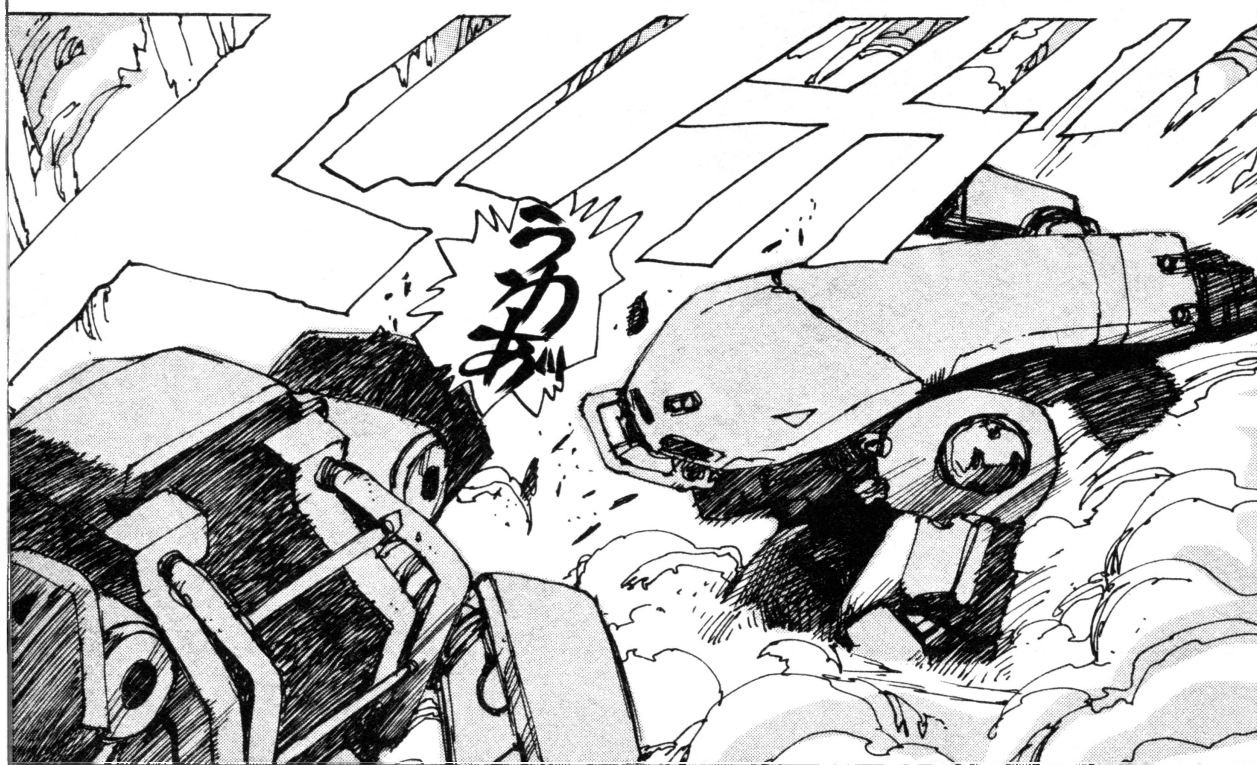
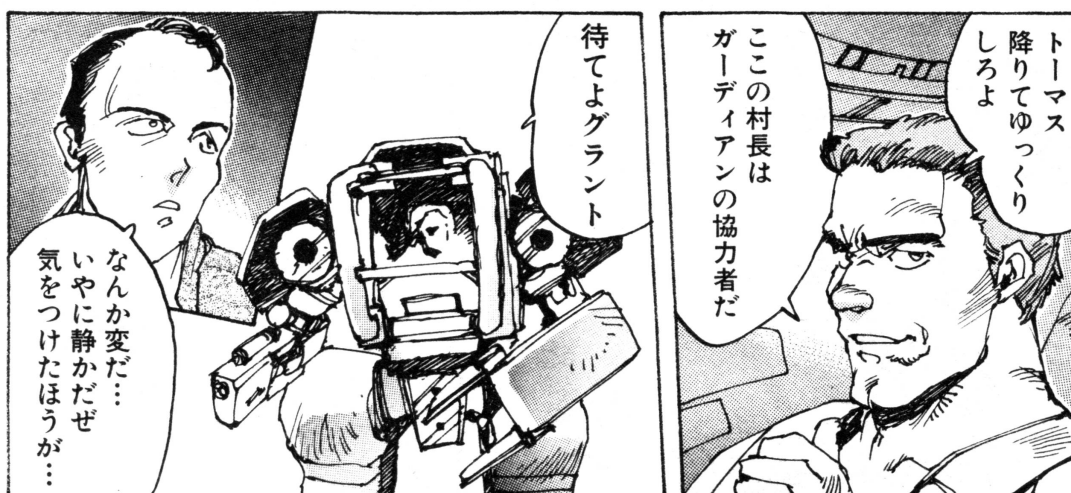
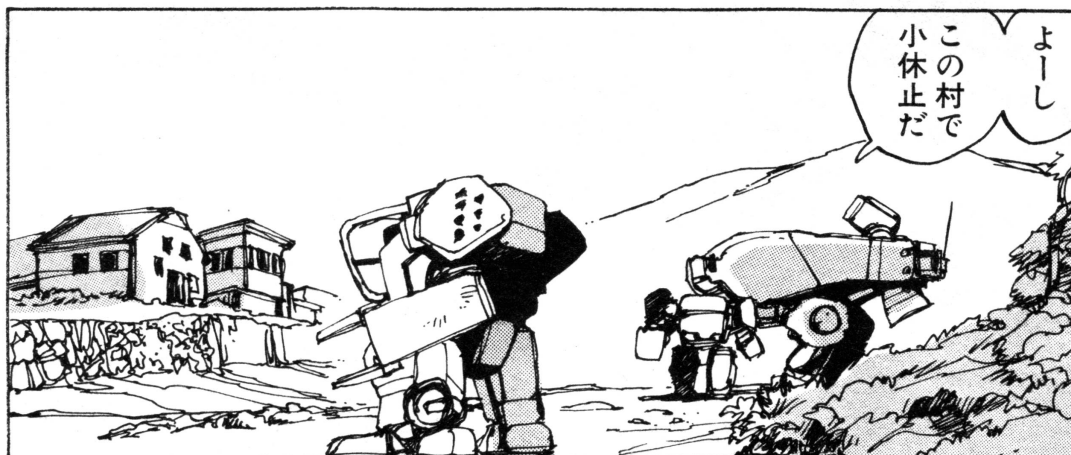
Vol.3 Akihiko Sakata / END



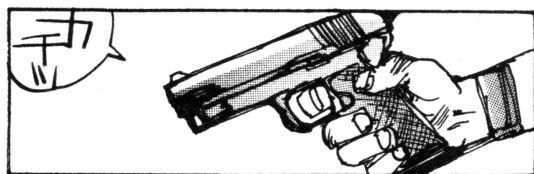
Vol.4 Anita Diamonte

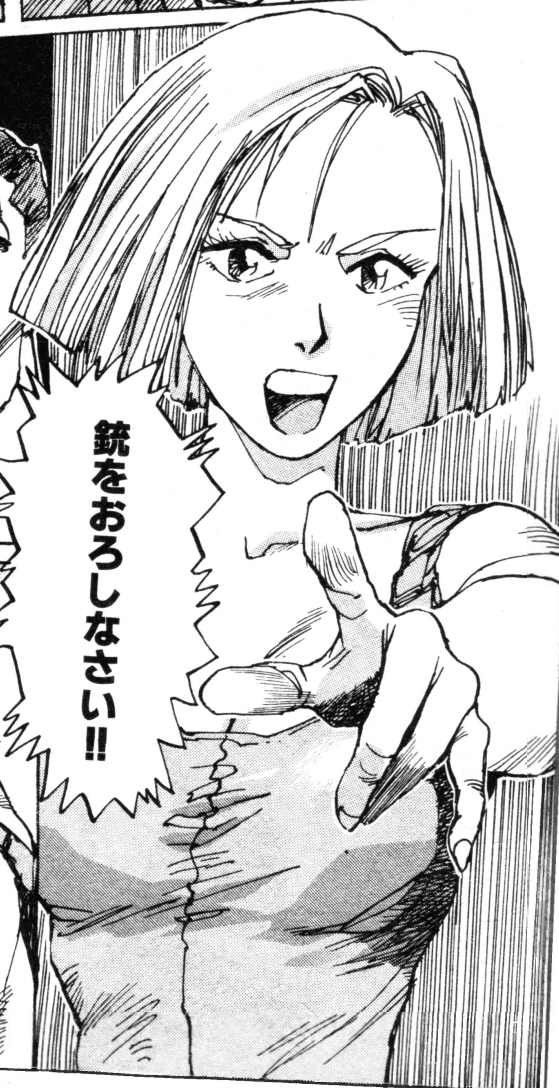
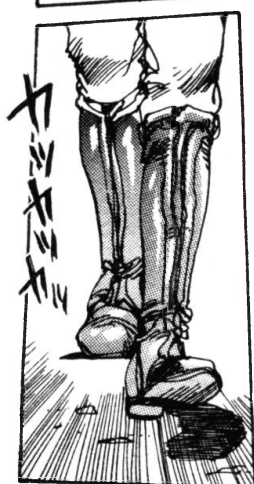
～アニタ ディアモンテ～

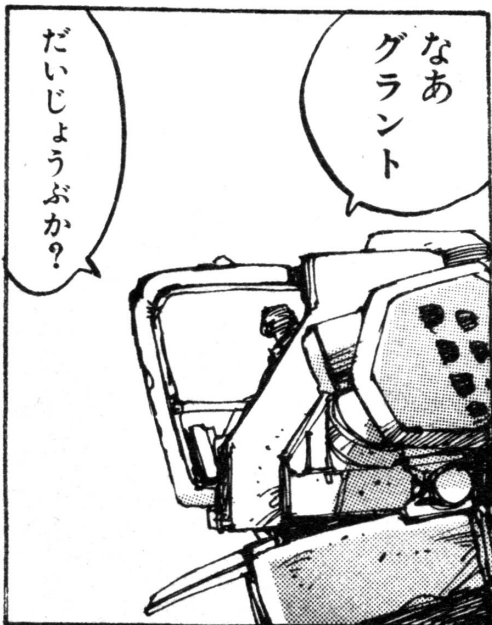
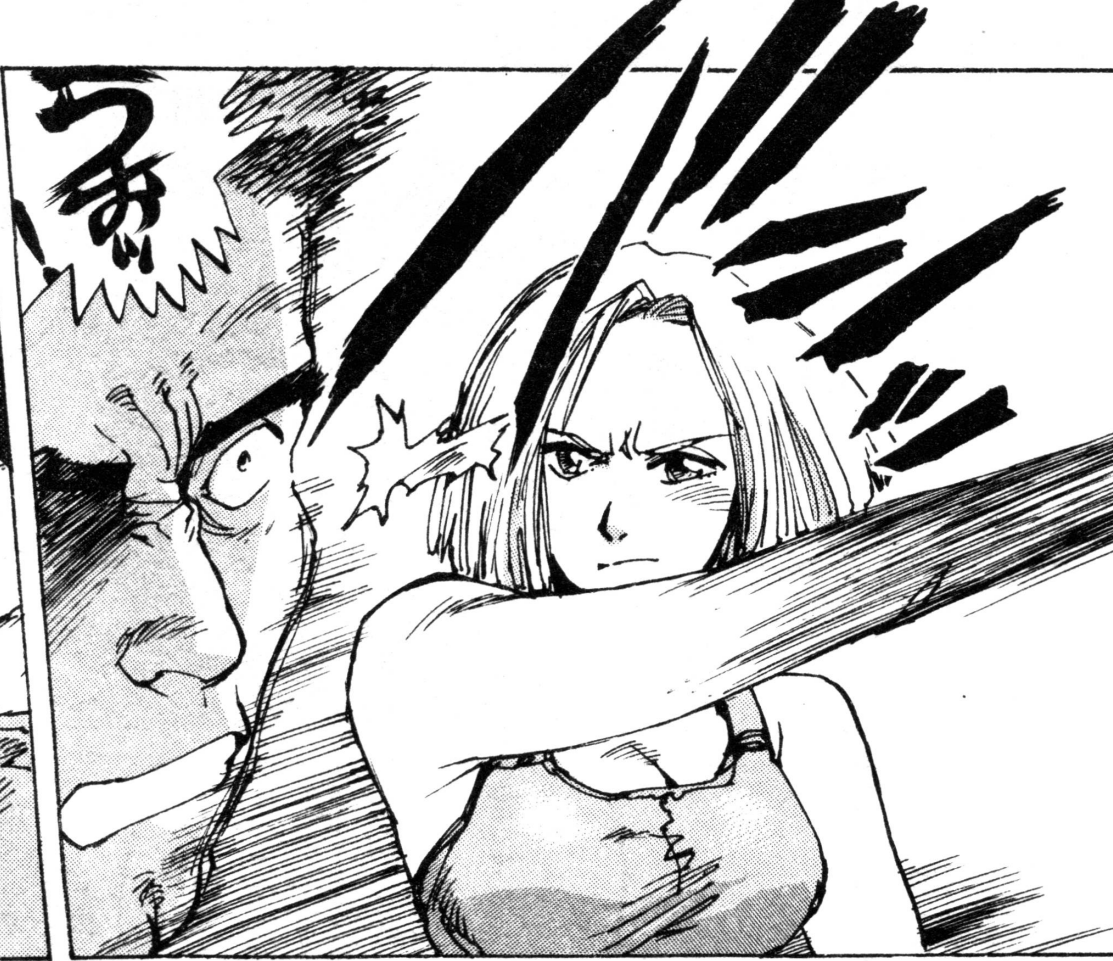


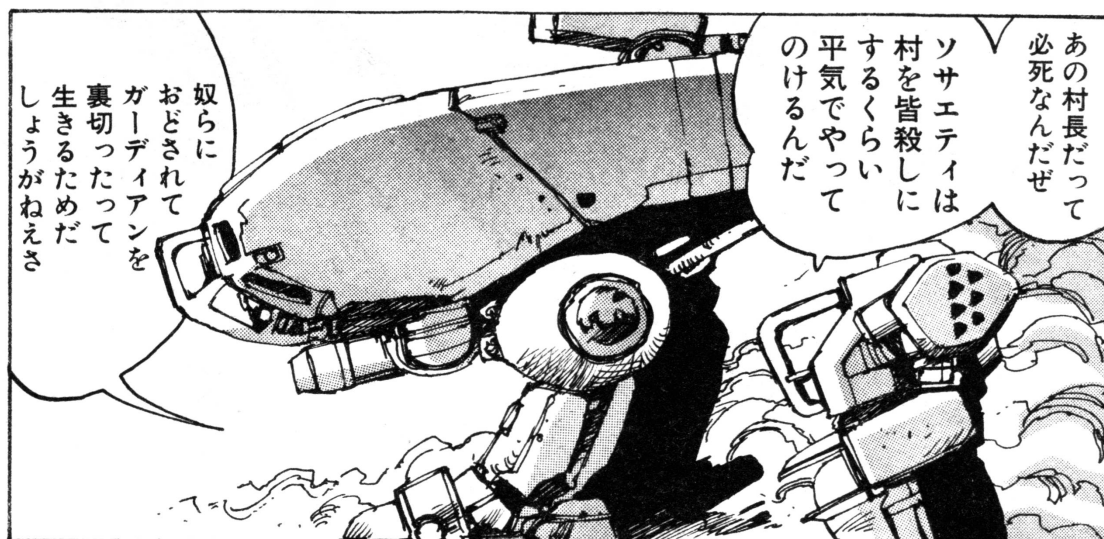












あの村長だつて
必死なんだぜ

ソサエティは
村を皆殺しに
するくらい
平気でやつて
のけるんだ

奴らに
おどされて
ガーディアンを
裏切つたつて
生きるためだ
しょうがねえさ



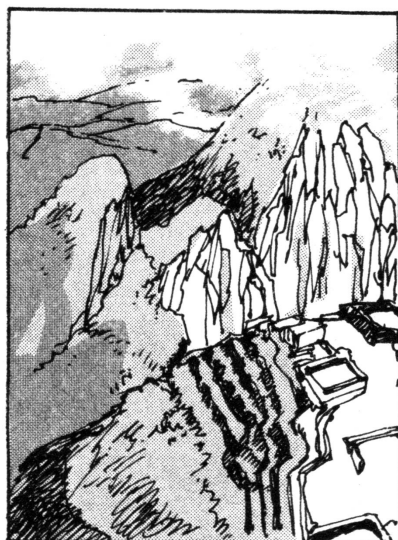
馬鹿だな

だがなあ
俺つてやつは
……



ありがとうよ
トーマス

そう落ちこんじゃ
いねえから安心しろ

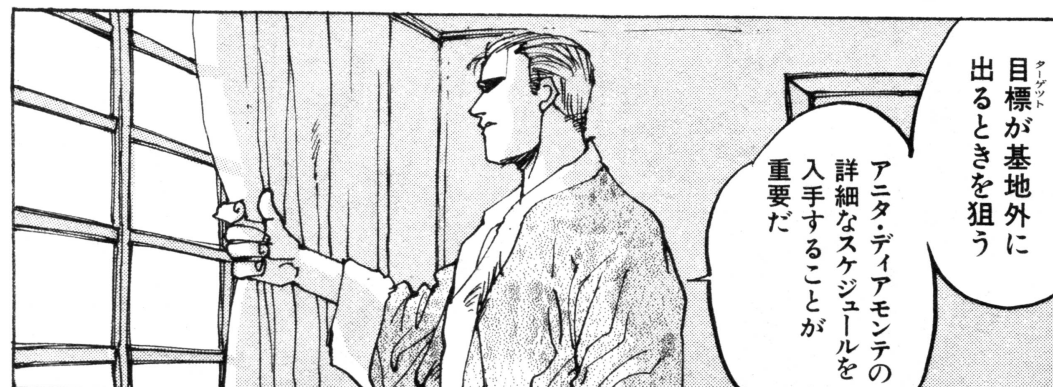


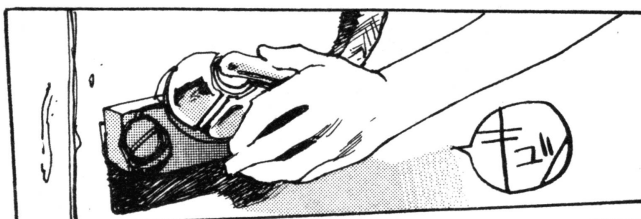
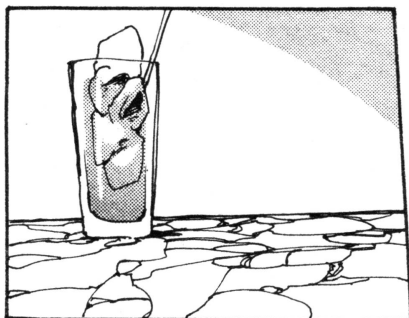
熱くなると
とことんまで
やらないや
気がすまねえ

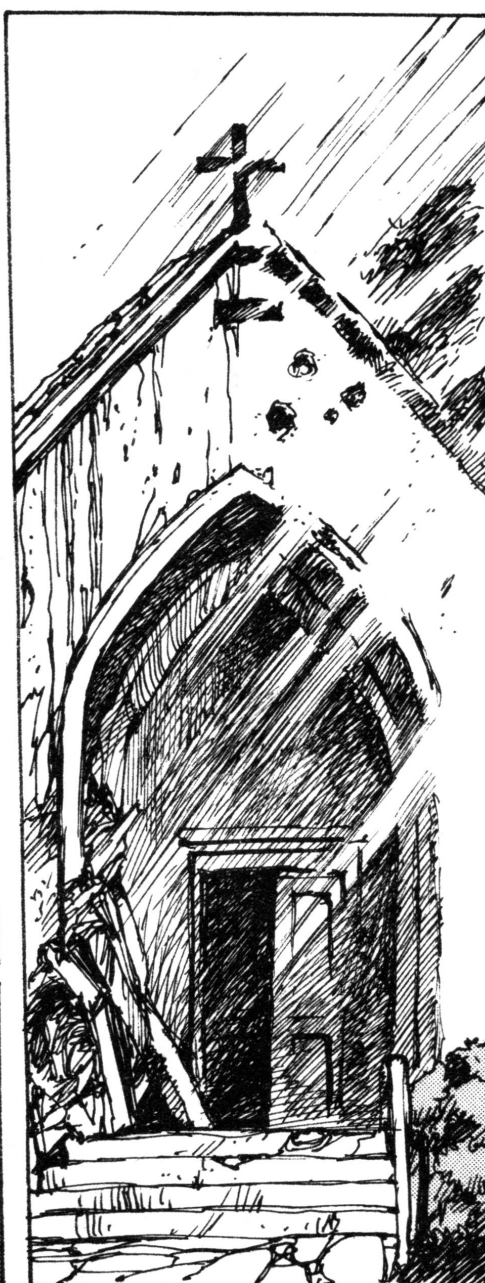
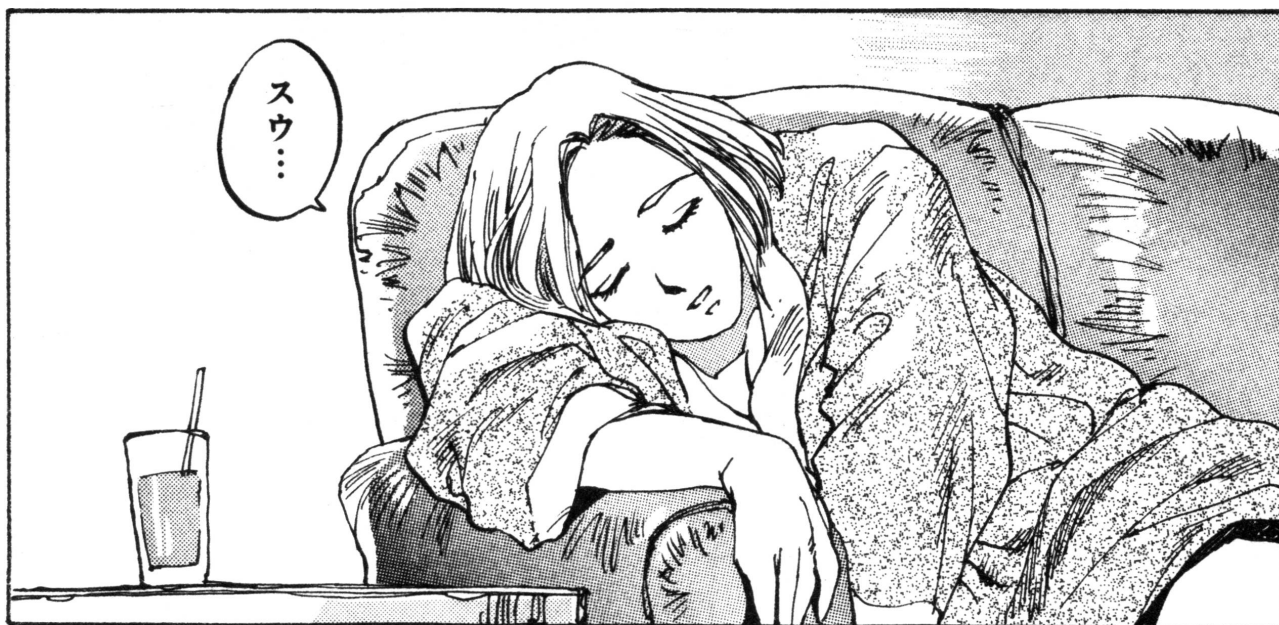
アニタが
怒るわけさ

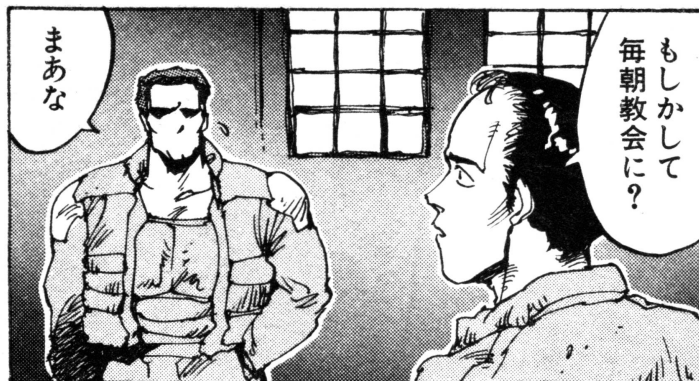


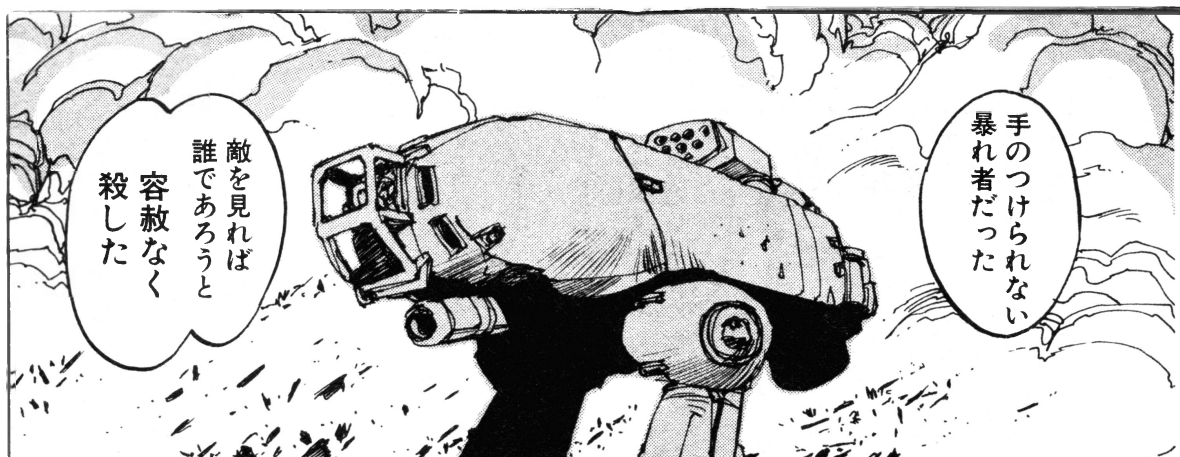












手のつけられない
暴れ者だった

敵を見れば
誰であろうと
容赦なく
殺した



味方ですら俺のことを
「血に飢えた殺し屋」と
呼んだ

グラント

あなたは殺しすぎる

気がつかないの？
あなたの心は死んでいるのよ
あなたが殺した人たちと同じく
……

あのときの
アニタの目は澄んでいた……

天使を見た……と
思った

「殺し屋」と
呼ばれた俺のことを
みじんも恐れて
いなかった……

俺アな
そのとき

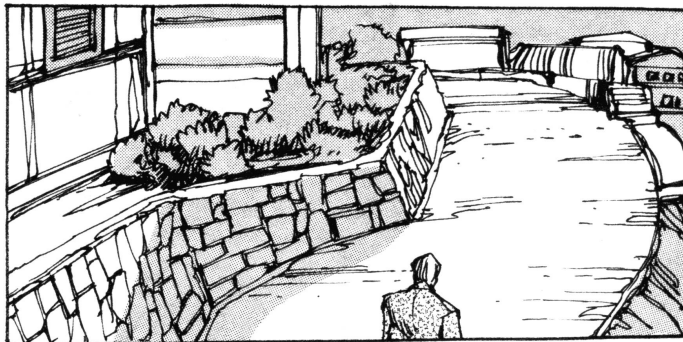
これは極悪無残な
人生を送ってきた
俺を哀れんで

神が遣わされた
天使だ…

だから毎朝
祈っているのか

俺は天国へ
行けないから

死んでからじゃ
神様に会って
お礼を言えない
からな



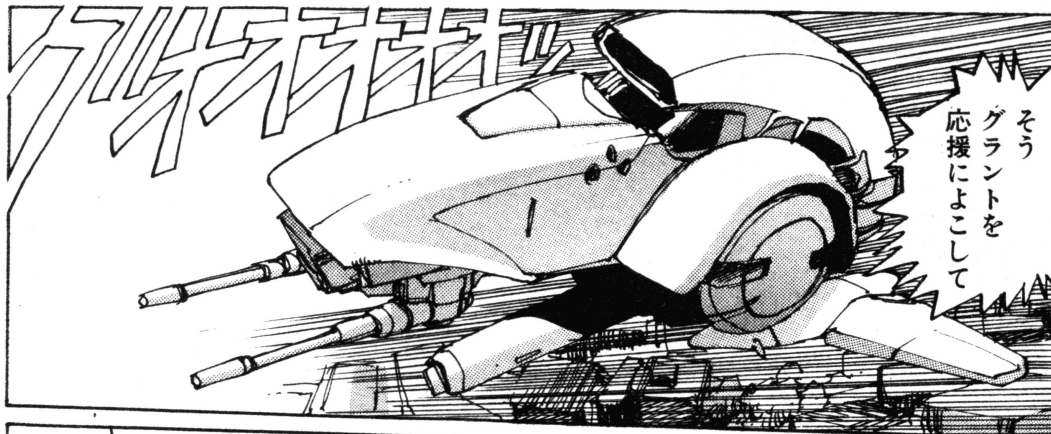
このマンションが
射撃位置としては
絶好だな…

来たか

ハオオオオ

ニヤリ





そう
グラントを
応援によこして

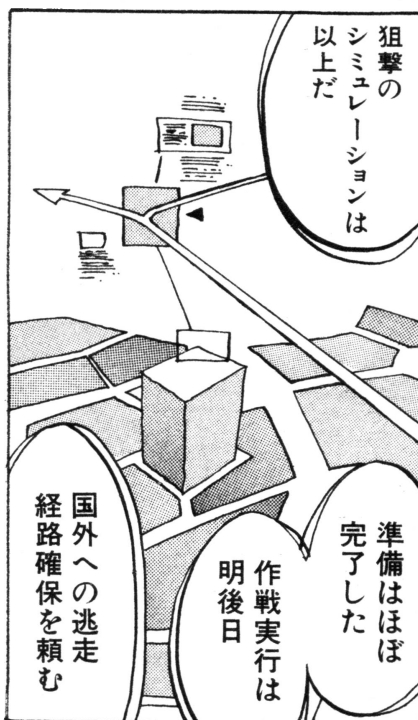


アニタの
エスパードだ



敵の数が多いときは
グラントのほうが
頼りになるわ

現場急行
するように
言って!



狙撃の
シミュレーションは
以上だ

国外への逃走
経路確保を頼む

作戦実行は
明後日

準備はほぼ
完了した

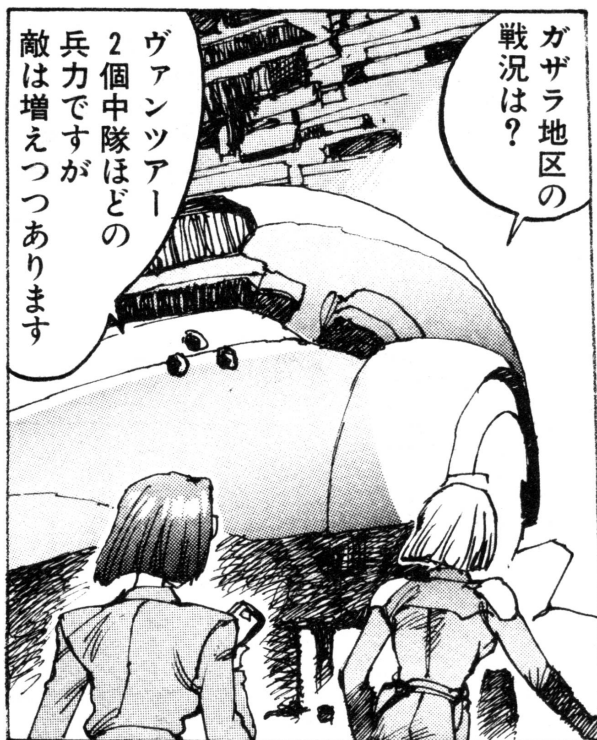
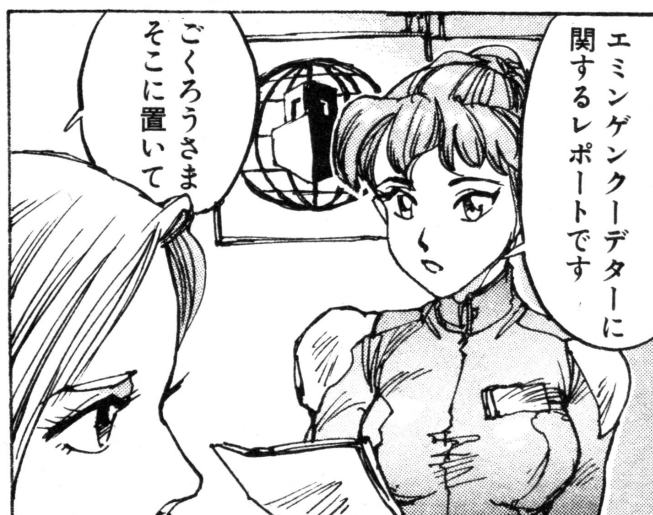


基地から出撃
するとき

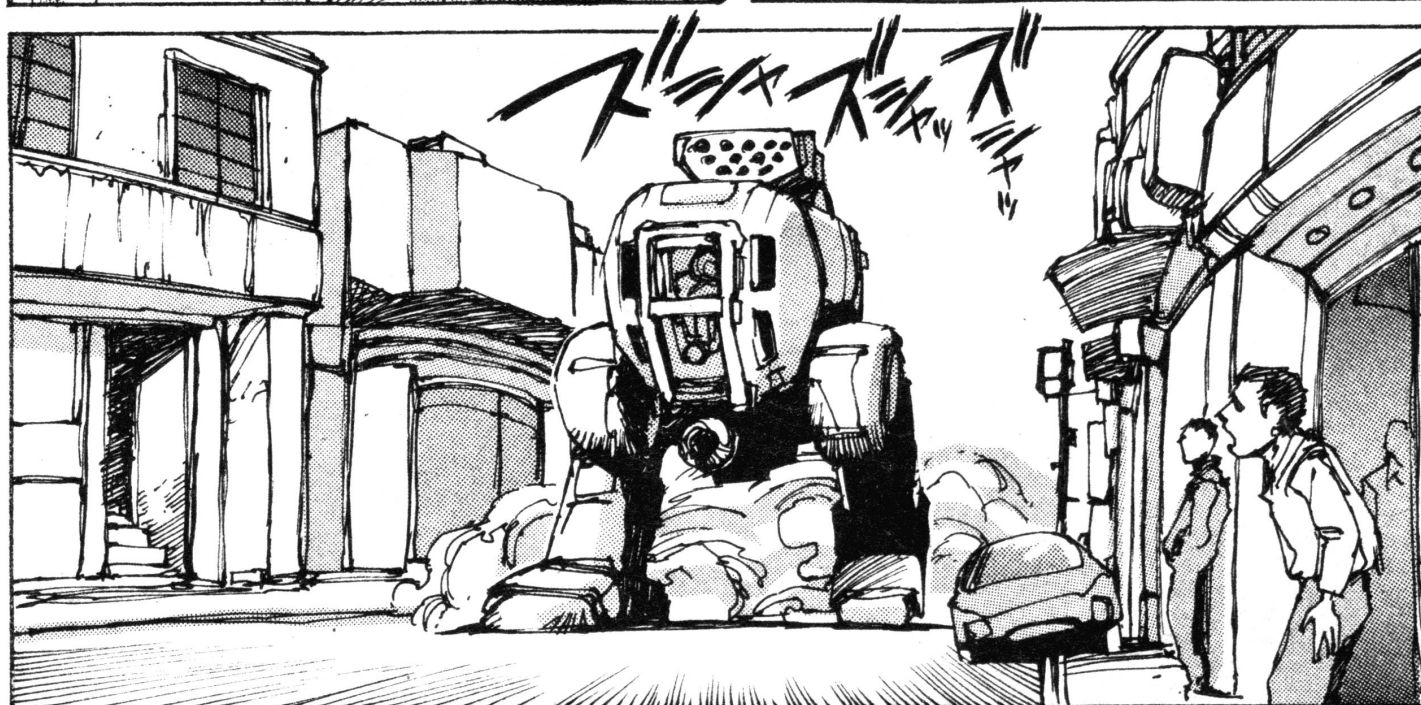
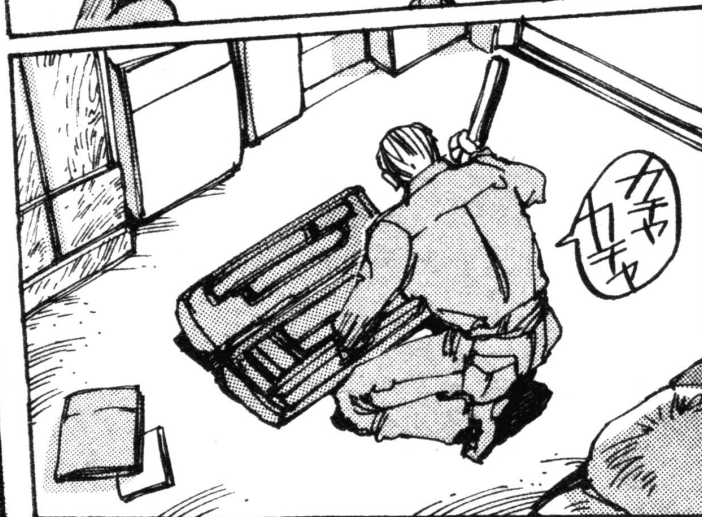
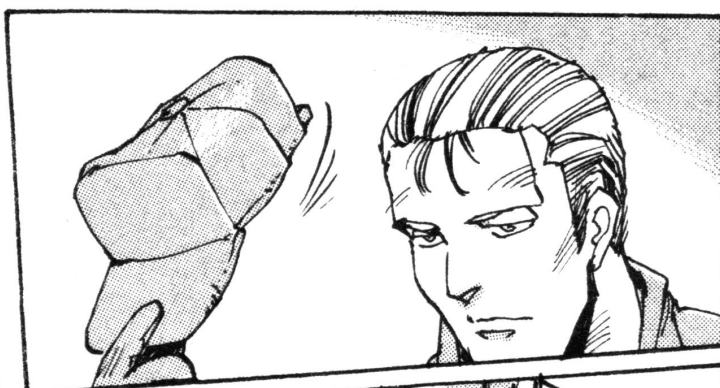
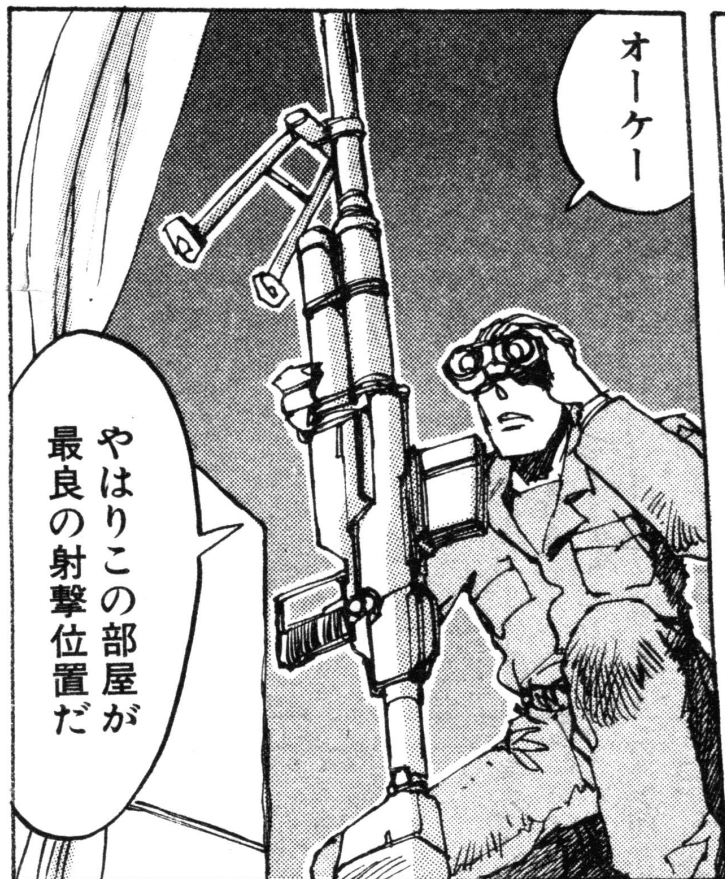
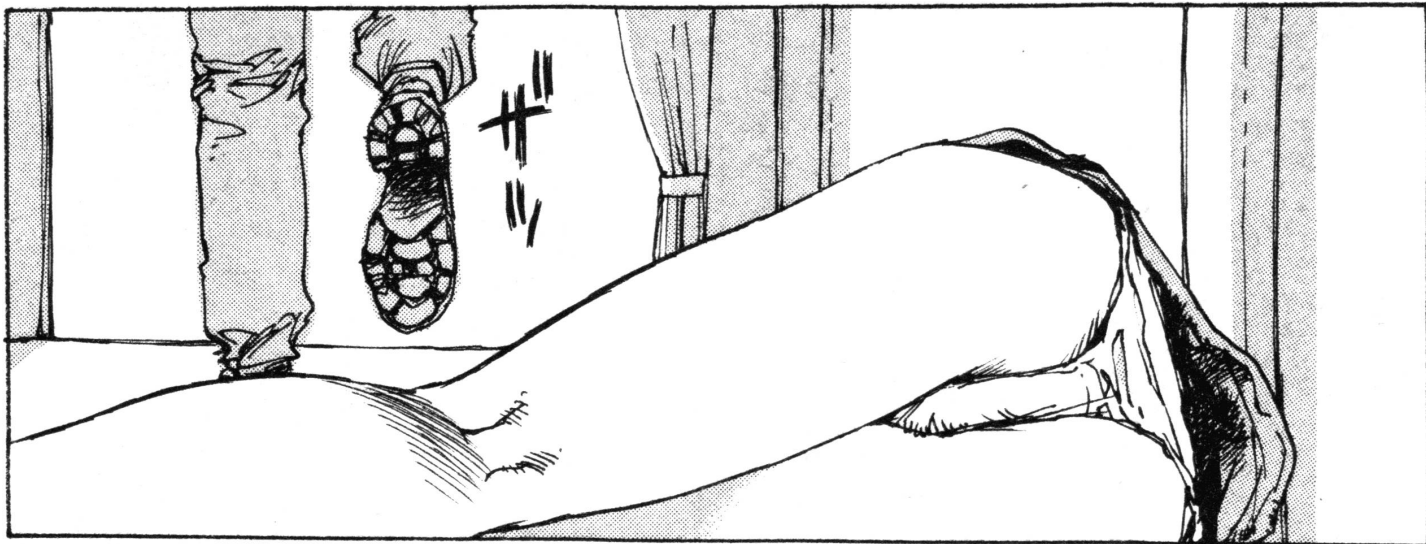
グラント
目標は
必ずこの街の
上空を通過する

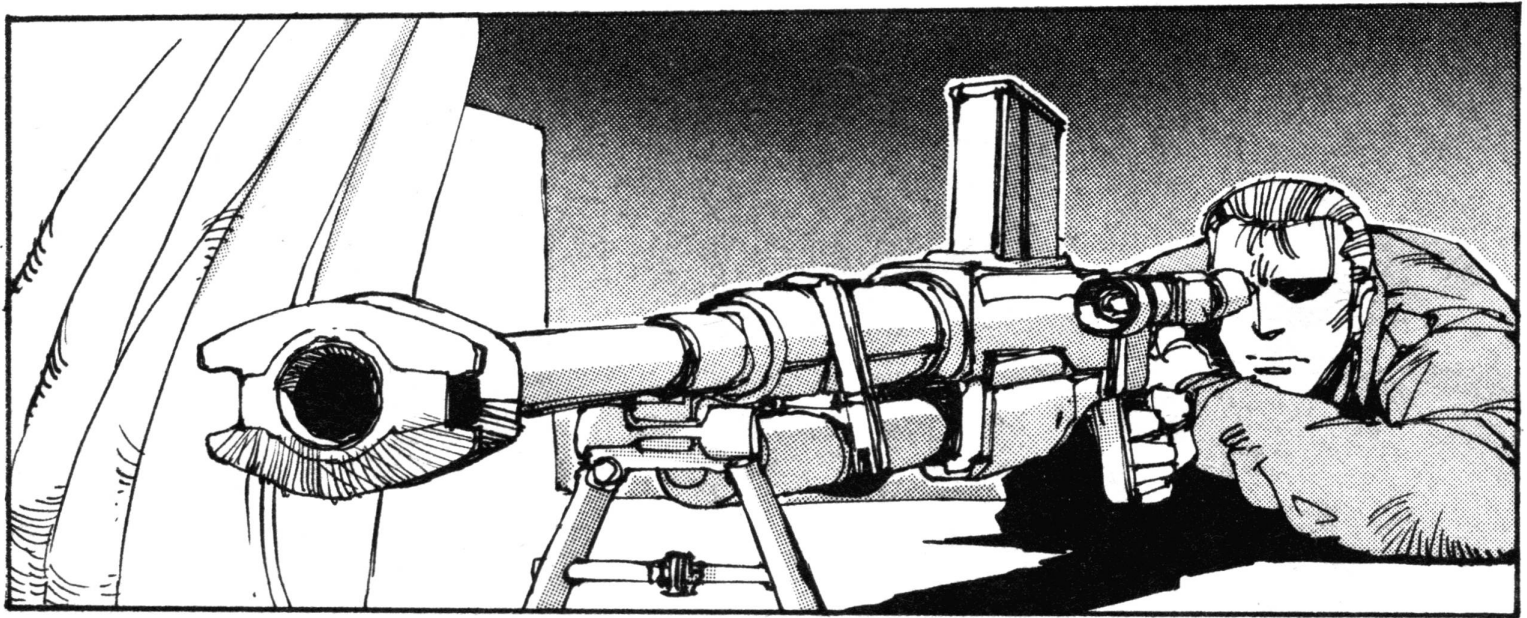
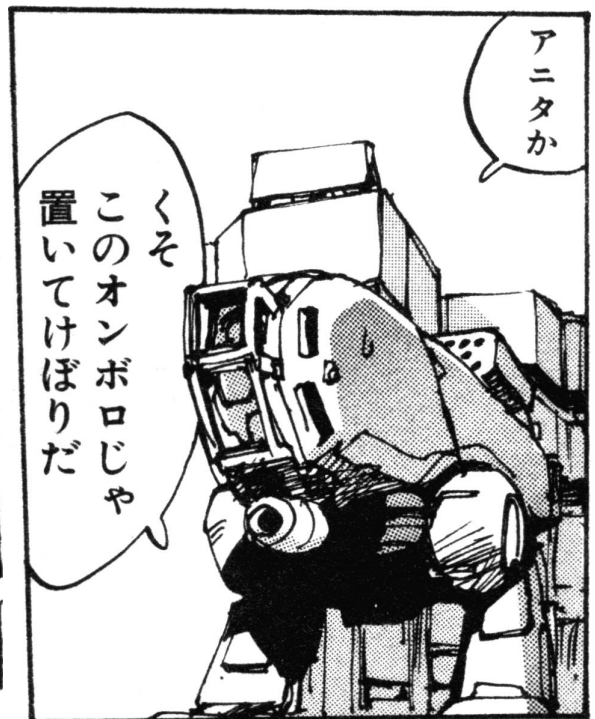
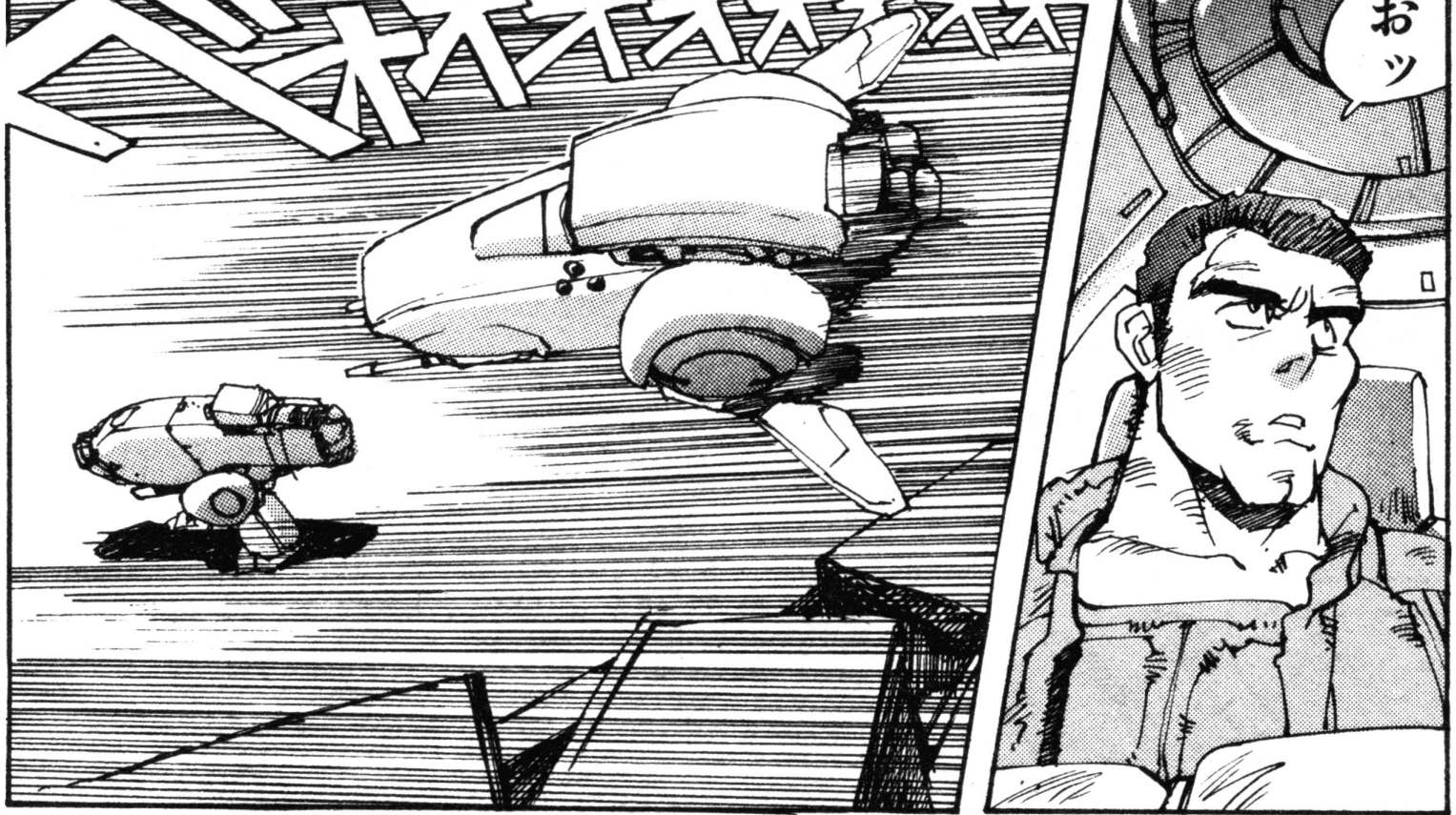


と殺ったな...



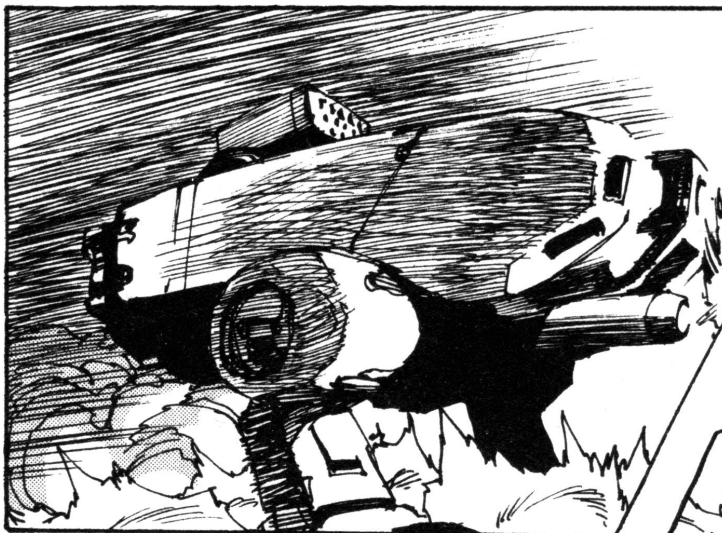
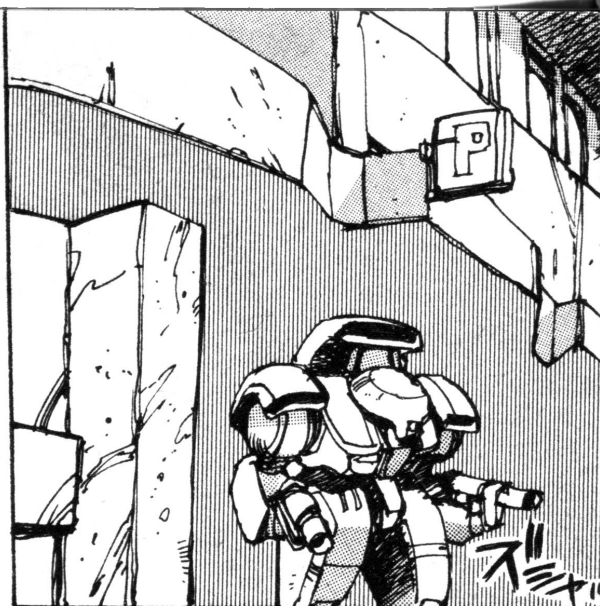
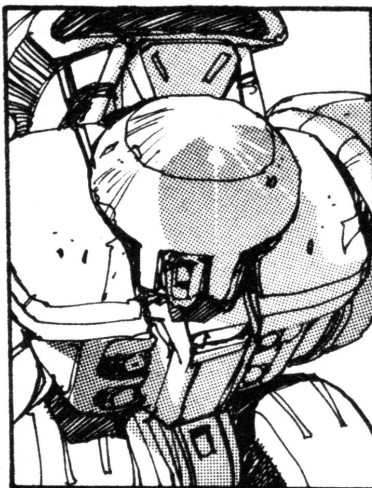


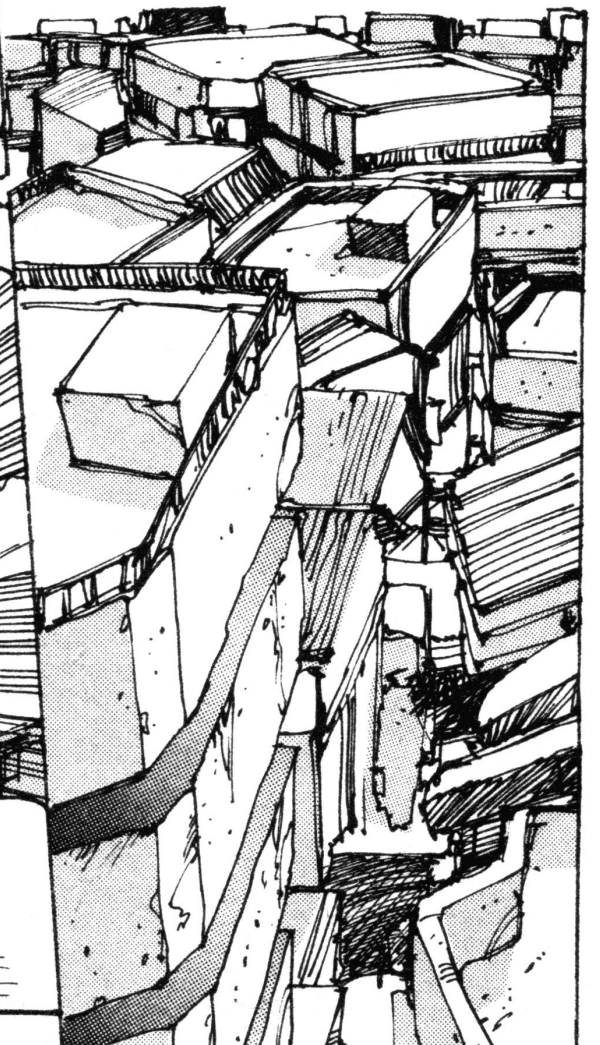
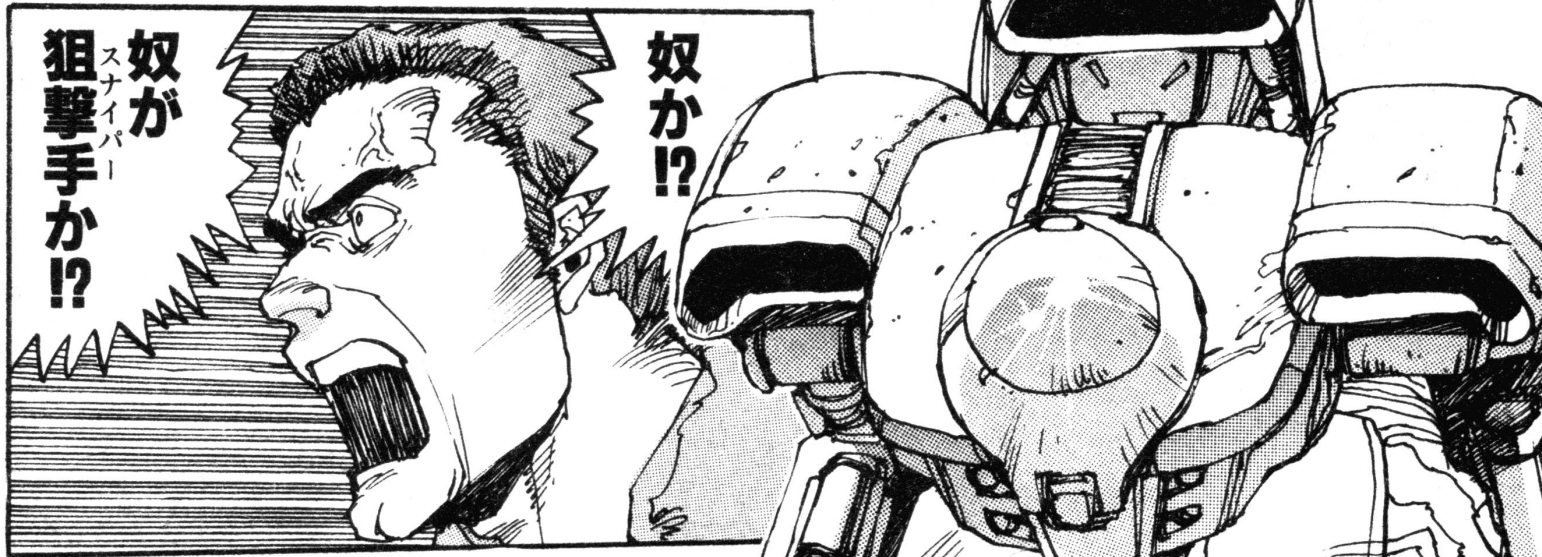


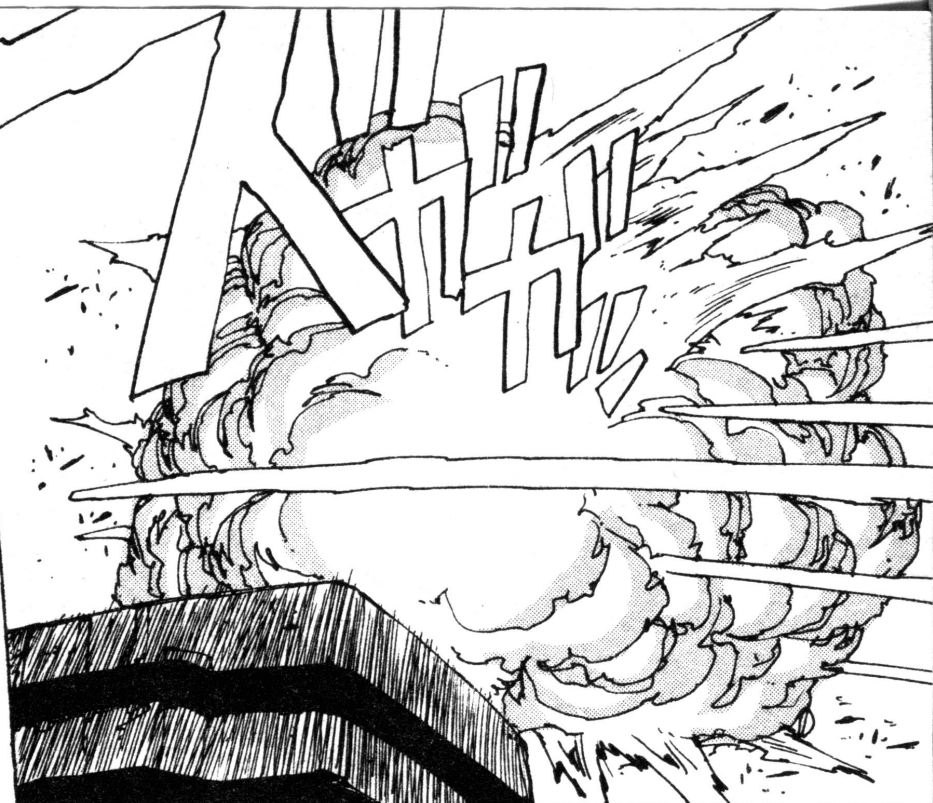


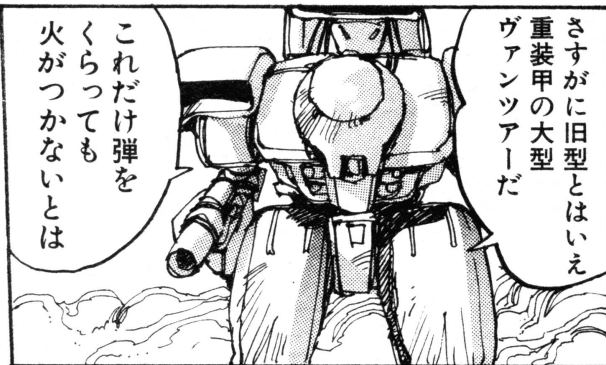
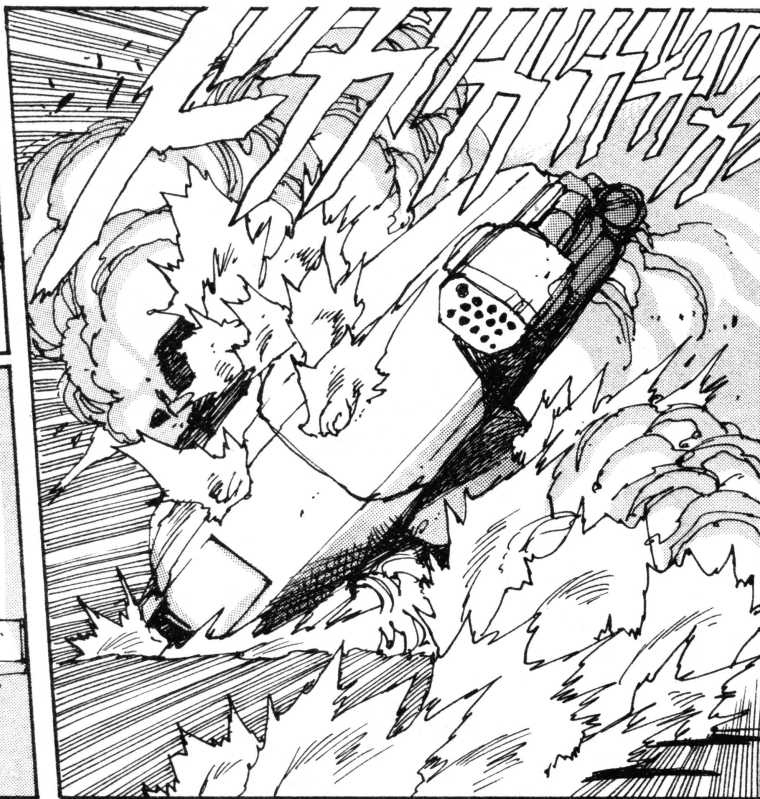
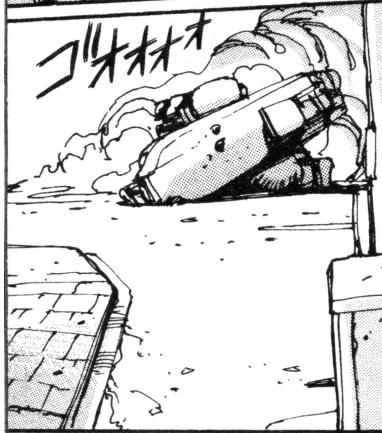


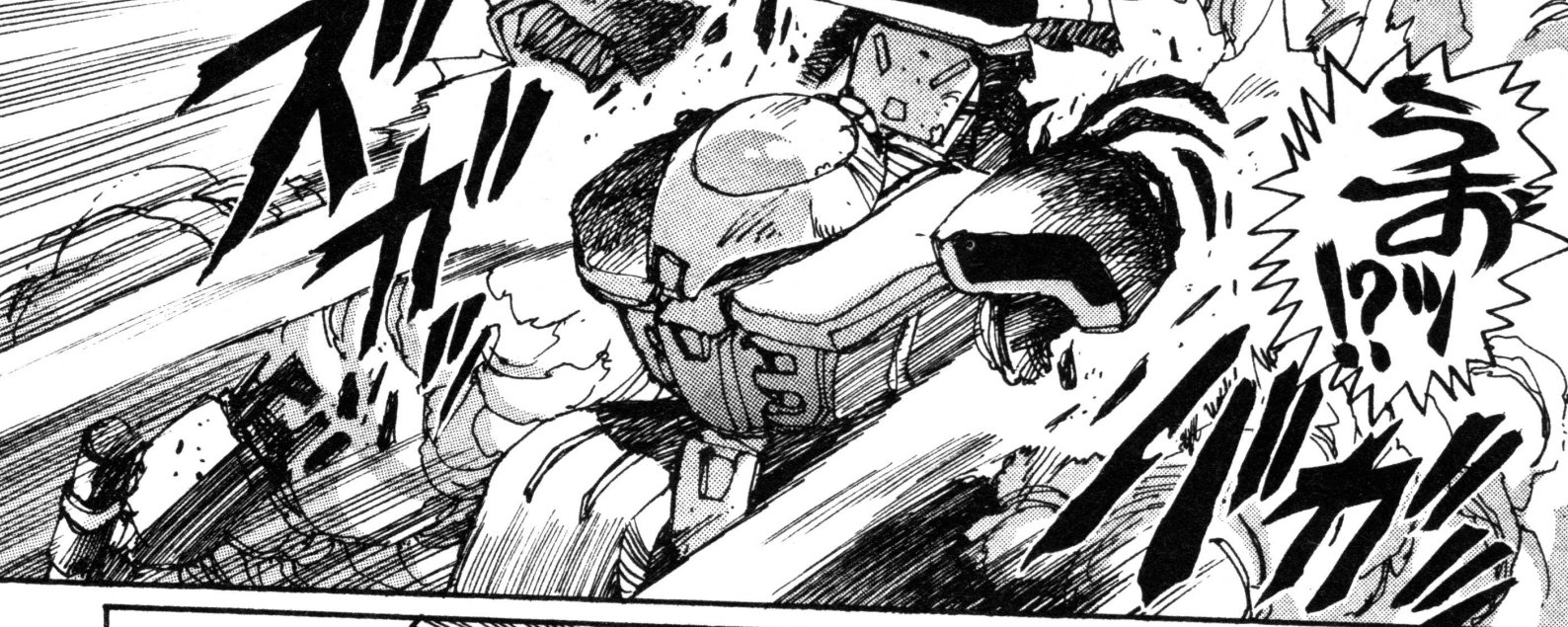






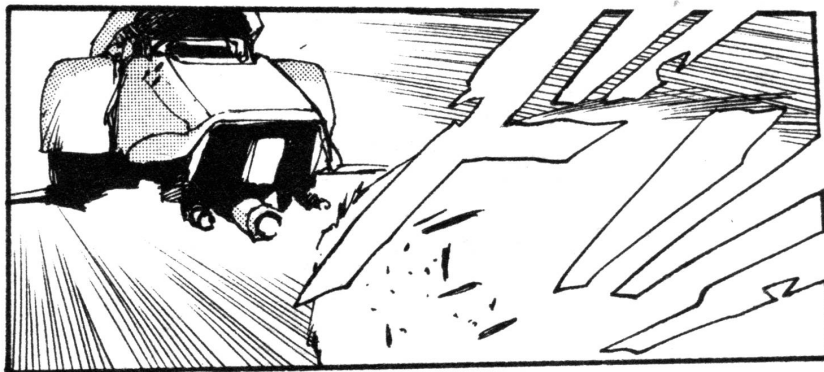






じゃ…
私が撃ったのは

ばかな!!?

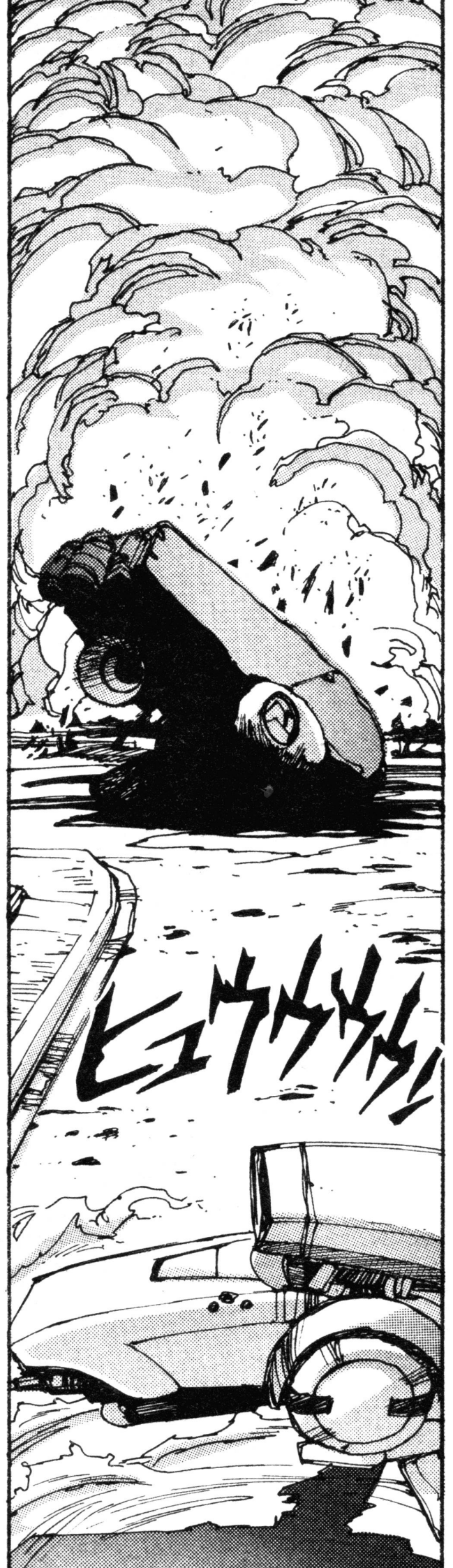
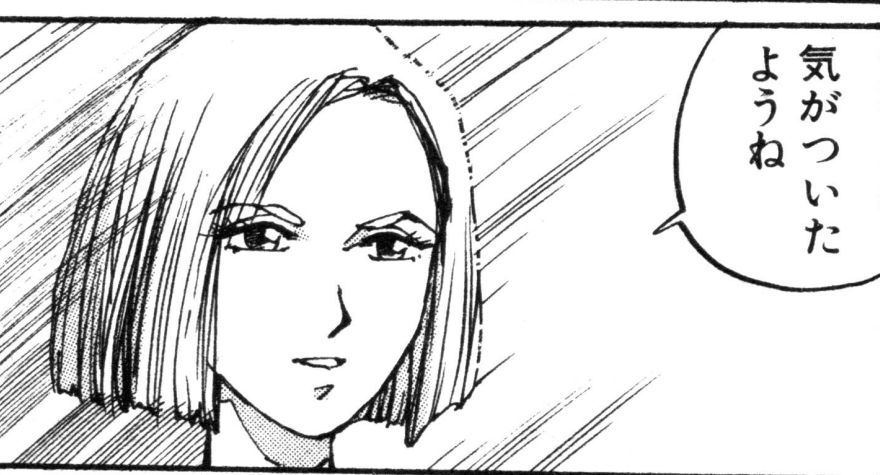
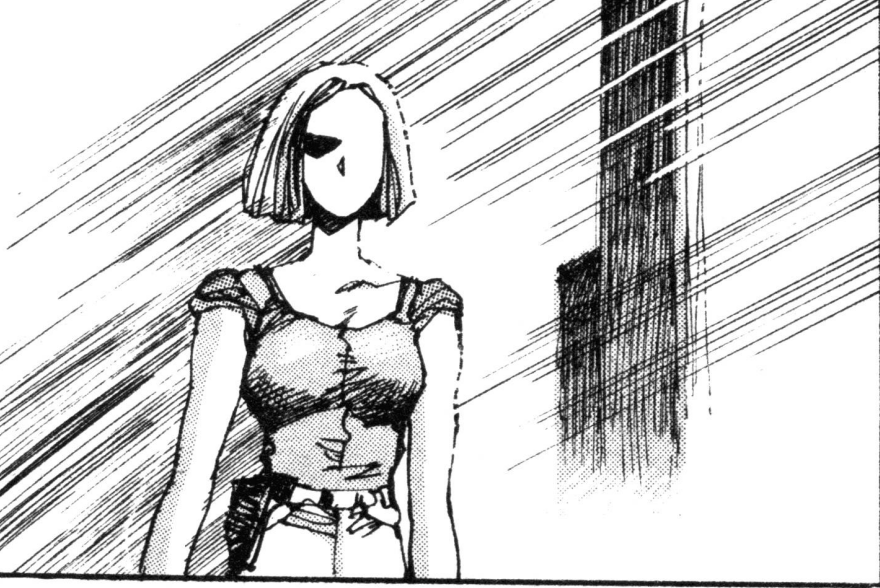


エ…
エスパーダー!

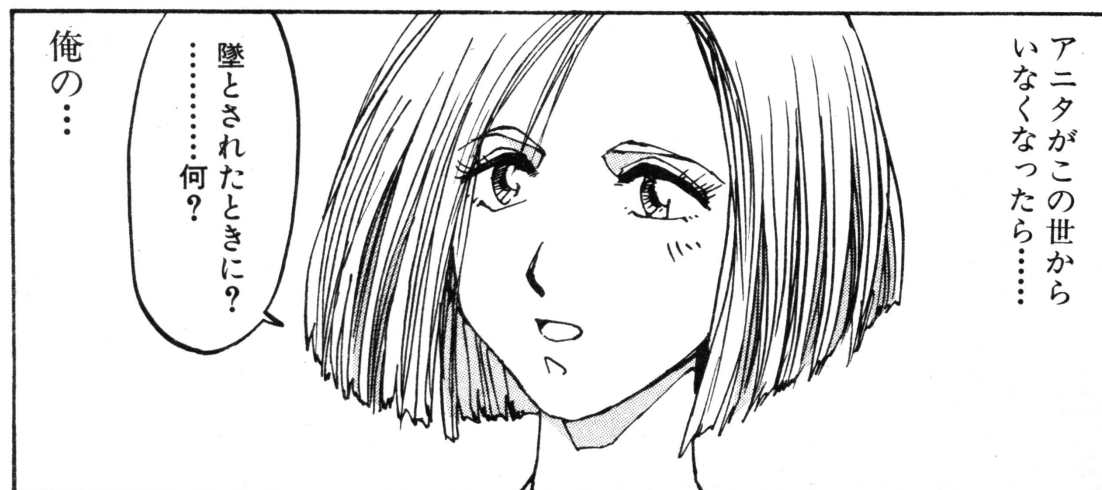
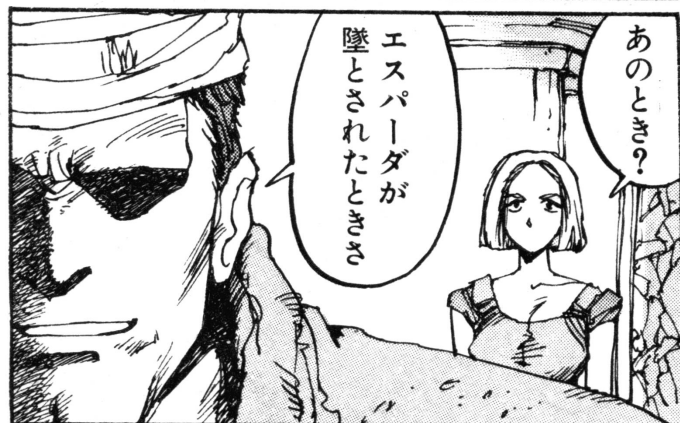
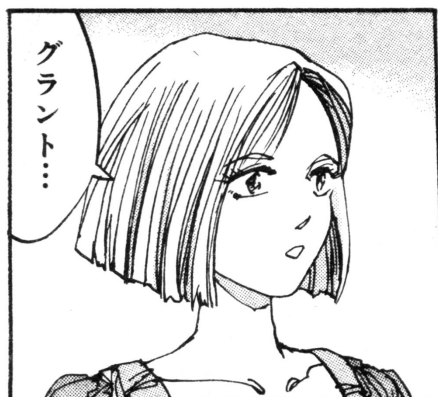
エ…

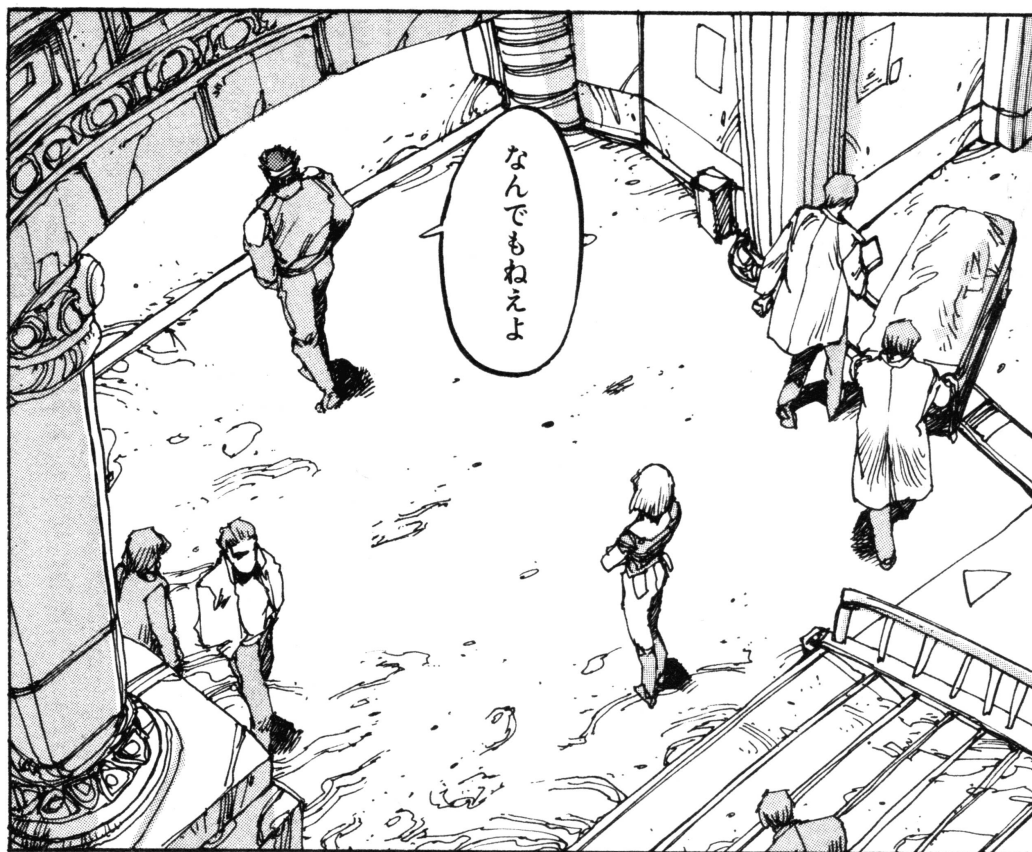
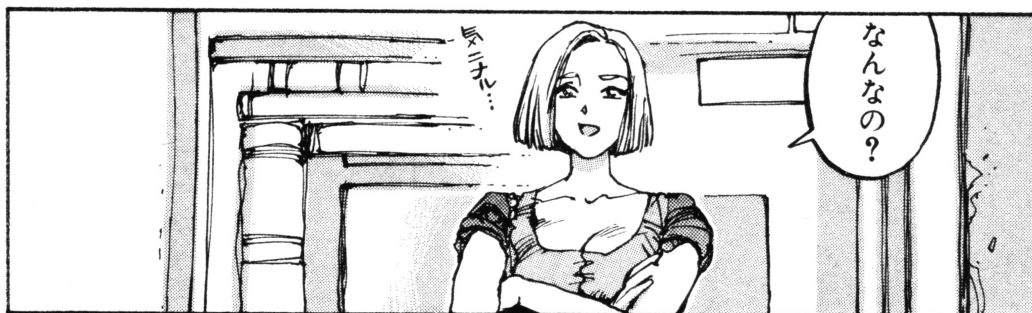
エスパーダー!



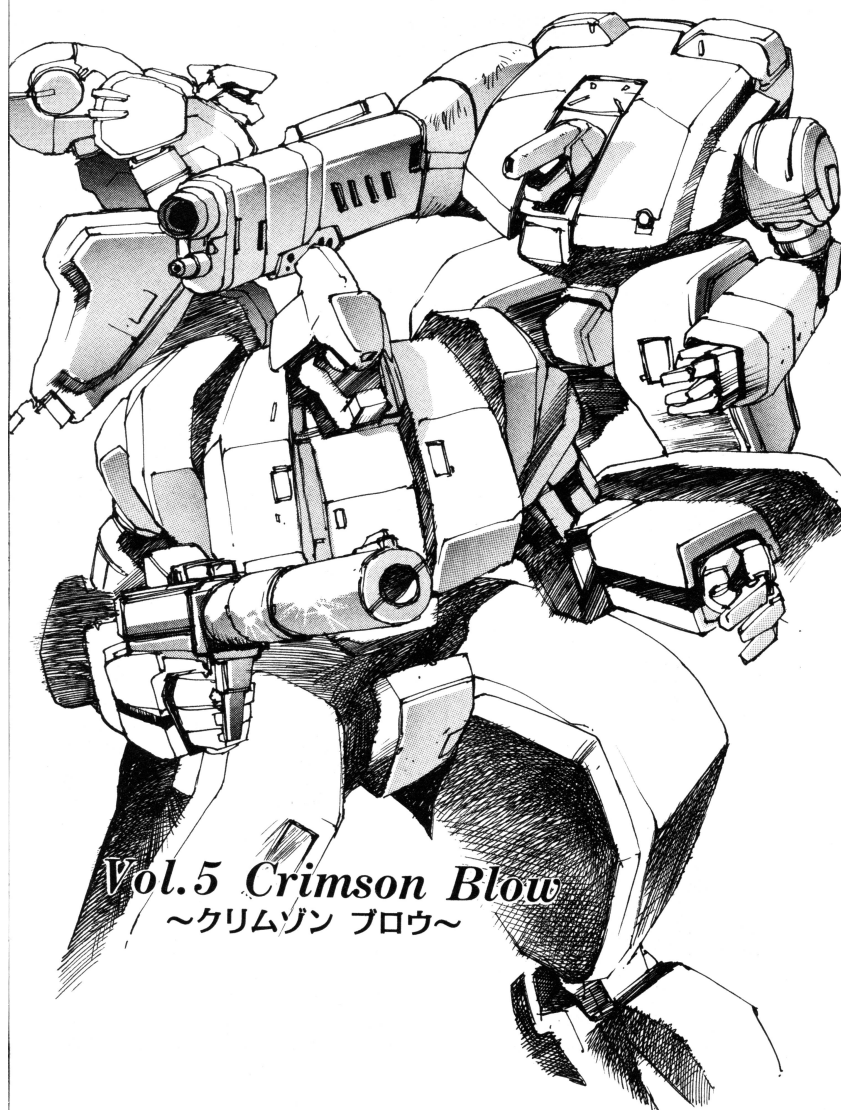




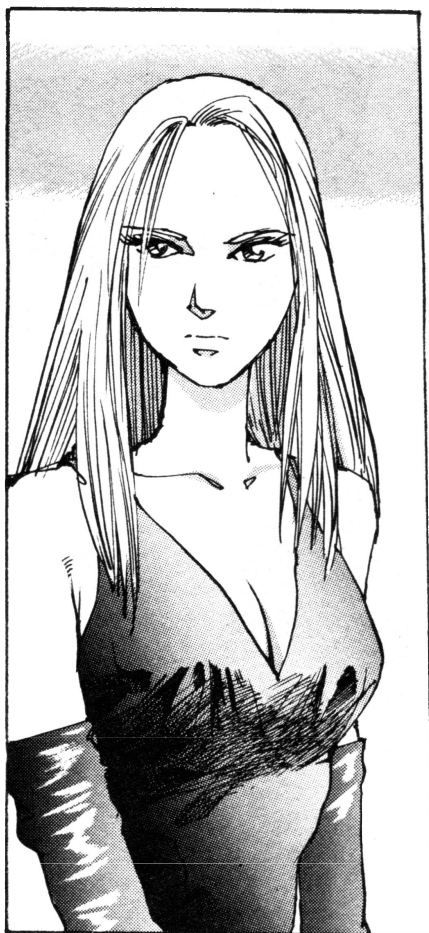


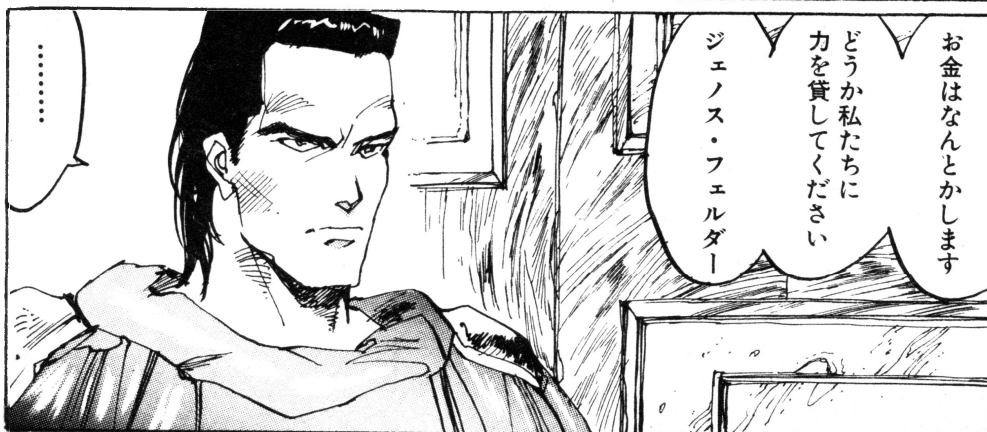
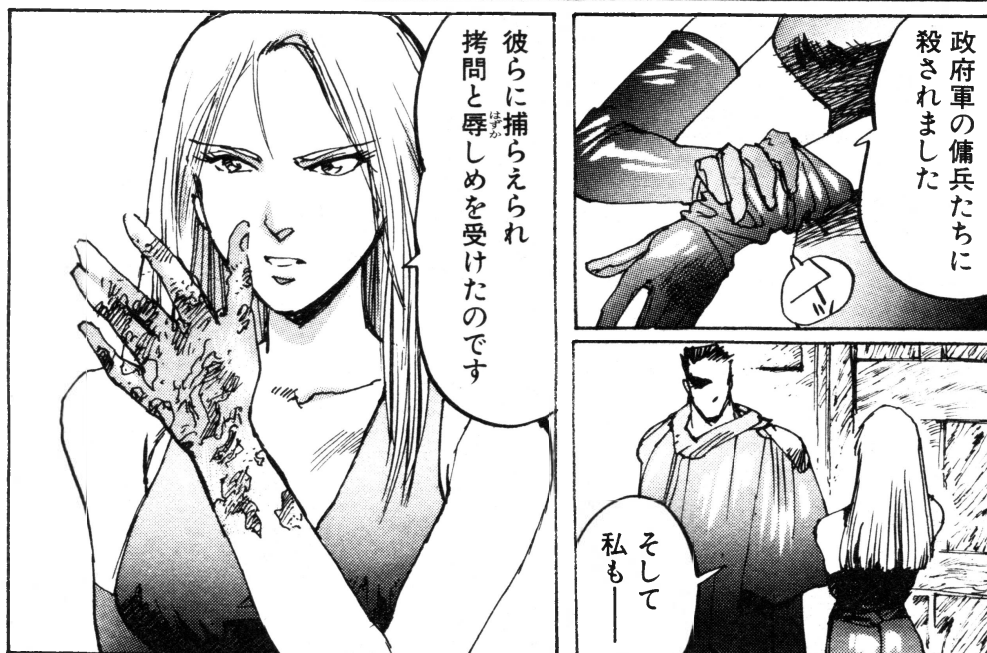


Vol.4 Anita Diamonte/END



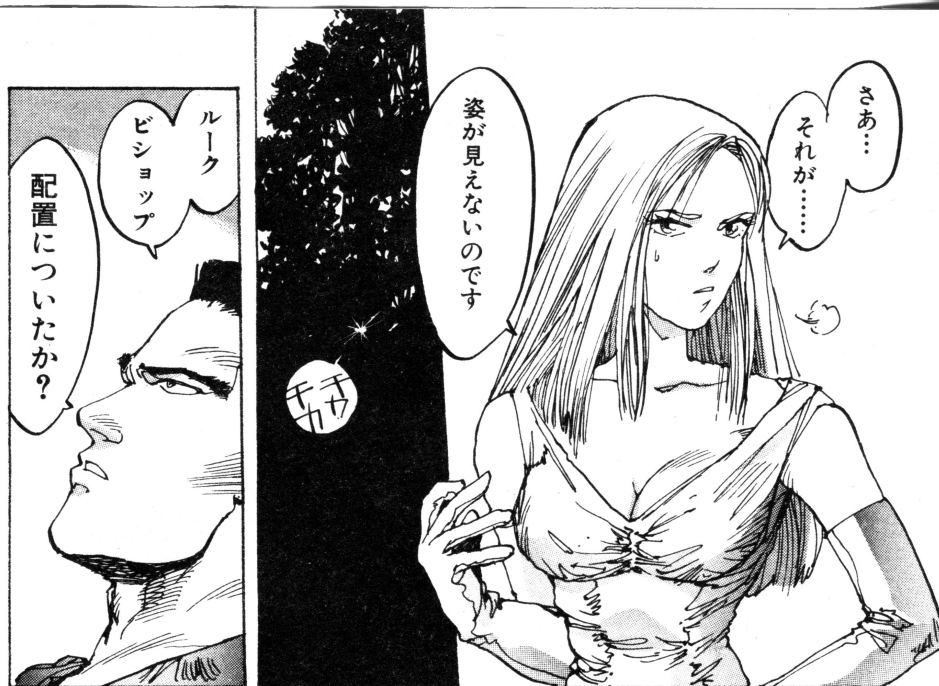
Vol.5 Crimson Blow
~クリムゾン ブロウ~



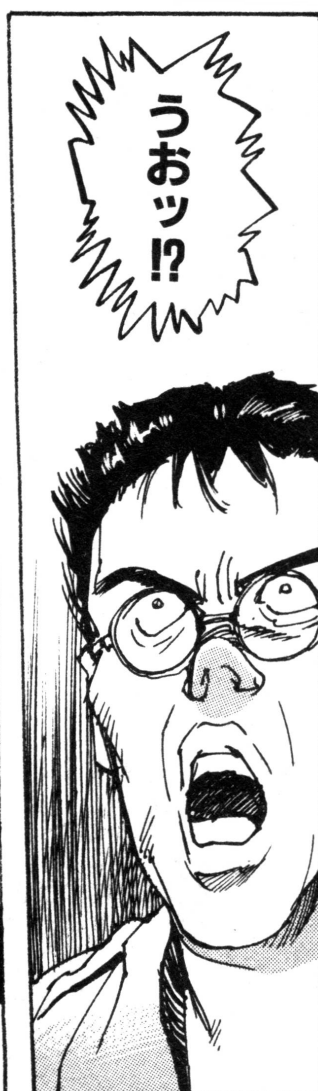
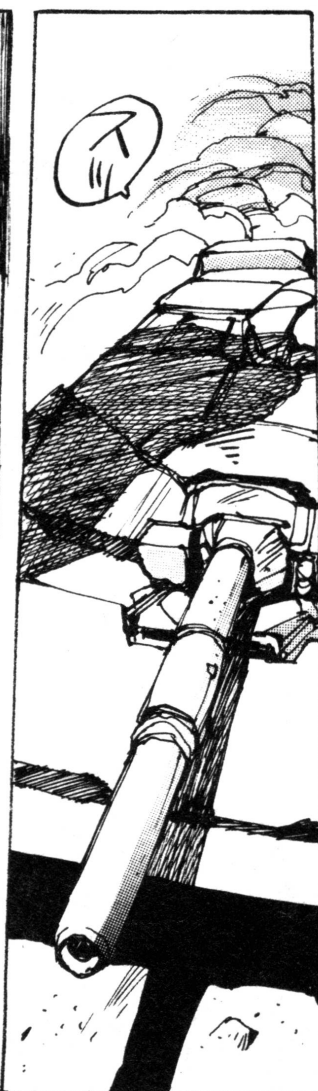
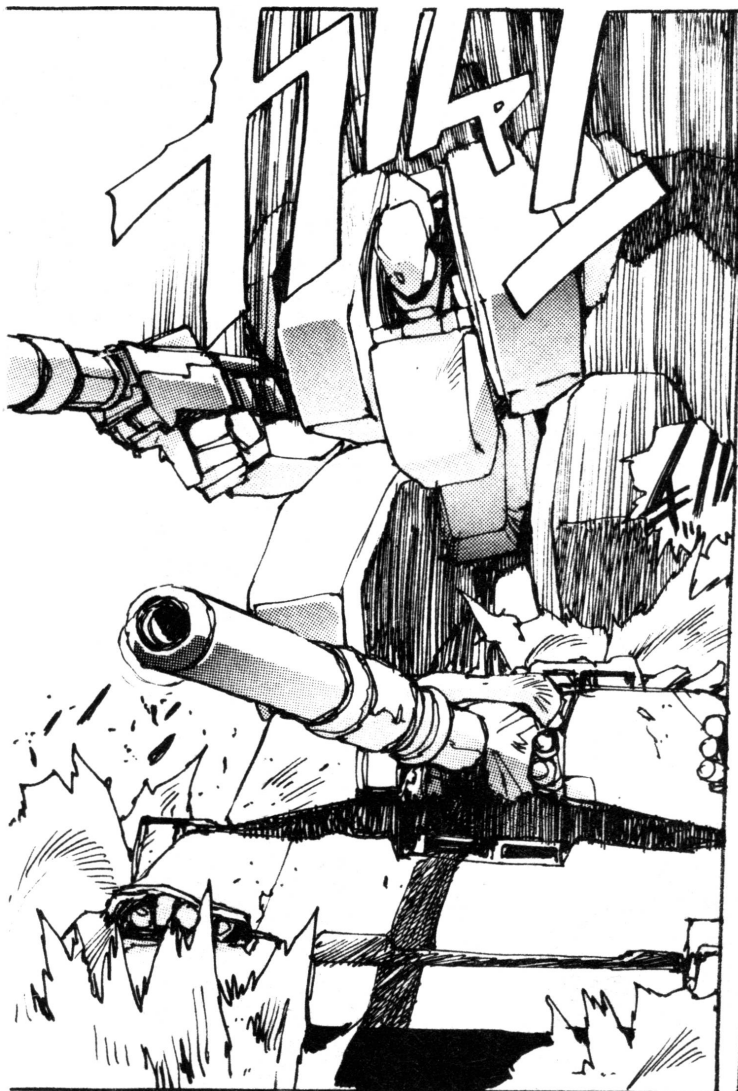




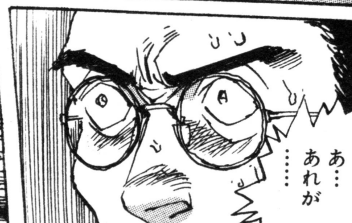
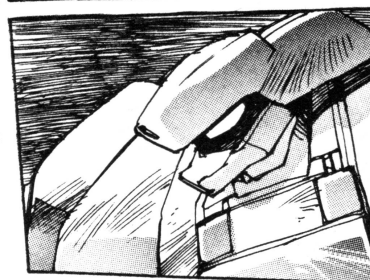
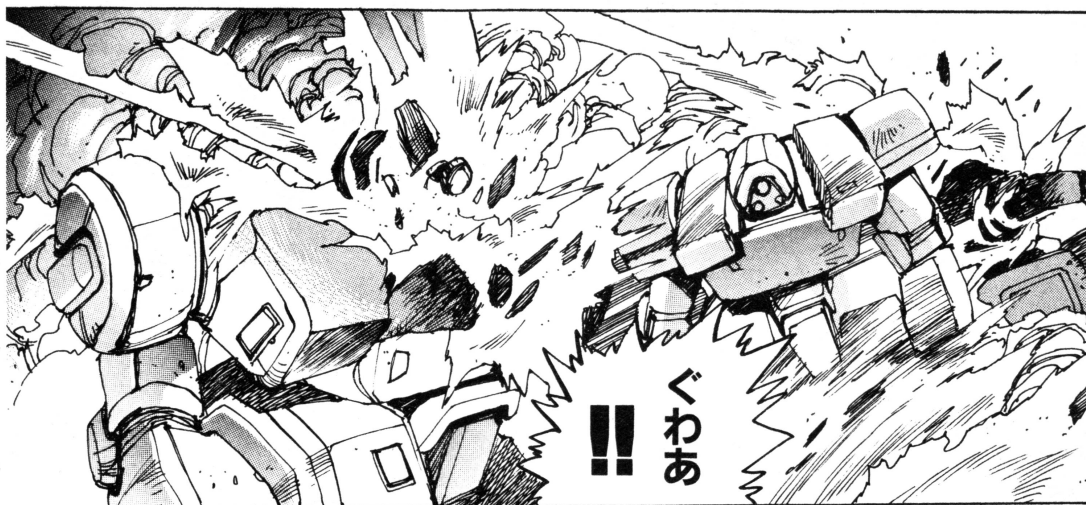


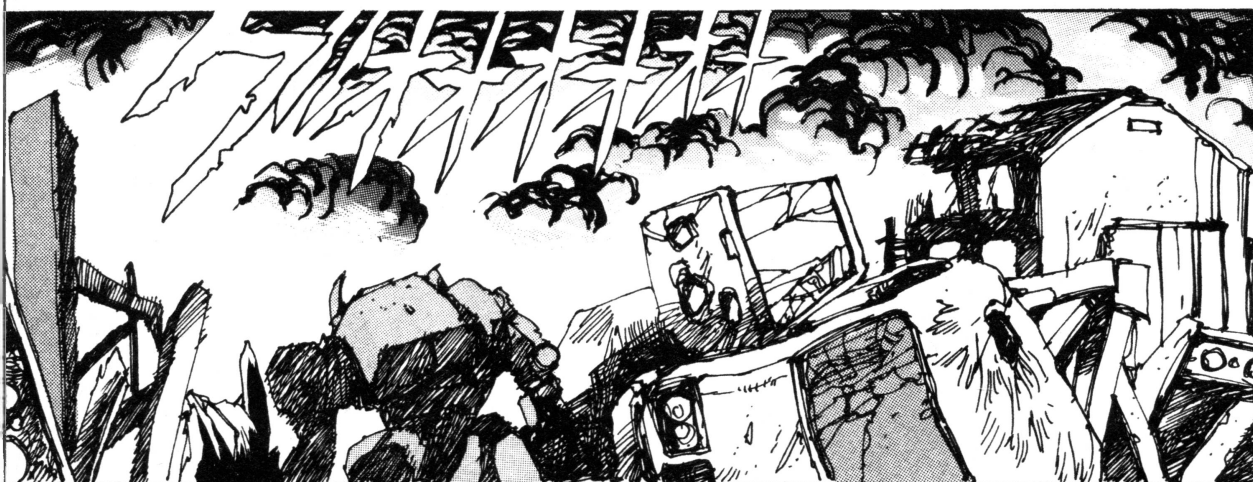


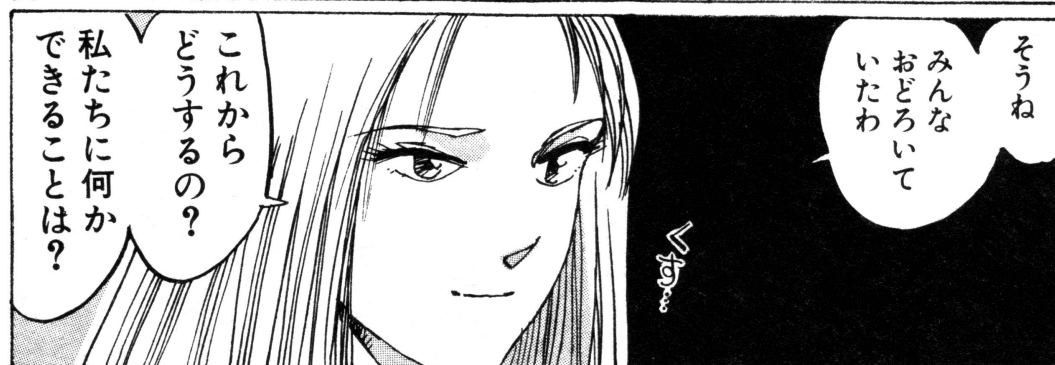


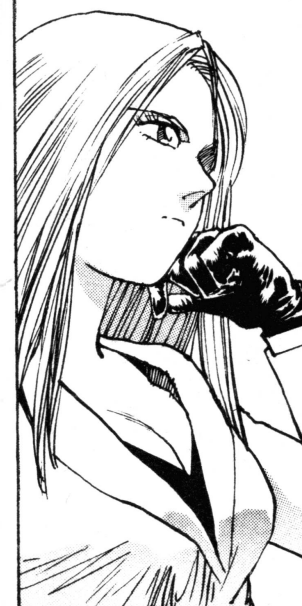
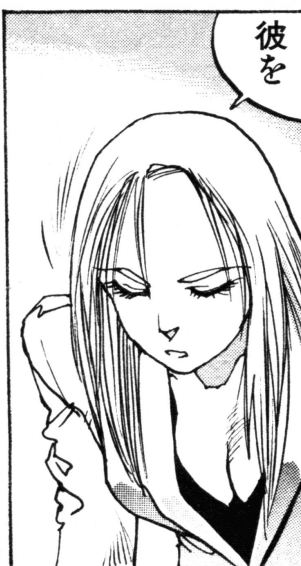


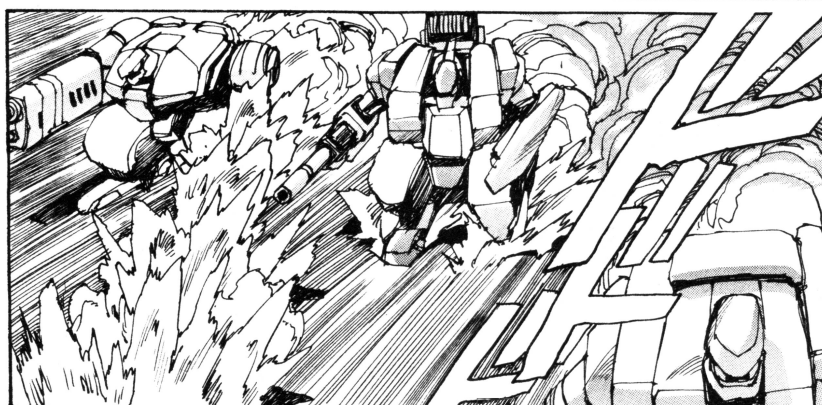
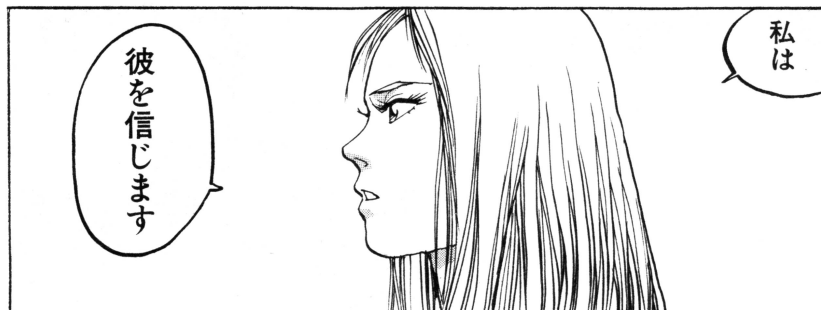


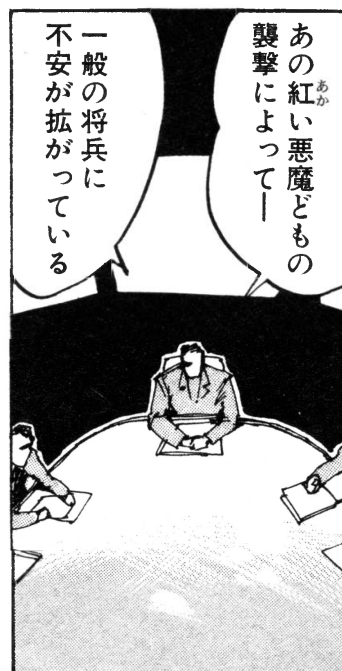














クリムゾン・
ブロウは
我々との交戦を
巧妙にさせている

弱い正規軍を
狙っているのだ



クリムゾン・ブロウに
背後を脅かされていて
総攻撃が
できるものか!!

あいつらを
倒すのが先だ!!



連合への総攻撃
を早めて――

街を陥とし
一気にケリを
つけるんだ
それ以外に
ない



それを防ぐのが
君ら傭兵の仕事だ!!

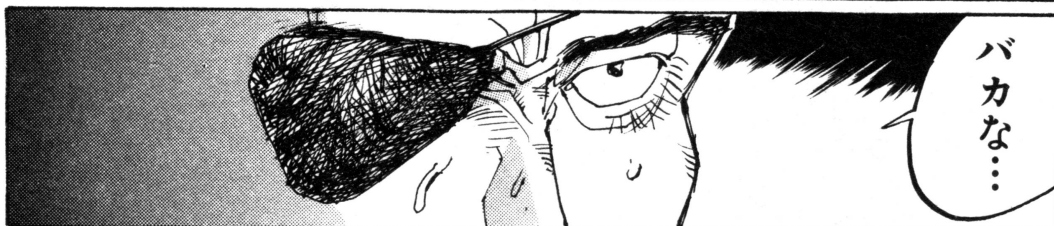
そのために
高い金を
払っているんだ
ぞ!!



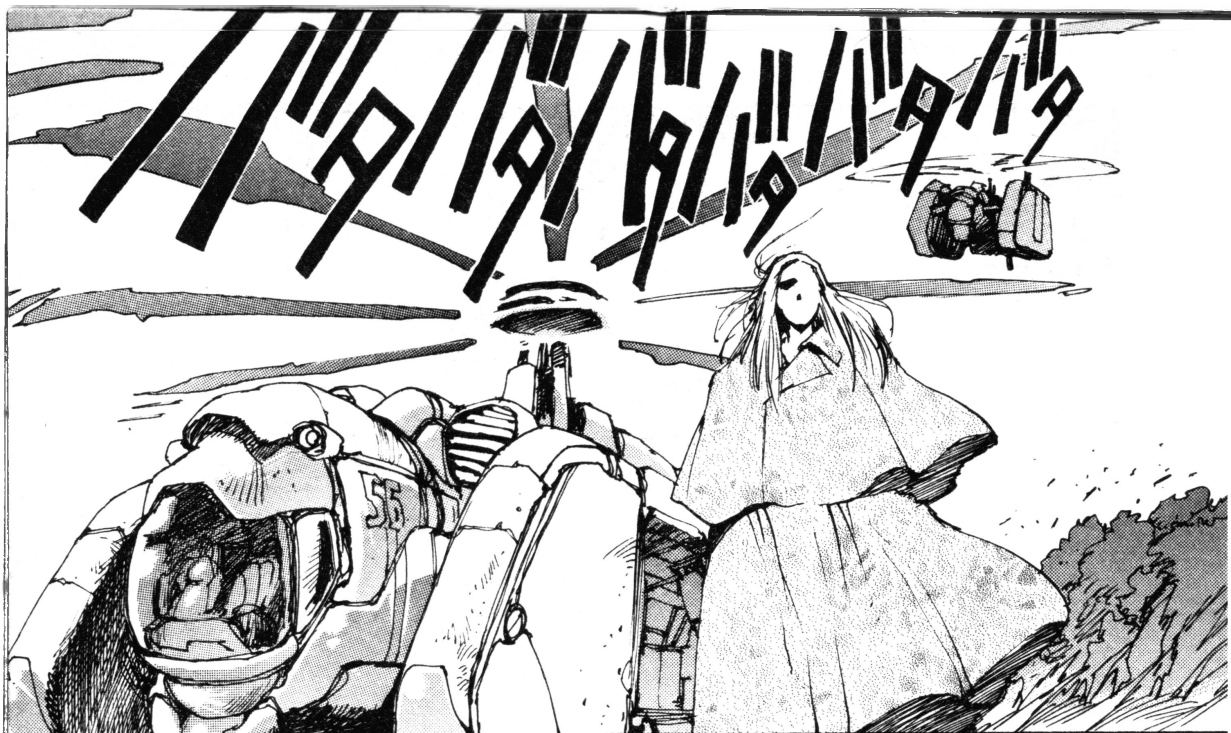
クリムゾン・ブロウが
君たちを攻撃
しないのは

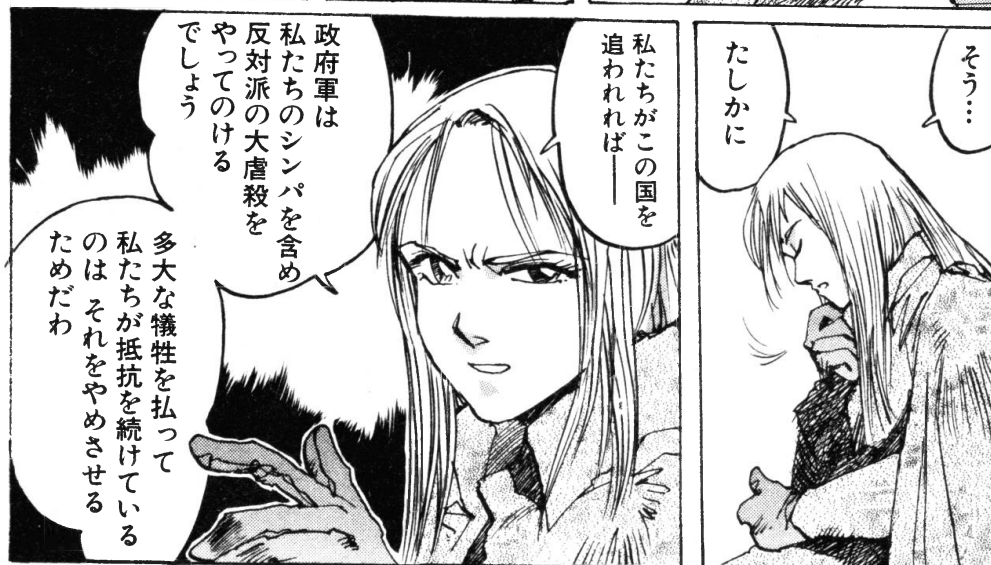
傭兵部隊
どうし

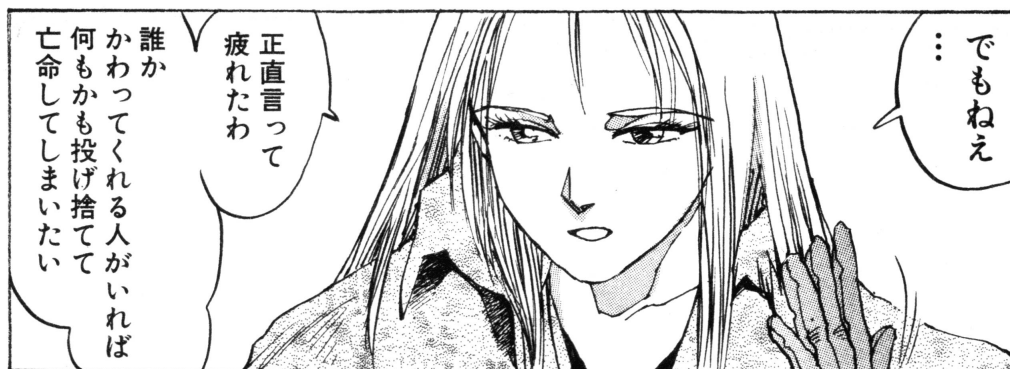
裏で密約を
結んでいるからだ
と疑う人間も
いるのだよ



バカな……







でもねえ…

正直言って
疲れたわ

誰か
かわってくれる人がいれば
何もかも投げ捨てて
亡命してしまいたい



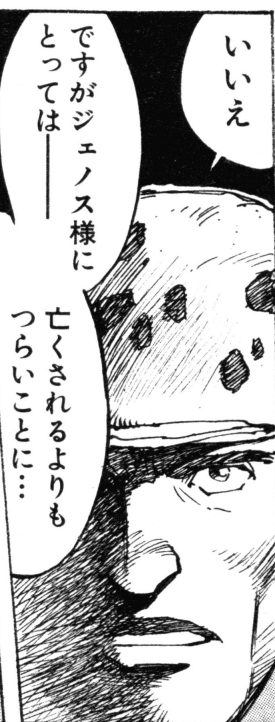
その姿も
考え方も

あるいはジェノス様が
報酬を度外視して—



あなたは…

ジェノス様の妹君に
よく似ておられる



いいえ

ですがジェノス様に
とっては—

亡くされるよりも
つらいことに…



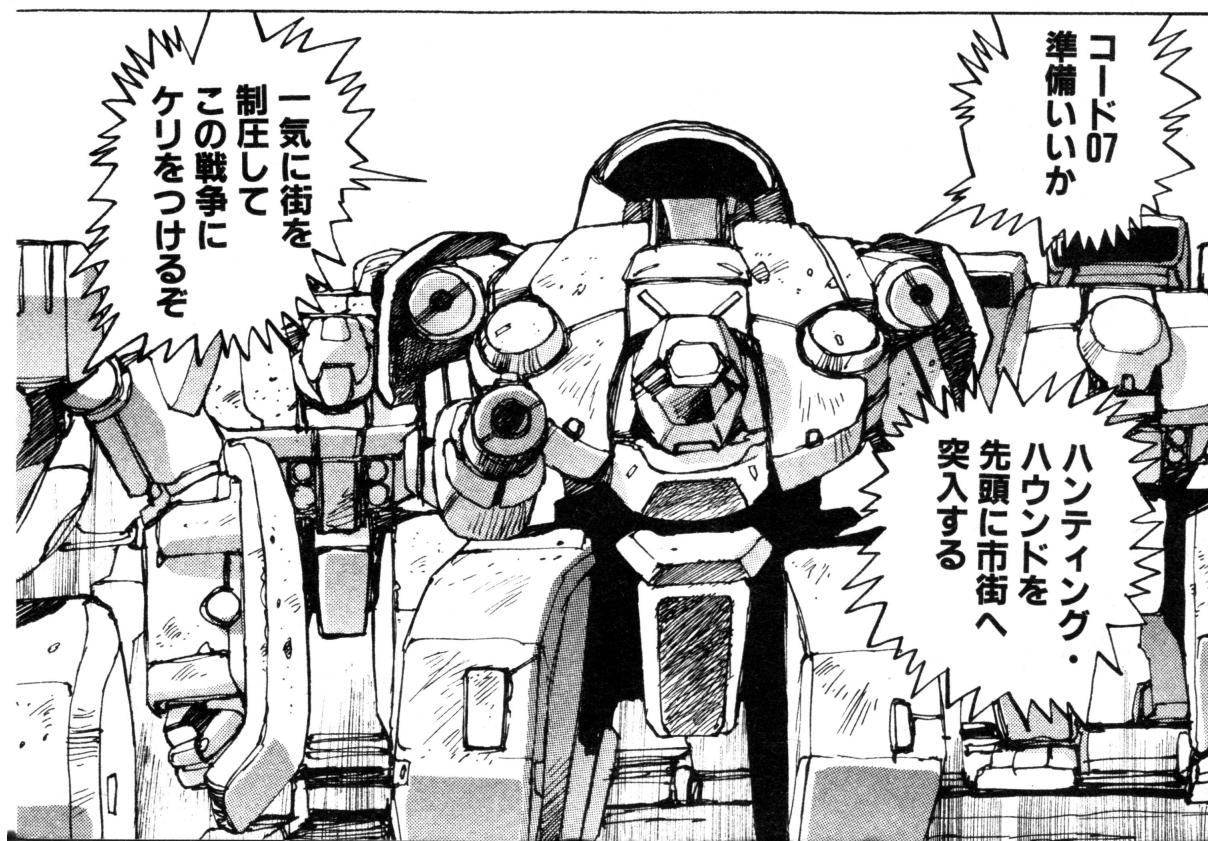
仕事を受けることを
決意されたのは

そのせいかも
しれません



亡くなったのですか

その
妹という
方は？





我々が市街に
取りつけば
味方も動く

クリムゾン・
フロウが
どう動こうとも
連合の本拠地が
陥ちればすべては
終わりだ



ムールマン・ユマンドの
実力を見せてやれ
!!
行くぞ野郎ども!!



きッ
来ました

敵ヴァンツァー
です
市街への
突入態勢を
とっています



正念場
だわ

いよいよね





抵抗拠点になりそうな
建物は徹底的に
潰しながら進め!!



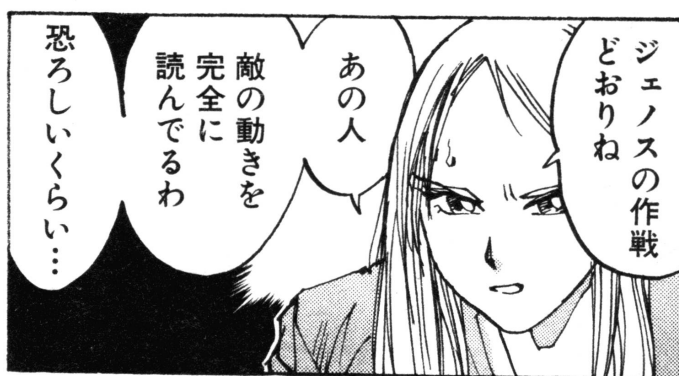
うおおりやア



来させて

いいわ

敵ヴァンツアーは
中心街をまっすぐ
中央広場に向かって
います

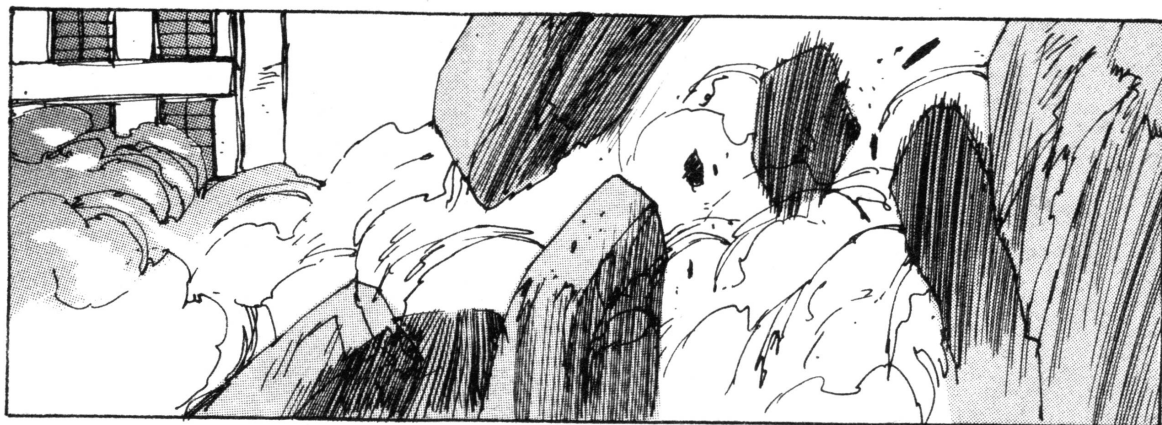


ジェノスの作戦
どおりね

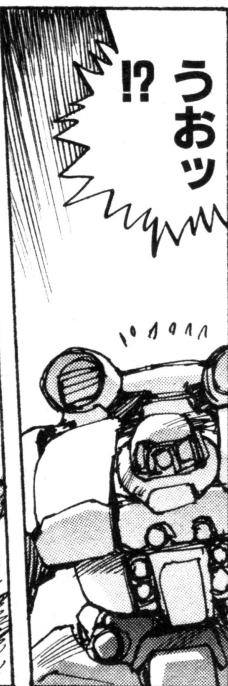
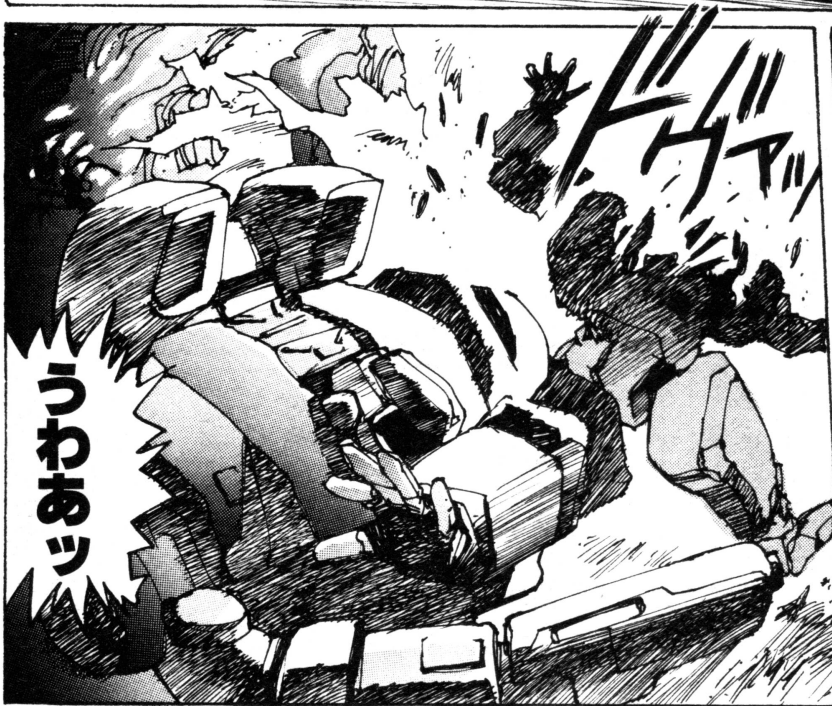
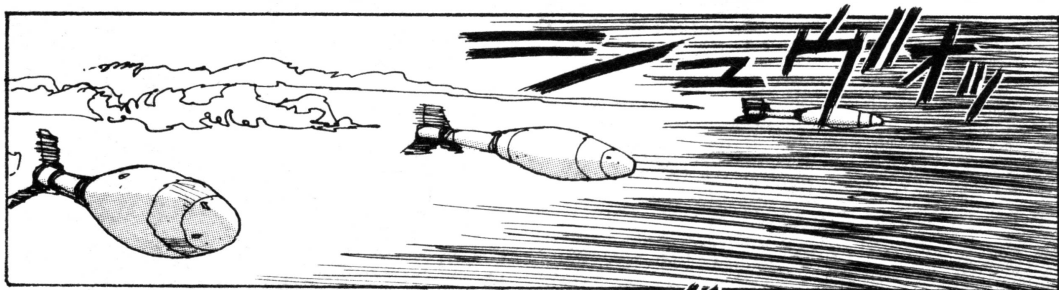
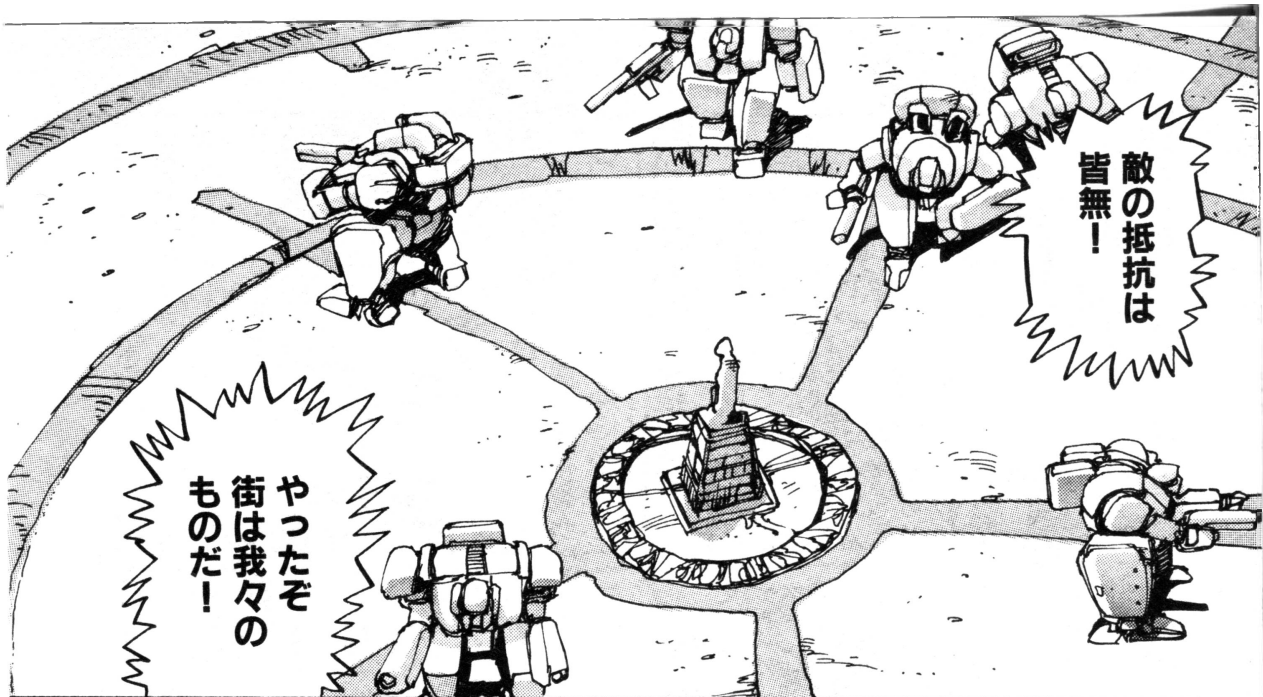
あの人

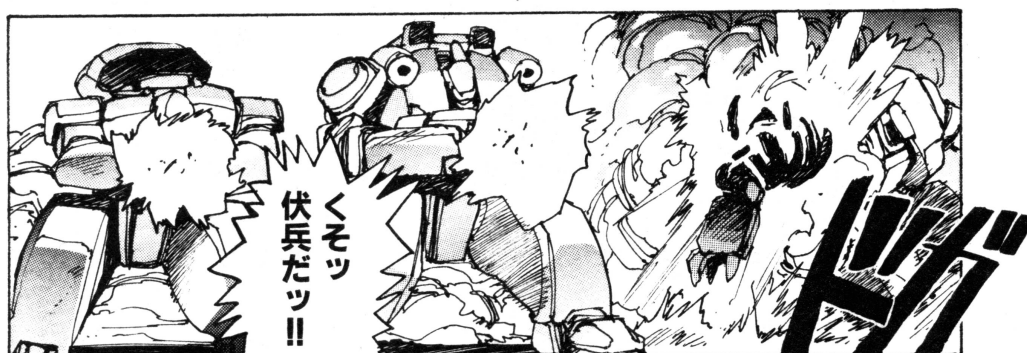
敵の動きを
完全に
読んでるわ

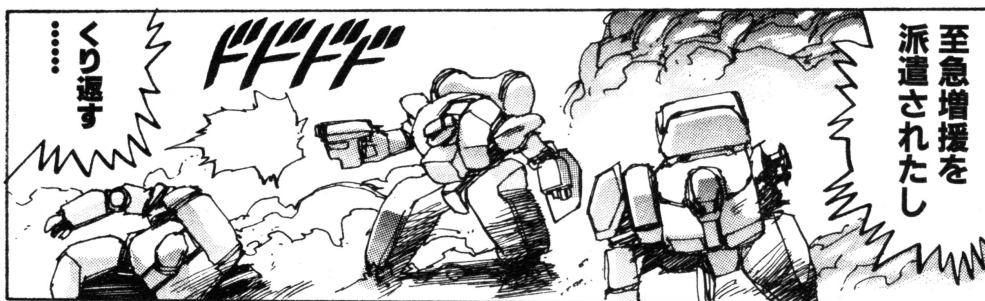
恐ろしいくらい...



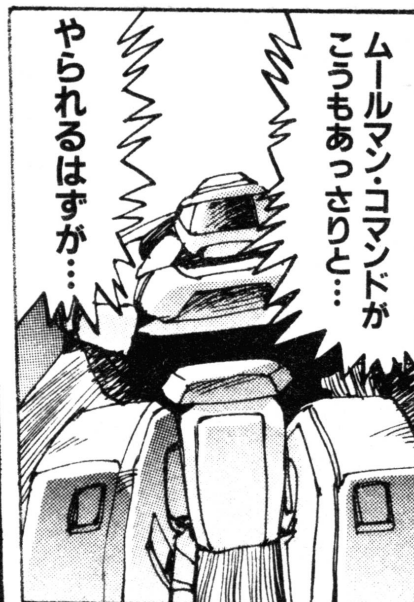
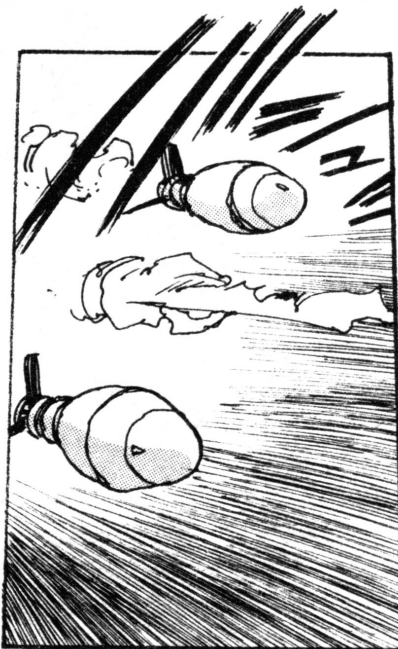










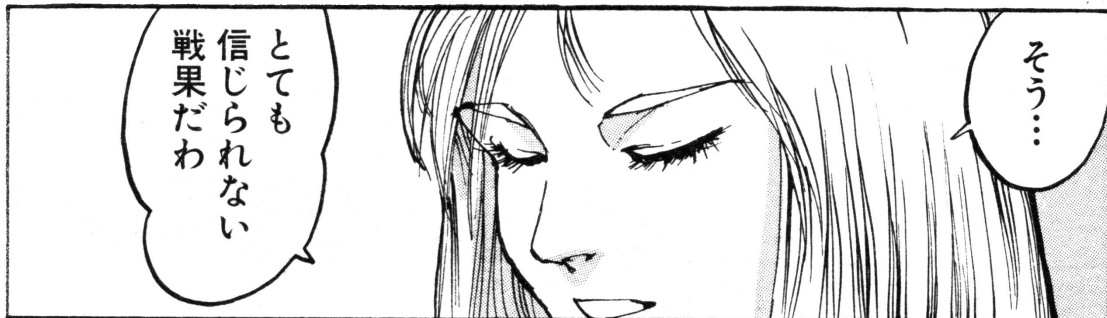
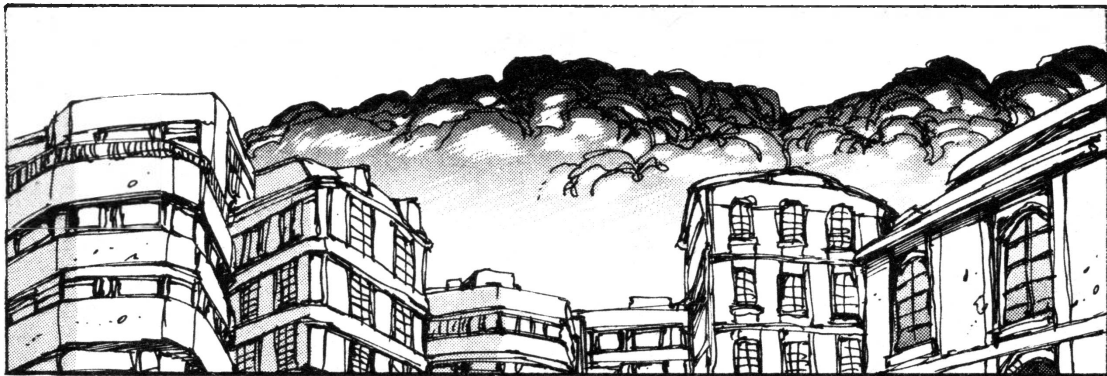


やられるはすが...

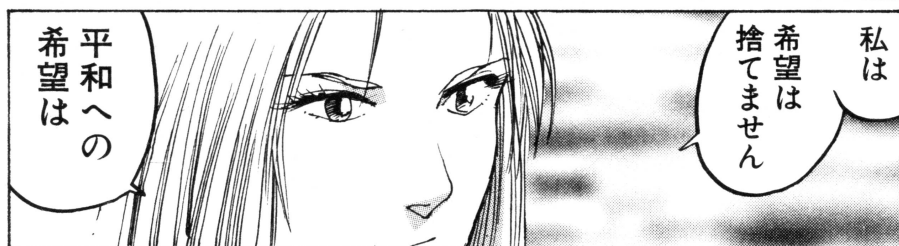
ムールマン・コマンドが
こうもあつたじと...



ぐわあッ
あッ





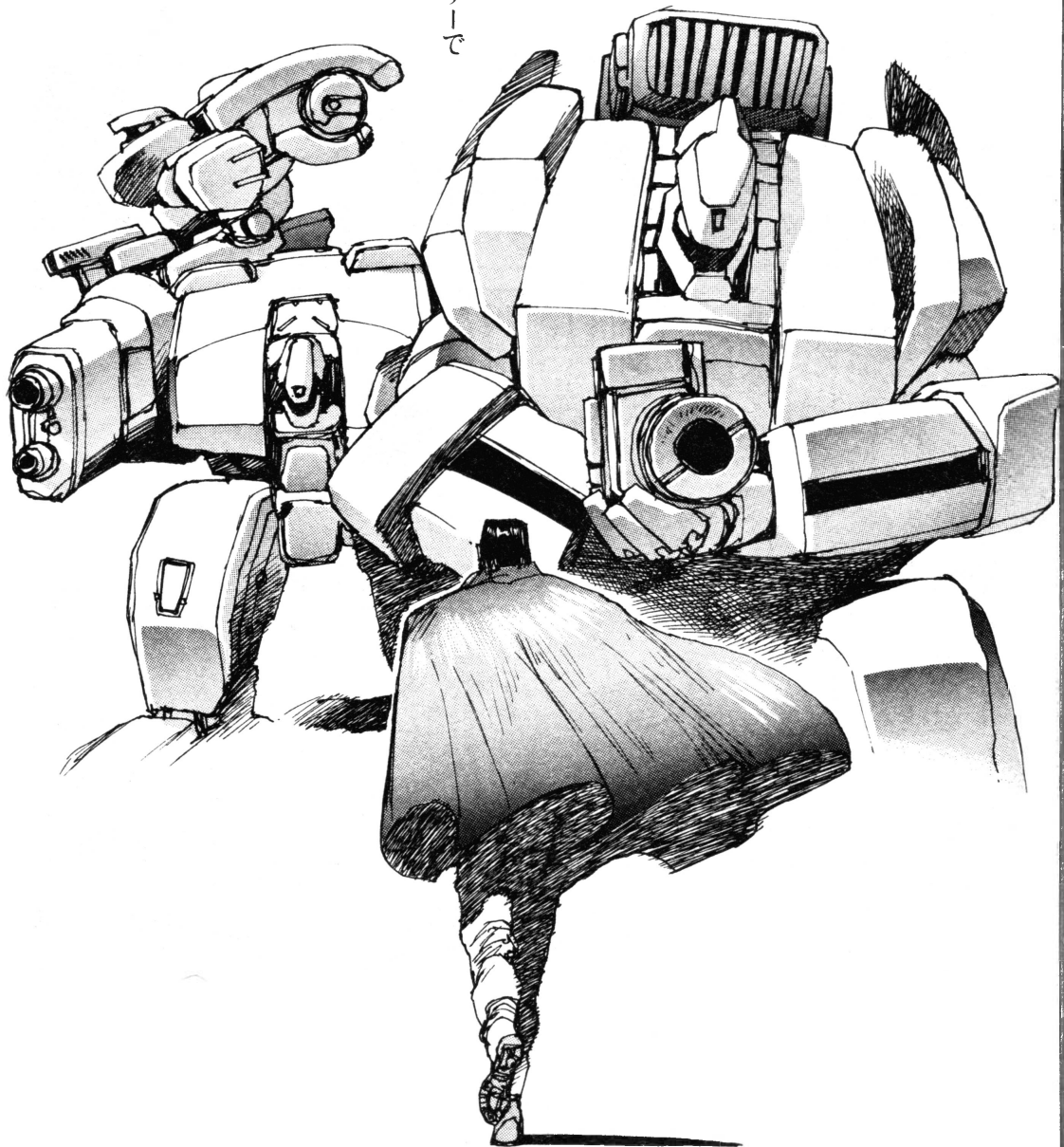


伝説の傭兵…
クリムゾン・ブロウ

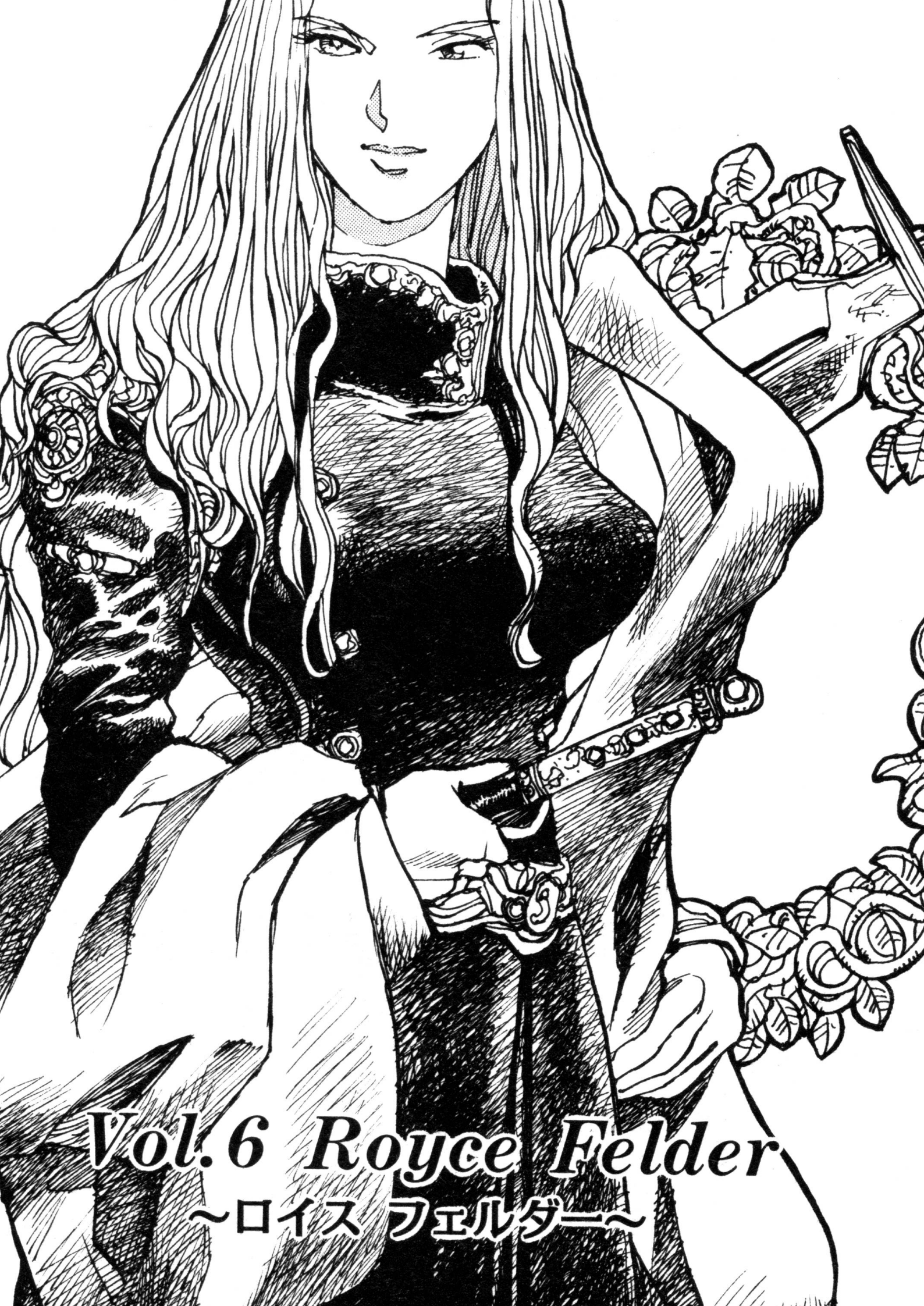
2060年
ジェノス・
フェルダールを
リーダーとして結成

2063年
メキシコ紛争において
わずか3機のヴァンツァーで
政府軍を壊滅に
追い込んだという

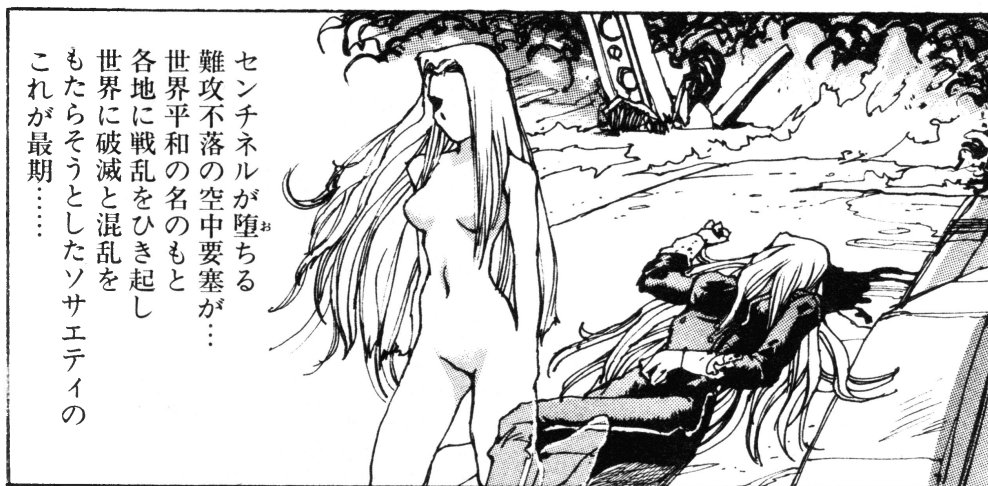
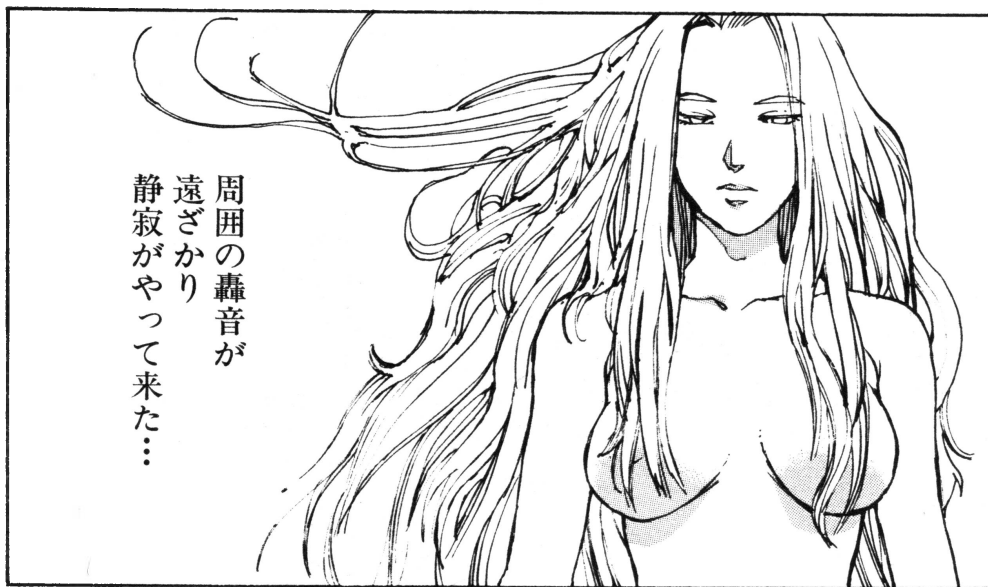
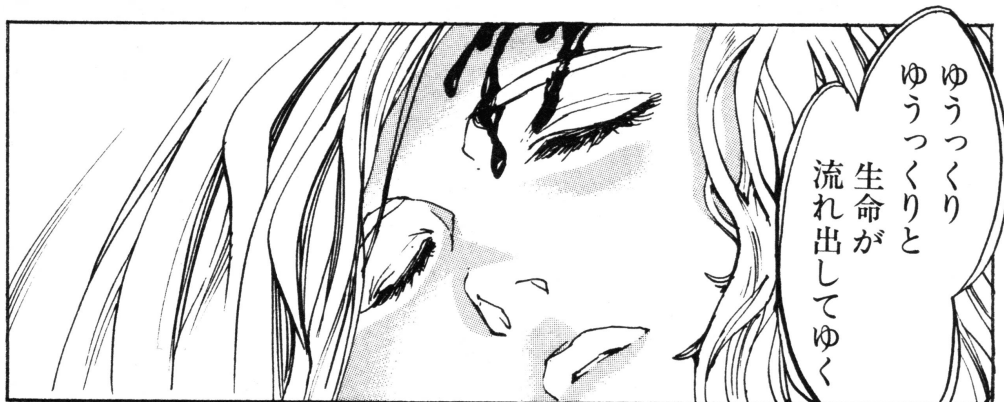
2064年
南米ペルーにて
解体



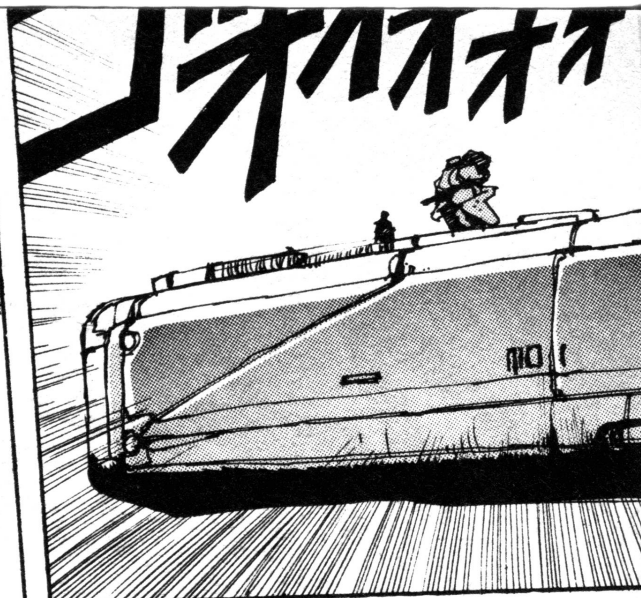
Vol.5 Crimson Blow/END



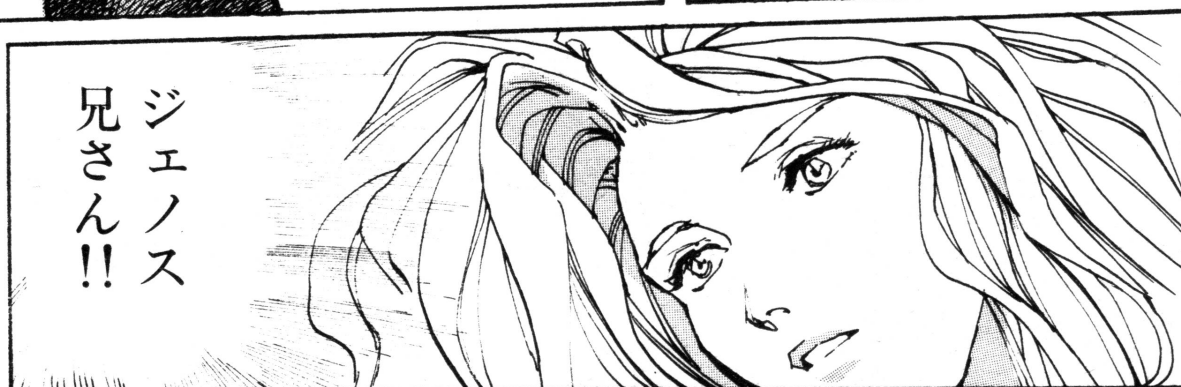
Vol. 6 Royce Felder
~ロイス フェルダー~



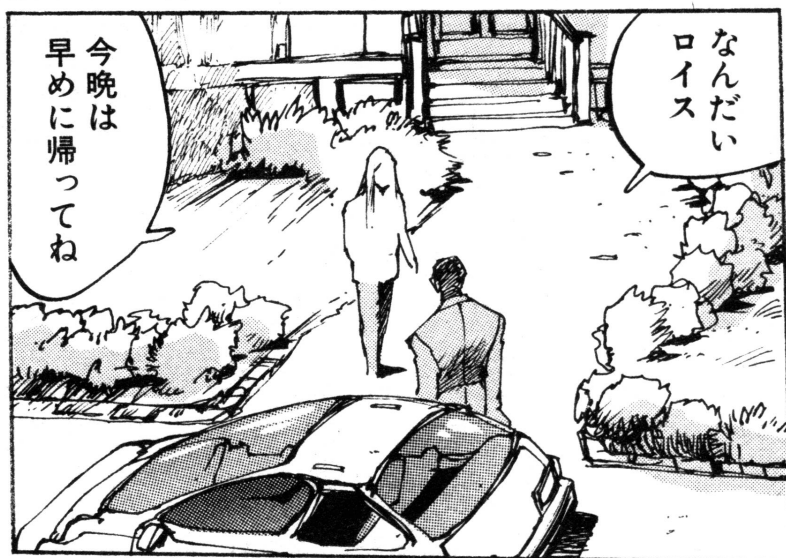




兄さん!?



ジェノス
兄さん!!



今晚は
早めに帰ってね

なんだい
ロイス

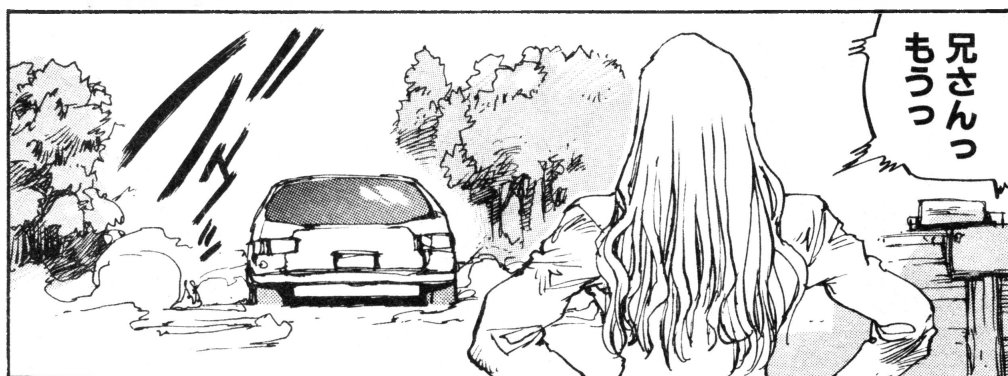
ジェノス
兄さん

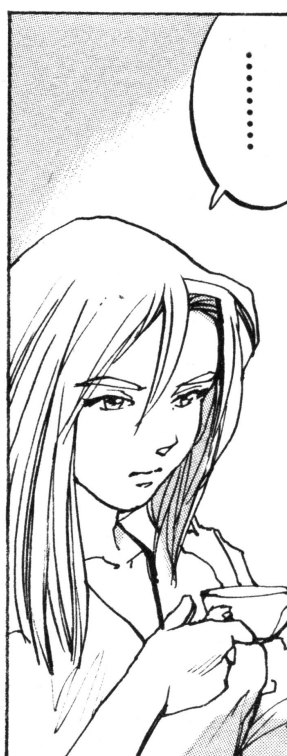
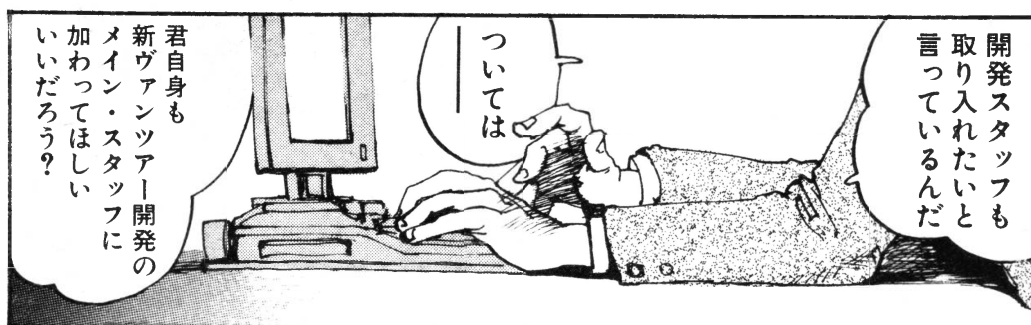


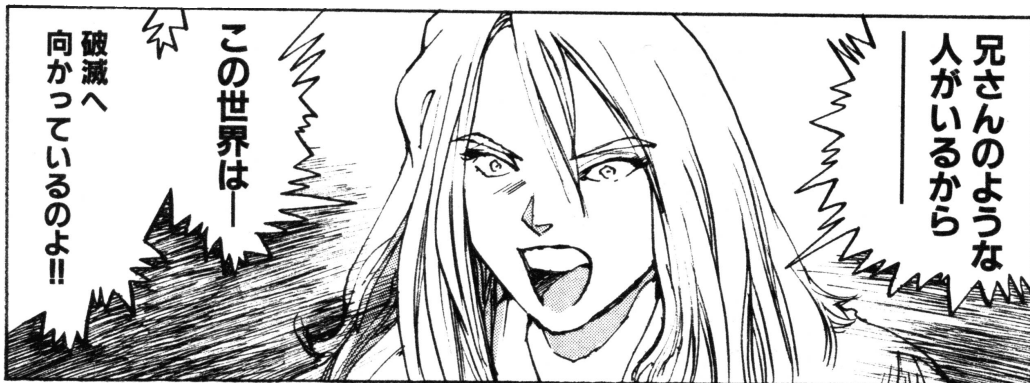
早く?

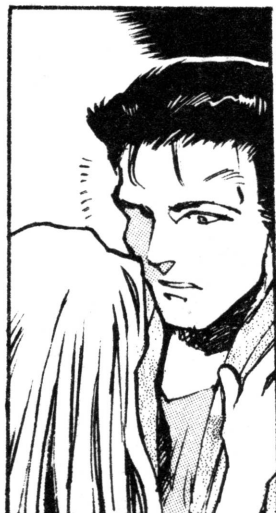
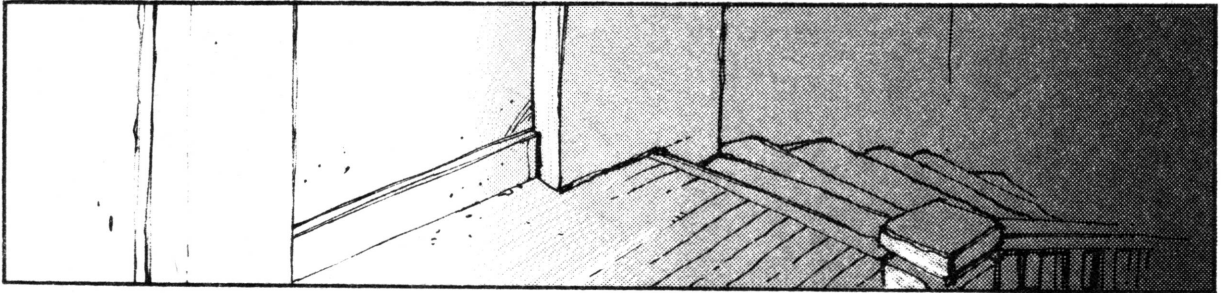
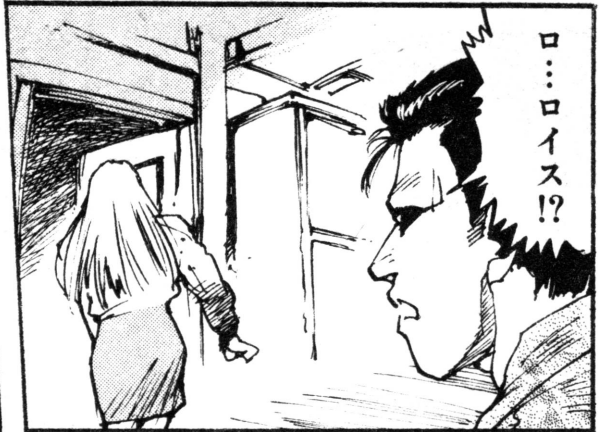
どうして
?

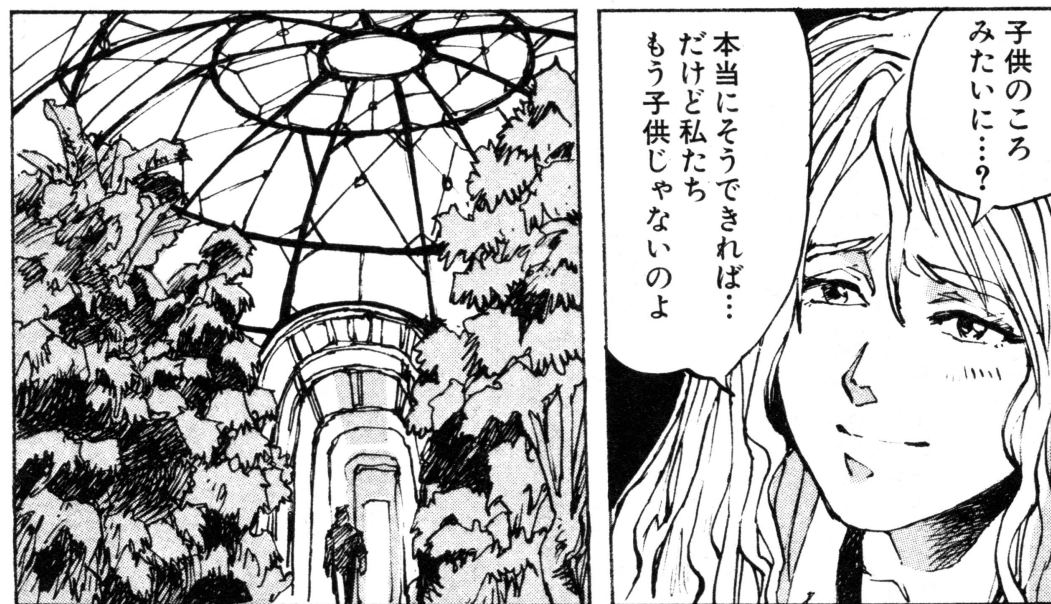
どうして...
ですって!?

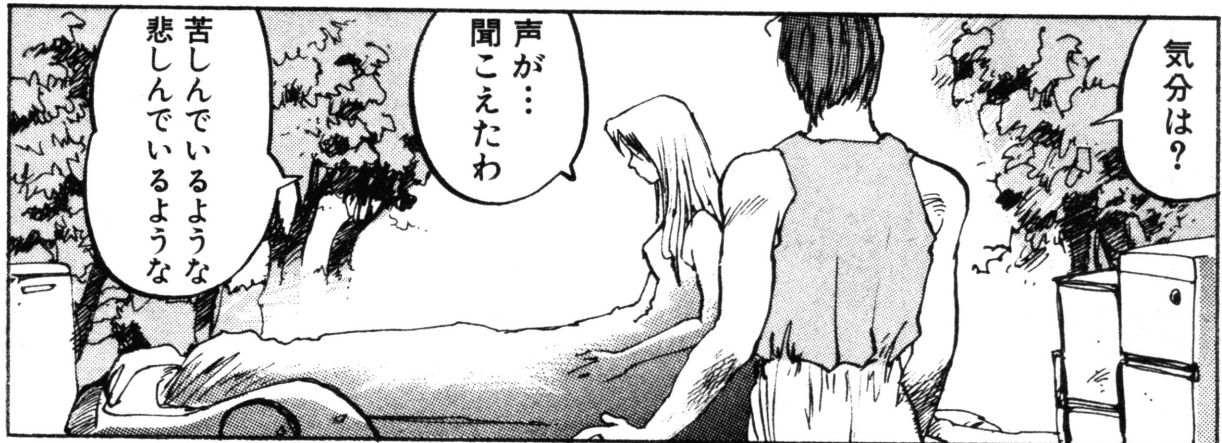
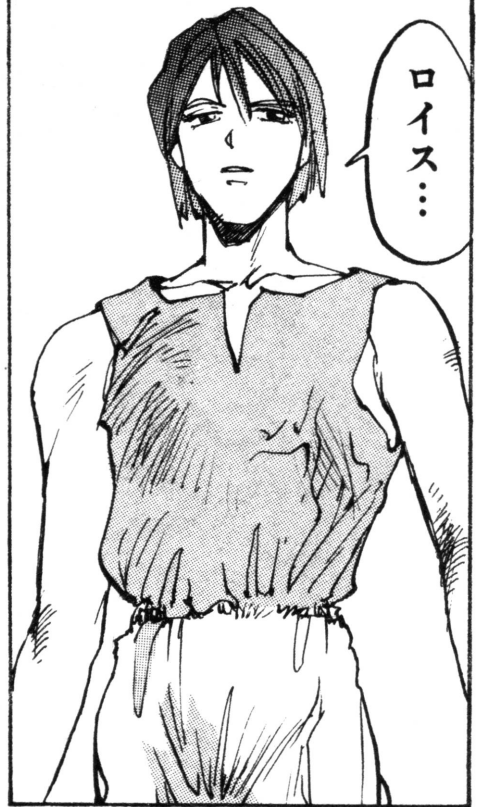
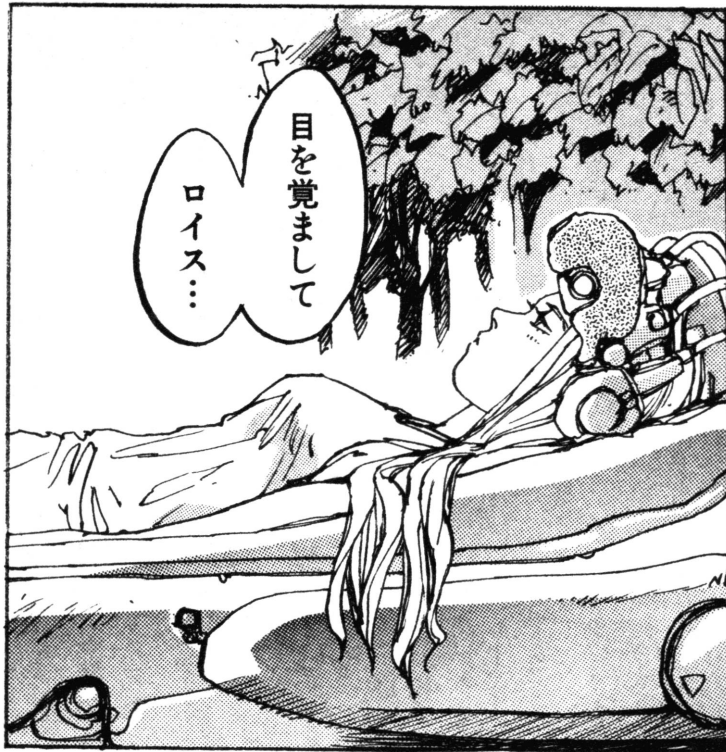


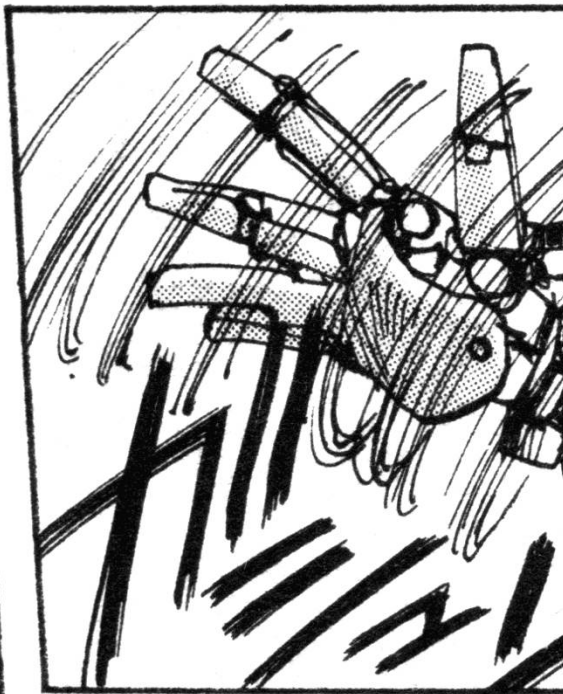
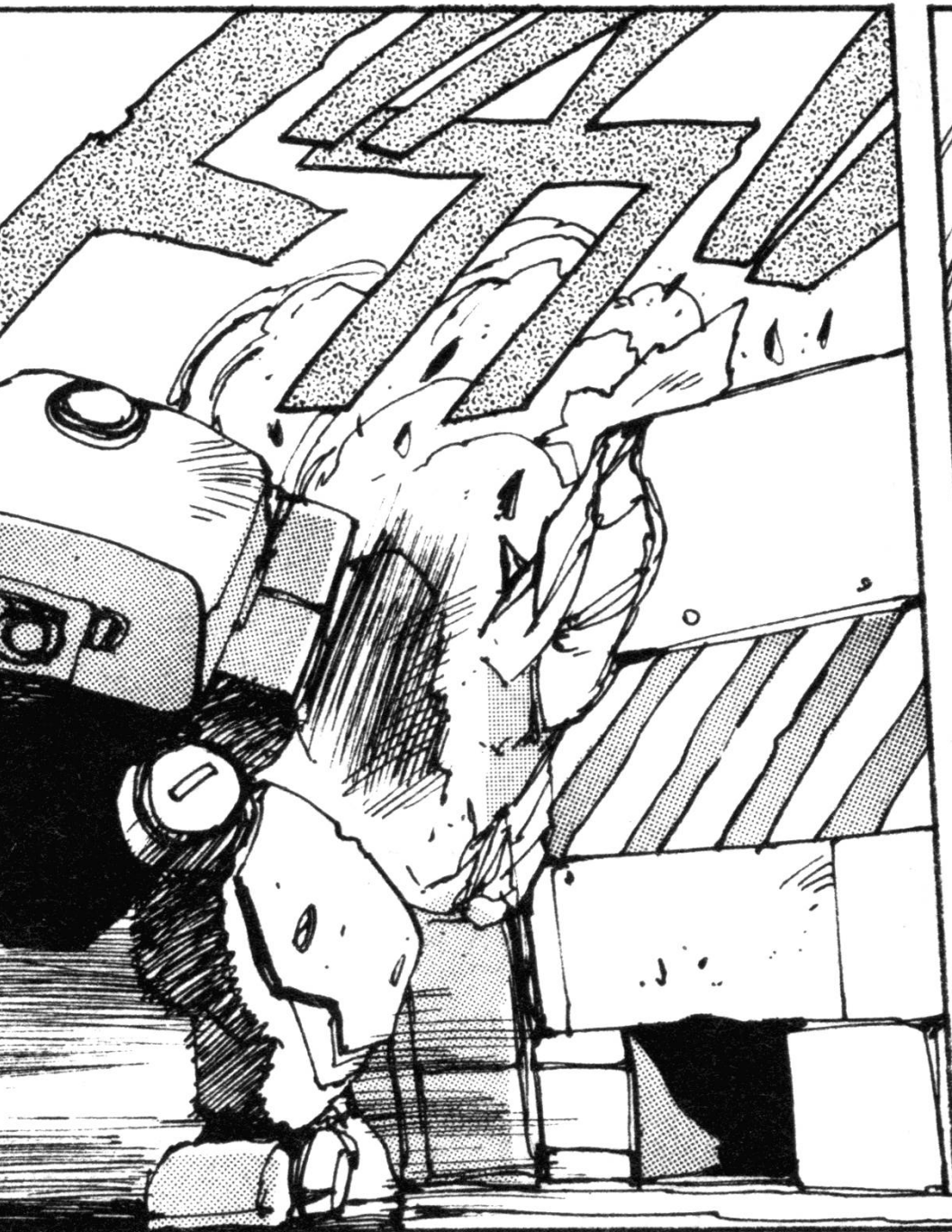
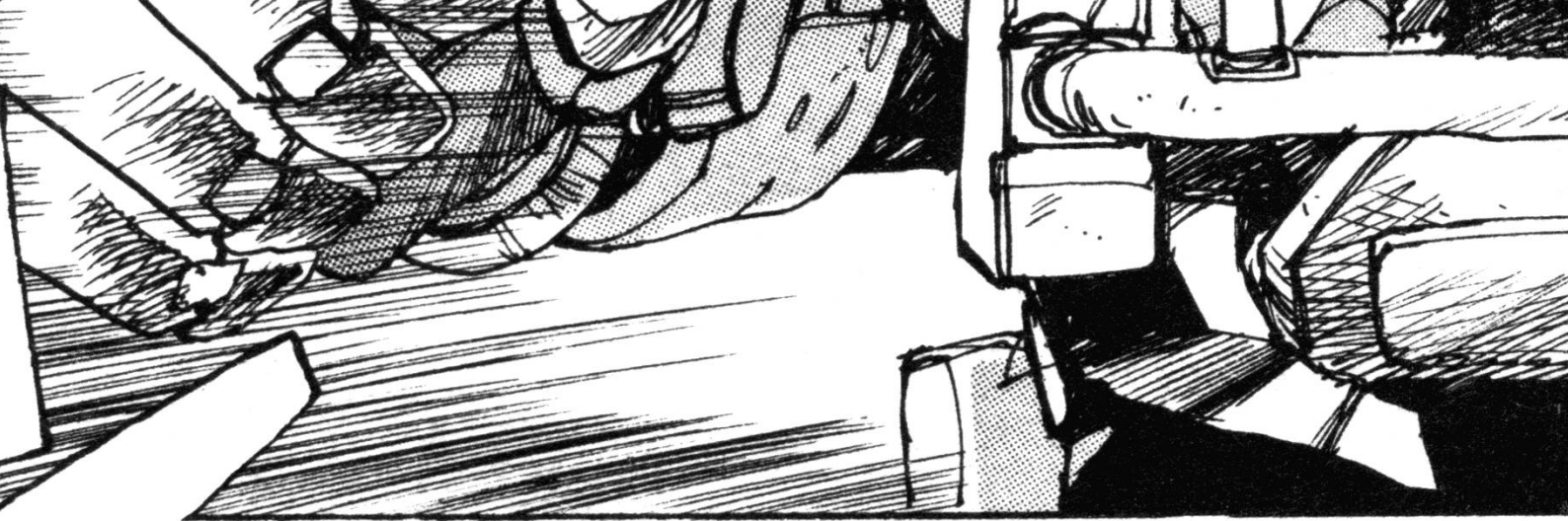


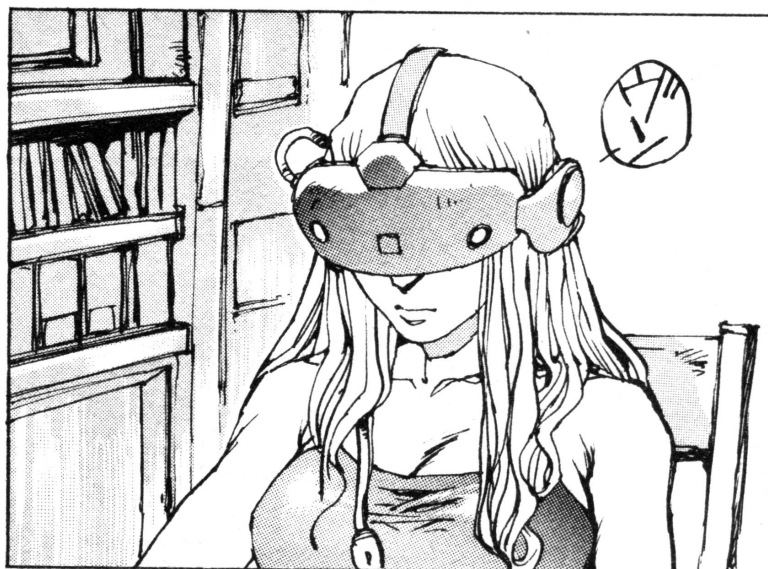
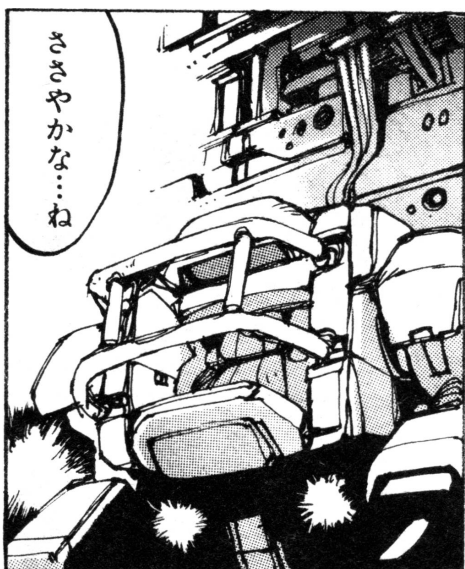


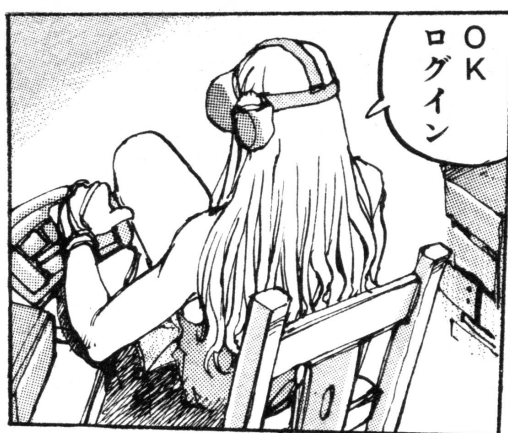


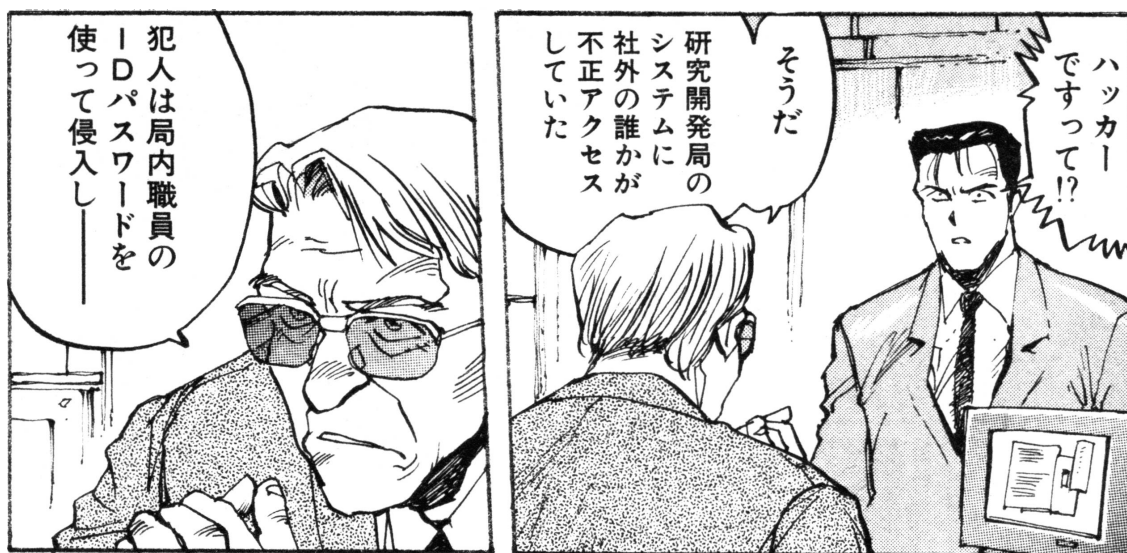


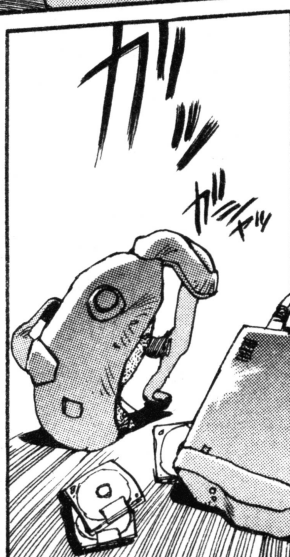




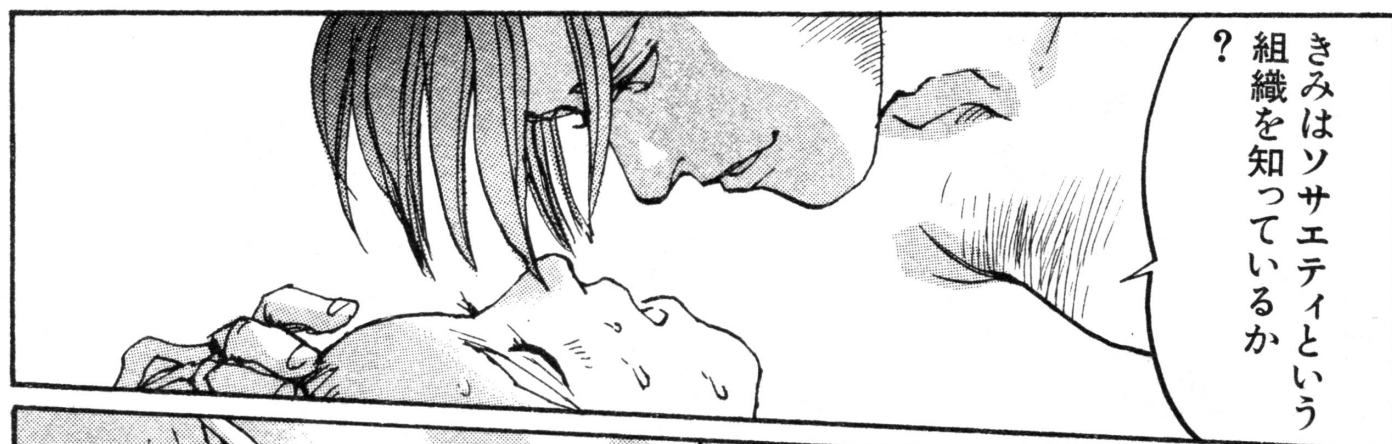
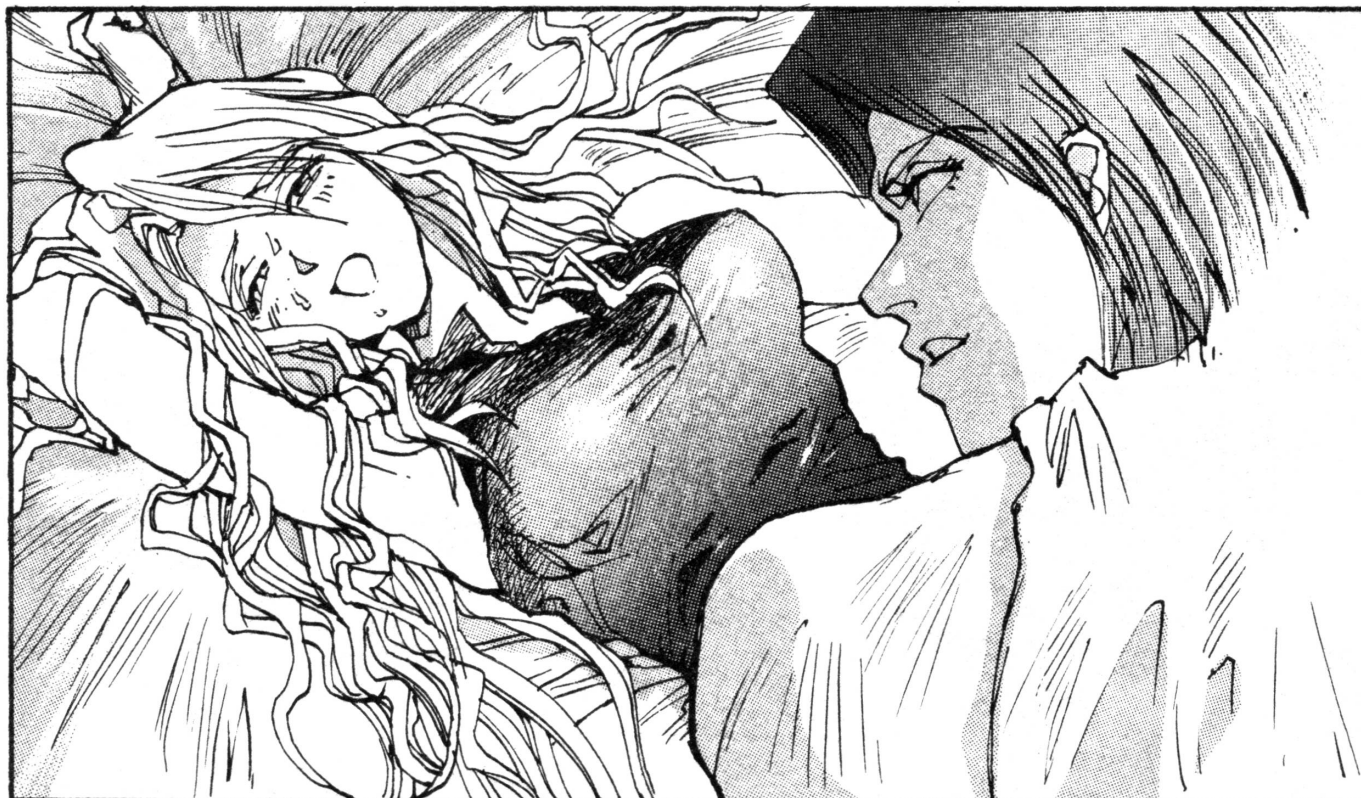
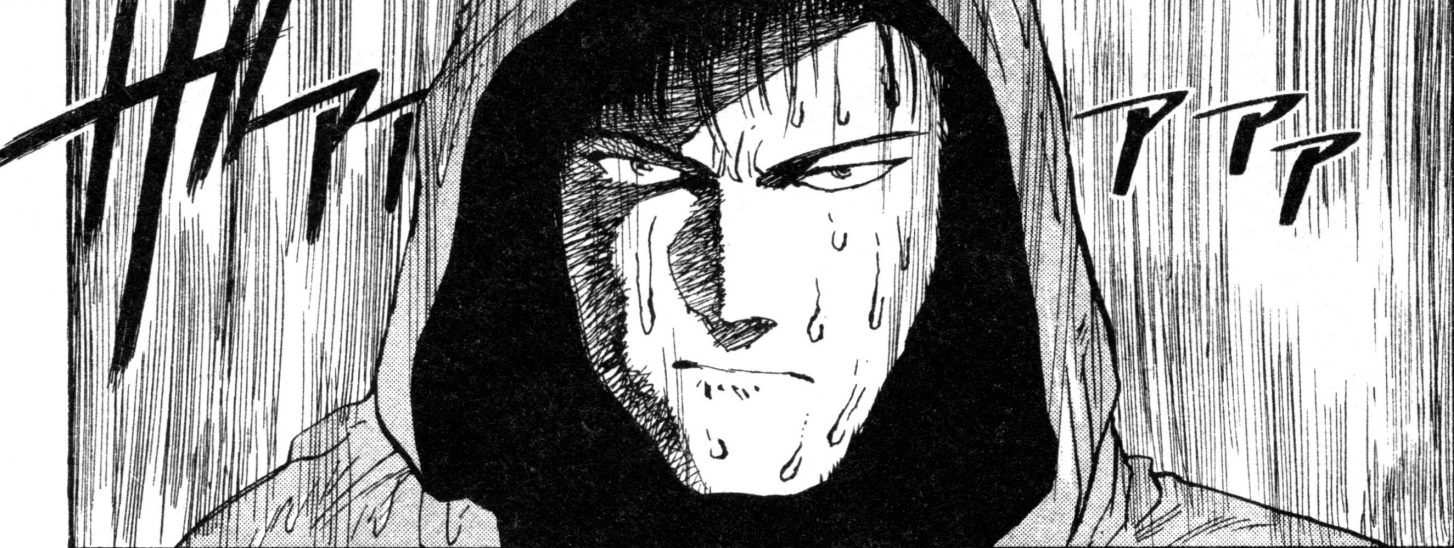




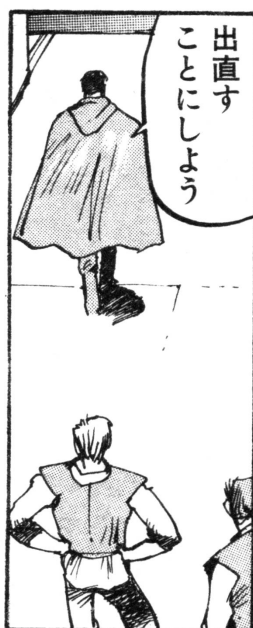




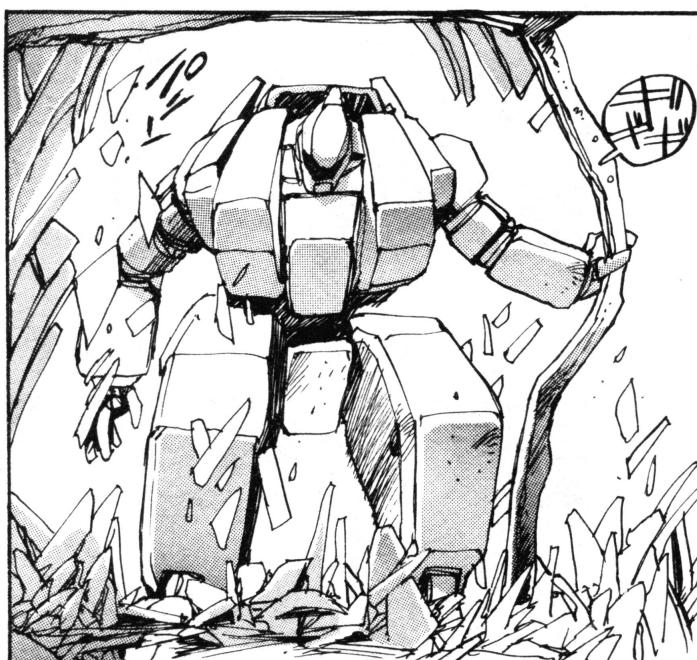
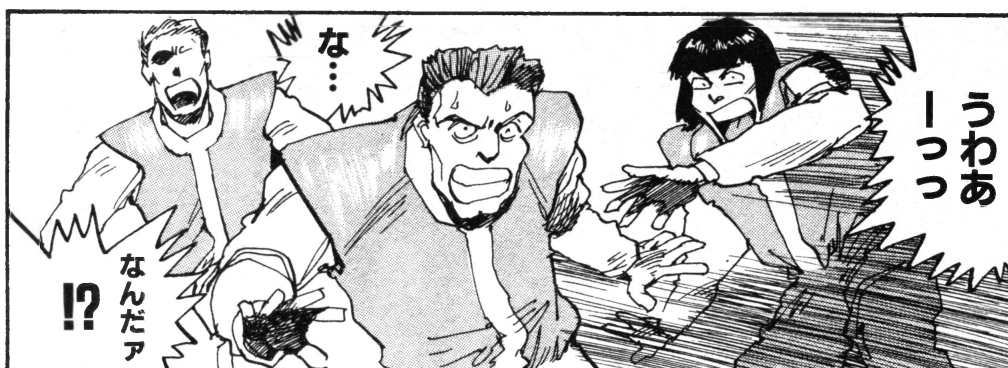


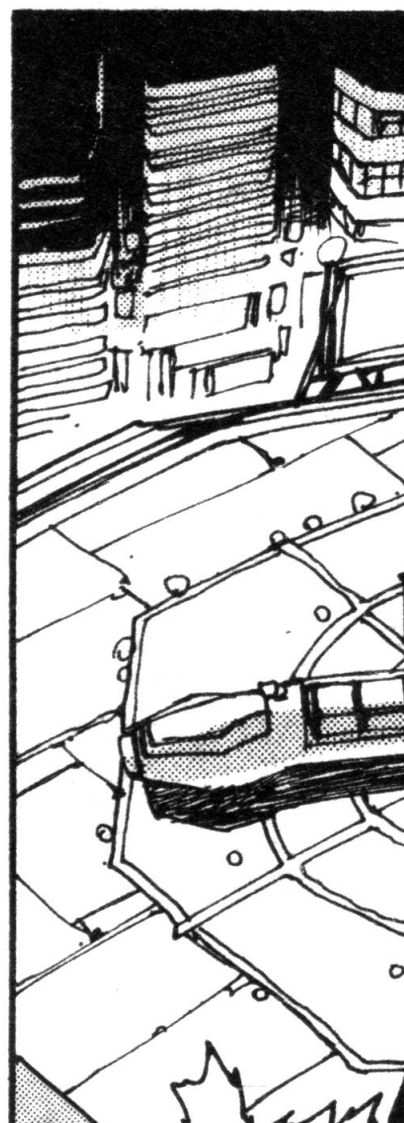
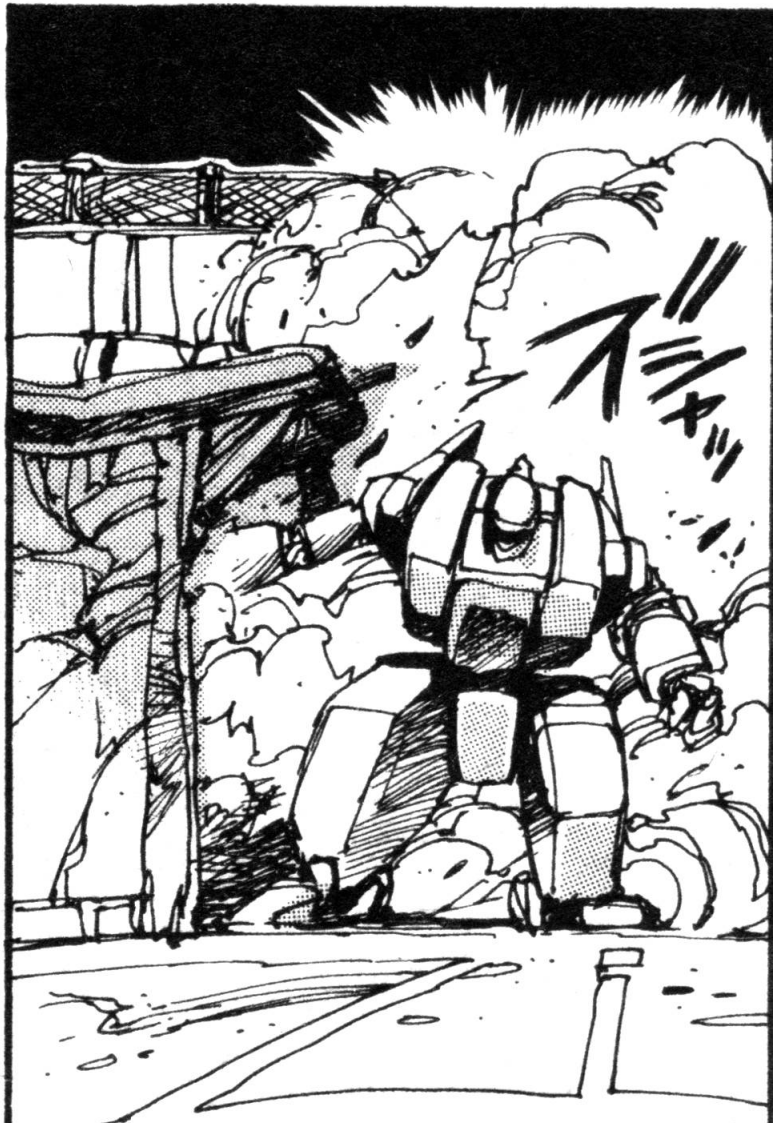


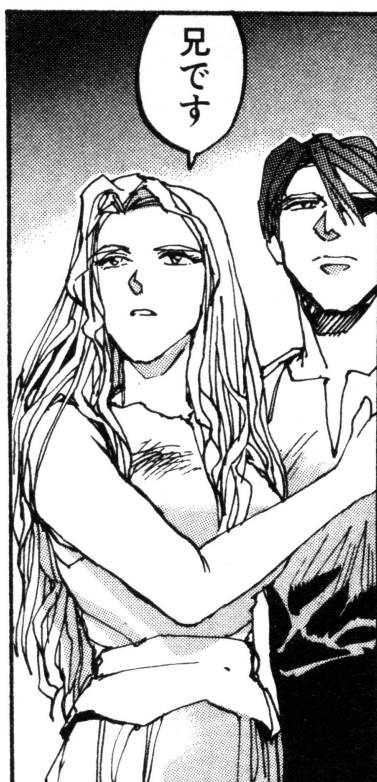


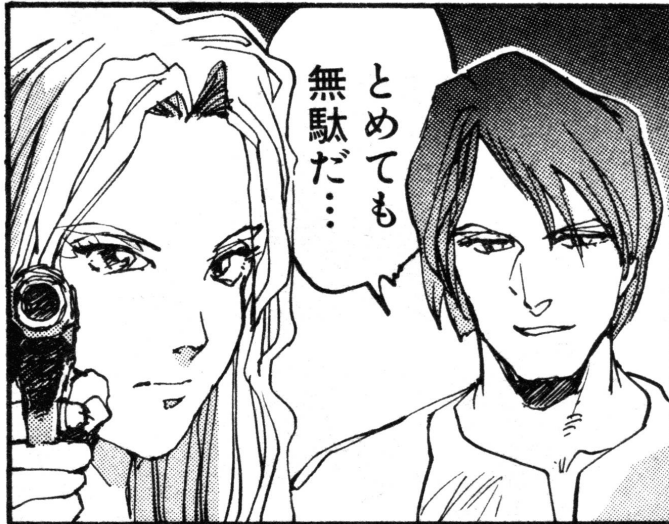
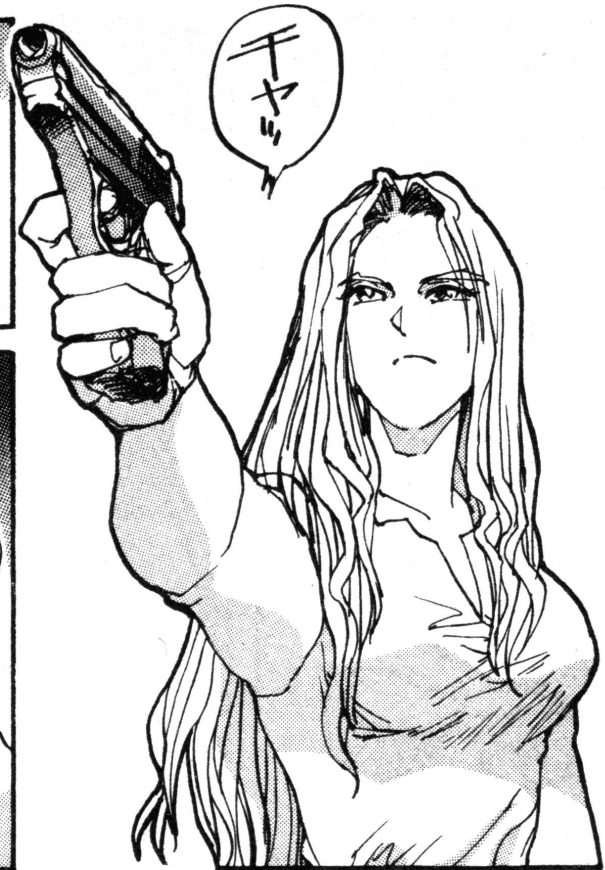


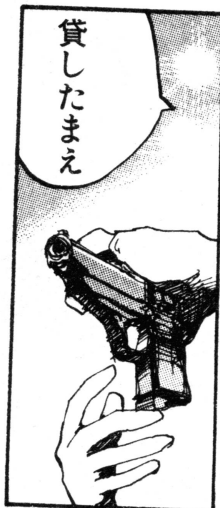
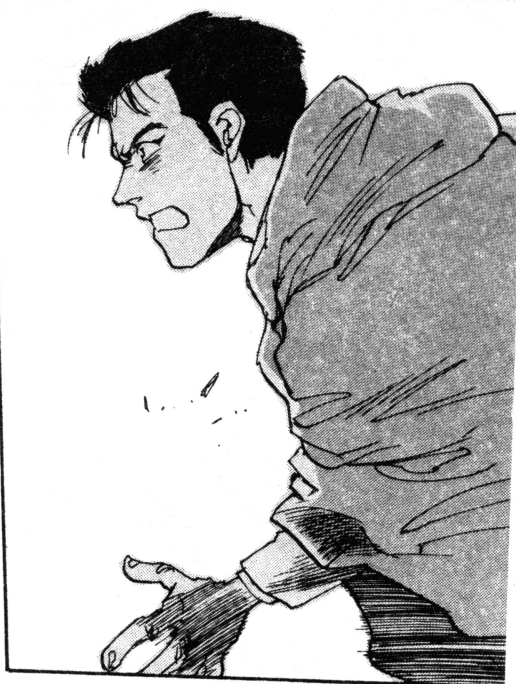


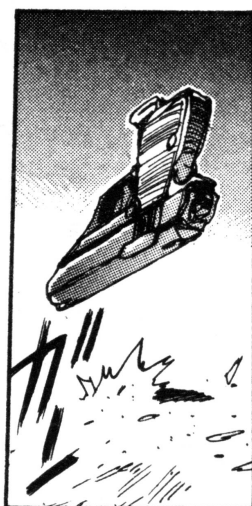
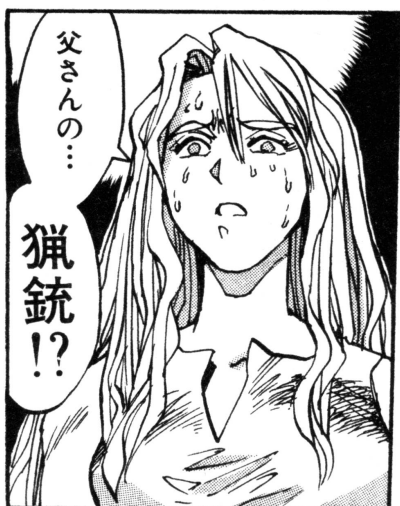
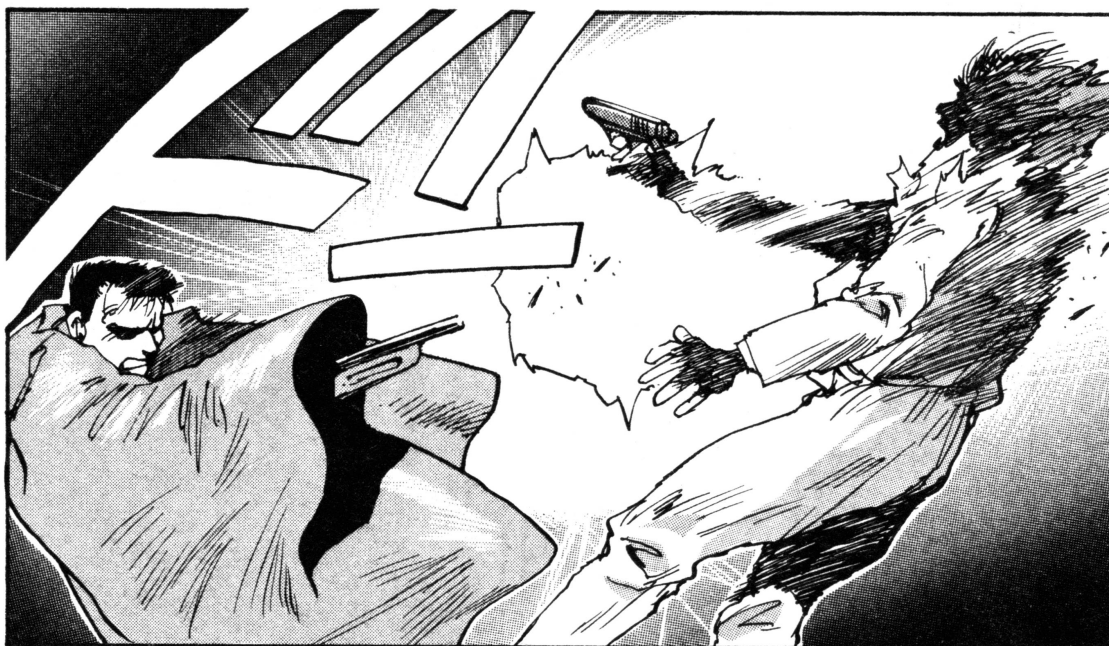
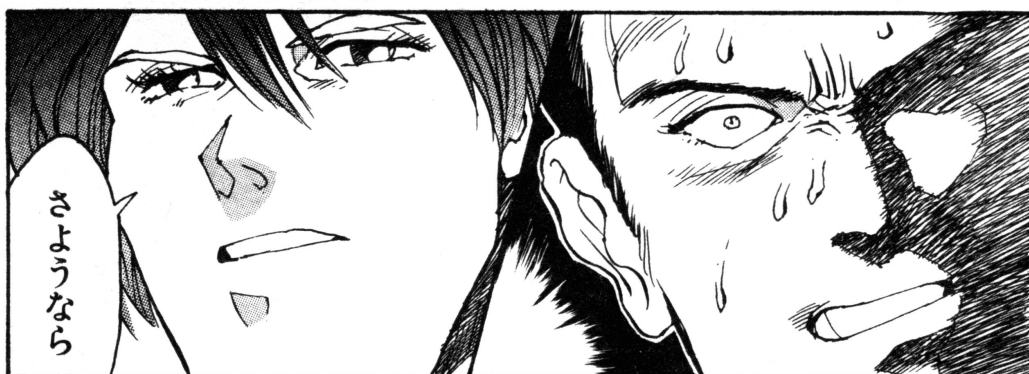


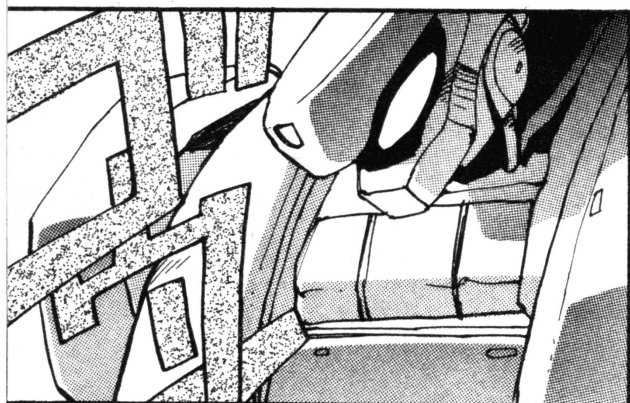
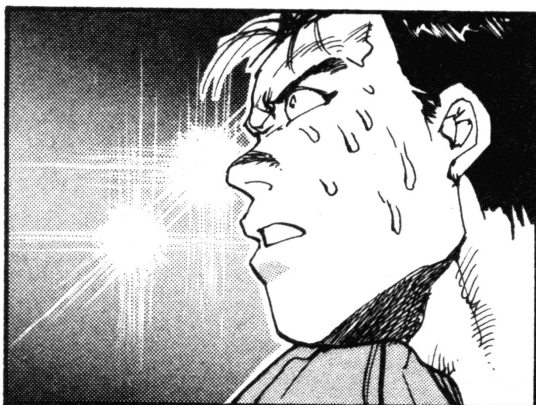












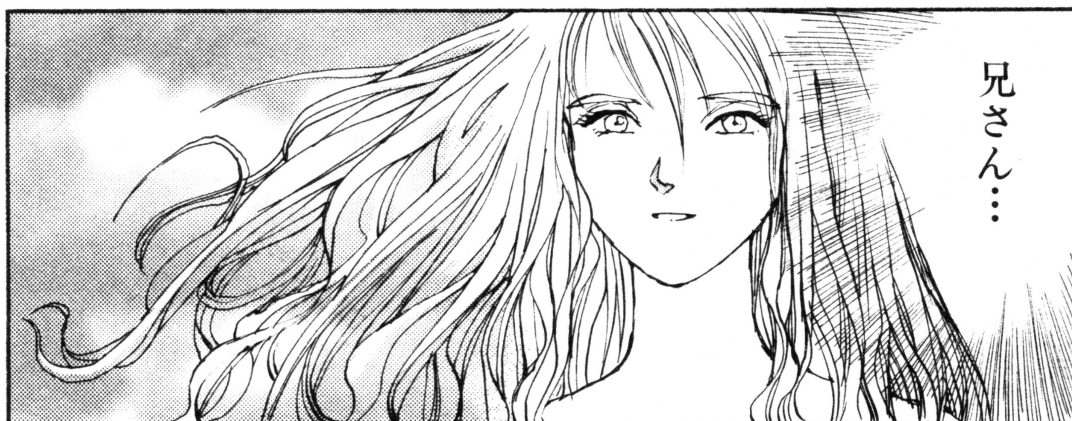
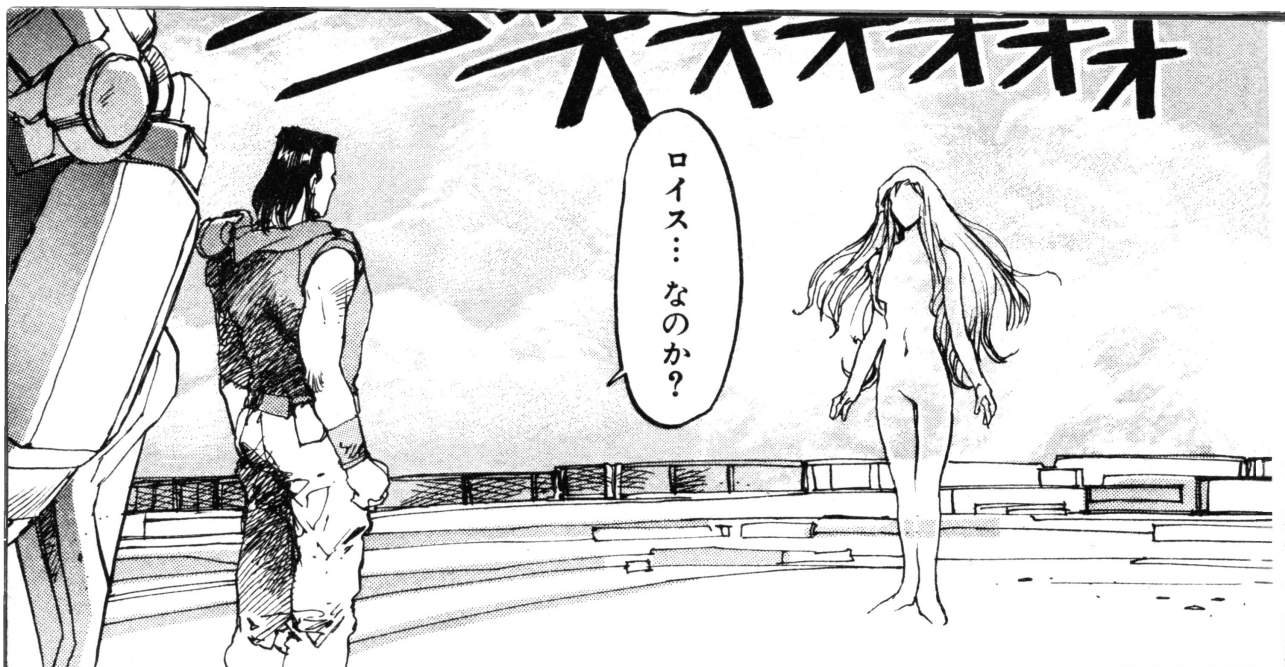
許さない!!

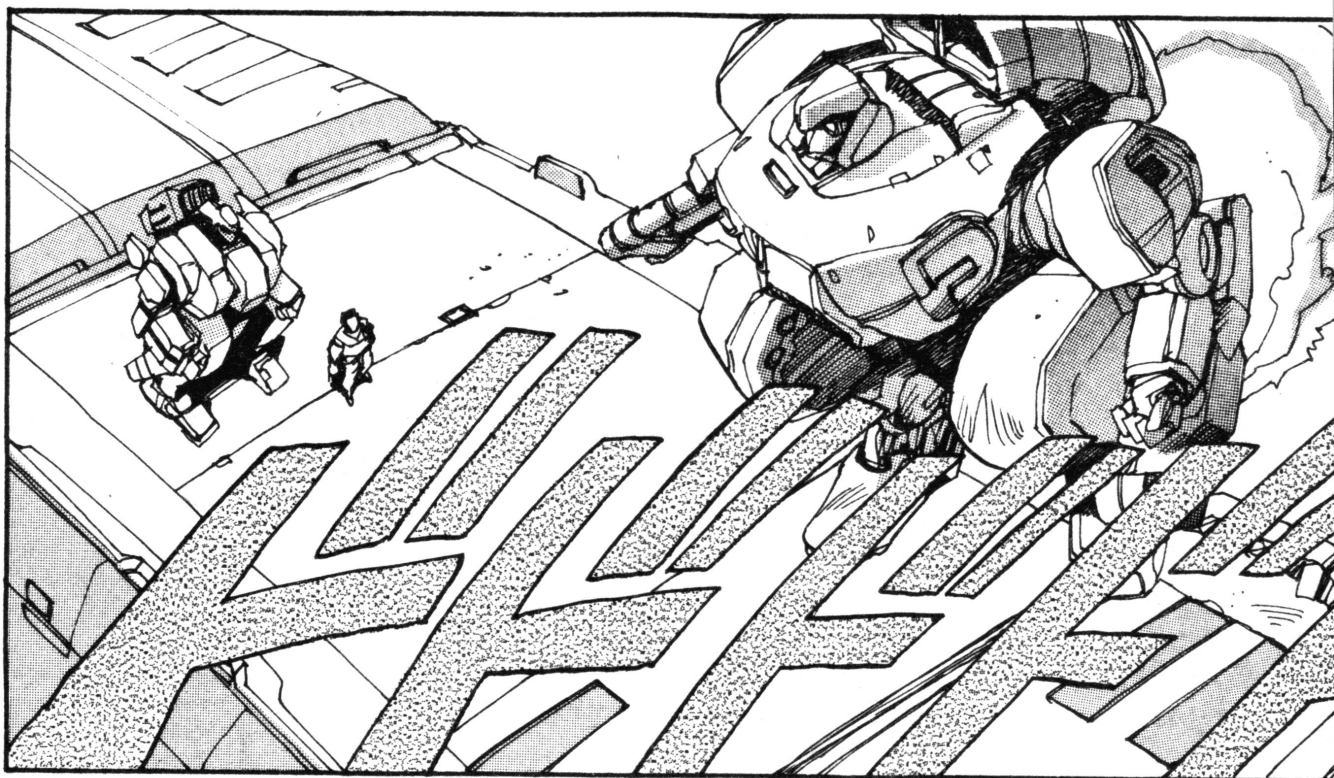
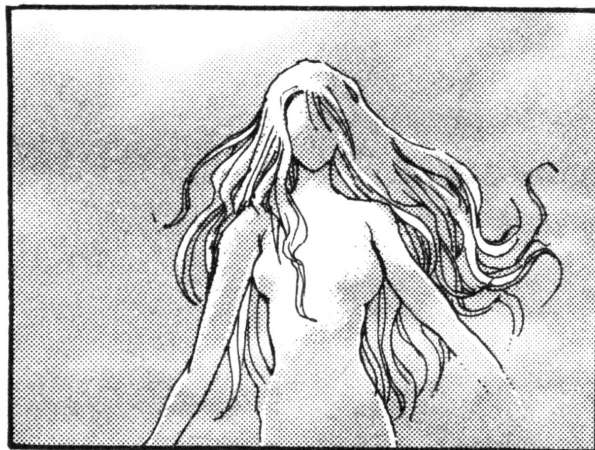
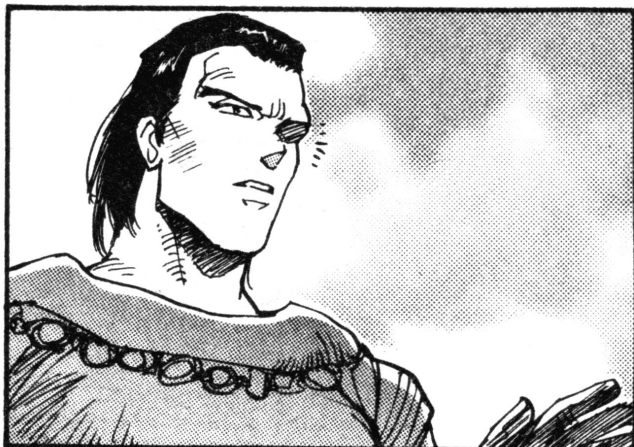
兄さんを
決して許さない!!

兄さん!!

ロイス…

ロイス……





ロイスも

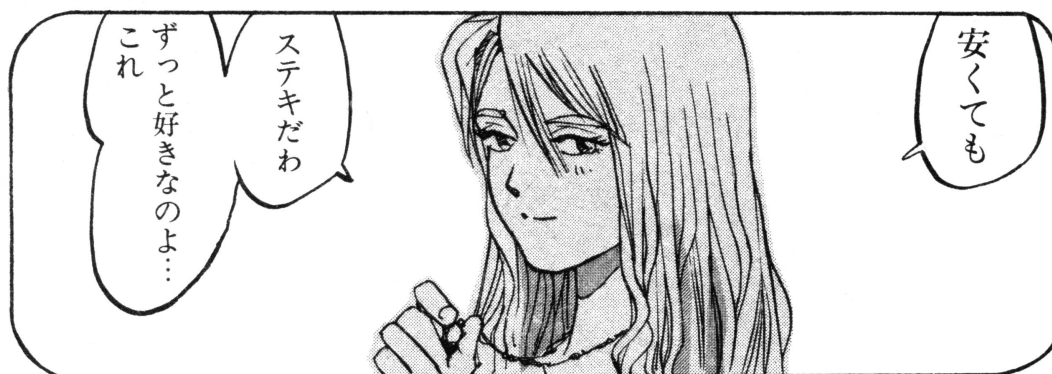
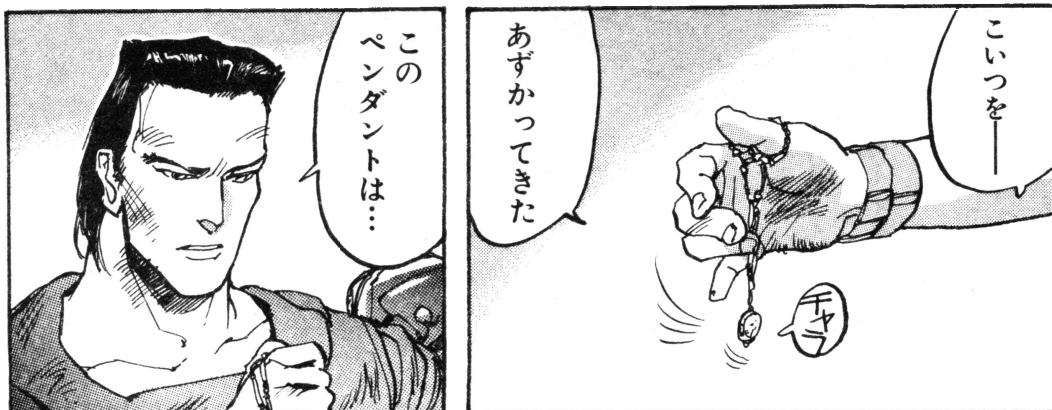
妹も一緒にか…

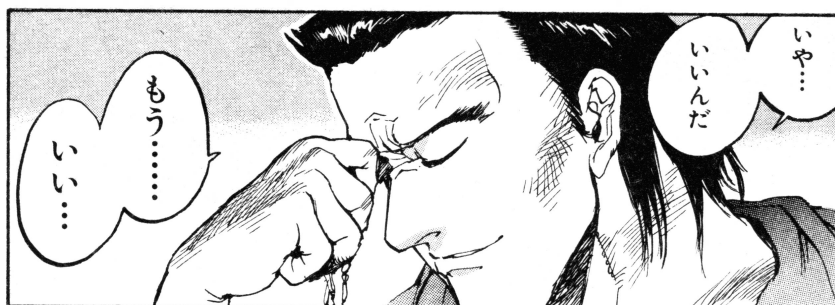
センチネルは
墜ちたよ

總統とともに
だが—



アルベルト





Vol.6 Royce Felder/END

エピロ

鋼鉄の腕は萎え
両足は折れて
全身は錆で
朽ち果てていようと
彼等は死んでなどいない
風雲が急を告げ
時代が彼等と呼ぶ時まで
彼等は静かに眠っている
平和な眠りのなかで
彼等が夢見るのは
炎と硝煙に彩られた
戦場の夢だろうか……



GUNHAZARD who's who



Albert Grabner

〔アルベルト グレイブナー〕

ベルゲン共和国の軍人であったが、クーデターに巻き込まれ、傭兵派遣機構・カーネルライト協会に所属することとなる。物語の主人公だが、この本では外伝中心の構成のため、部分的な登場である。



Blenda Lockhart

〔ブレンダ ロックハート〕

やはりカーネルライト協会所属の女傭兵。アルベルトの追跡をするところで第1話は終わるが、その後クーデター勢力によって囚われ、彼と同じ牢屋に入れられたことから行動を共にすることとなる。



Luven Alhadi

〔ルヴェン アルハーディ〕

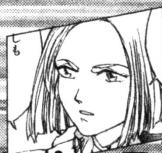
アラブ連邦軍(A R S)の破壊工作員。爆薬についての知識は群を抜く。ゾハル同盟の移動司令部・ガレオン内に拘束されるが、A R Sの依頼を受けたアルベルトたちに救出され、一緒に戦い始める。



Akihiko Sakata

〔サカタ アキヒコ〕

世界的なシールド工学者。第2話後のアルベルトらによって遂行されたルヴェン救出作戦で物語に登場。3話冒頭のテロリスト集団・赤ザメとの戦いで以降、仲間となってシールドのデータ収集に励む。



Anita Diamonte

〔アニタ ディアモンテ〕

秘密組織・ガーディアン南米支部長。戦争の恒久的維持をめざす集団・ソサエティと争っている。マチュピチュ市長の仕組んだ罠によりアルベルトたちを知り、ガーディアンとの共闘へと導く。



Genoce Felder

〔ジェノス フィルダー〕

独立傭兵集団であるクリムゾン・ブロウのリーダーである。ヤクート国で同じ反政府側の傭兵としてアルベルトと出会う以降、好敵手としてある時は対立し、ある時は手を結んで行動する。



Royce Felder

〔ロイス フィルダー〕

ソサエティ司令官。ベルゲン共和国のクーデターなどに黒幕として関与。ただし彼女自身はあくまで新世界構築のためと信じて事を行っていた。ジェノスの妹らしく、最後まで毅然として闘いを続けた。

キャラクターリスト

おれいのことはとかあとかきとか

ゲーム「ガンバスター」の世界は細かく（細かく）造ってあってキャラクターを
あれこれ動かすにはホント苦労しました。（株）スウェーデン・スウェーデン
マカ制作にあたってはいろいろとアドバイスをしてくれた編集の
奥村さん、福嶋さんお世話になりました。つたないで描きおま
え使っていただき感謝しております。ゲーム編集部様

執筆にあたり、いも意いところを手伝ってくれた森田直樹
くんありがとう。夜も遅くくれたお夜更にもお礼を言っておきまし
身重のからだにもかわらず手伝ってくれた山崎静江さん、お世話でした。
あと、ウチの奥さんの尽力がなかったらマカが書けなかった。おかげで
その他、各方面にご協力、お世話とかお礼しておりますが
とりあえず「まじめに御礼申し上げます」といってかえ
させていただきます。んーん。 松田大秀

アレンダ：なにかうしろとか
着せてリベリニとか
やりなすたな

エミルだ！



あとがき

初出／月刊コミックビーム1996年4月号～1996年9月号

ASCII COMIX

フロントミッションシリーズ **ガンハザード**

1996年11月22日初版発行

著者 ● 松田大秀

©TAISHU MATSUDA

発行所 ● 株式会社アスキー

〒151-24 東京都渋谷区代々木4-33-10

大代表／03-5351-8111 出版営業部／03-5351-8194 (ダイヤルイン)

振替／00140-7-161144

発行人 ● 廣瀬禎彦

編集人 ● 浜村弘一

編集長 ● 金田一健

編集 ● コミック編集部

担当／福島哲平+森好正

装丁・デザイン／日花隆

印刷 ● 凸版印刷株式会社

◎禁・無断転載・複製

©1996 スクウェア／OMIYA SOFT

◎定価はカバーに表示してあります。

1760159

Printed in Japan ISBN4-7561-1257-9

フロントミッションシリーズ ガンハザード

GUN HAZARD

ASCII
COMIX

フロントミッション
シリーズ

ガンハザード

松田大秀

松田大秀

ASCII COMIX

ASCII

9784756112576

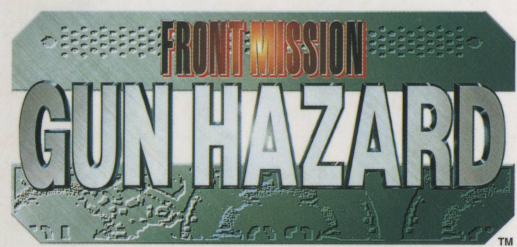
1919979006403

ISBN4-7561-1257-9

C9979 P640E

雑誌48151-73 定価640円(本体621円)

アスキー出版局



フロントミッションシリーズ・ガンハザード

ASCII COMIX

フ

フロントミッションシリーズ ガンハザード

GUN HAZARD

松田大秀

アスキーコミックス
ASCII COMIX

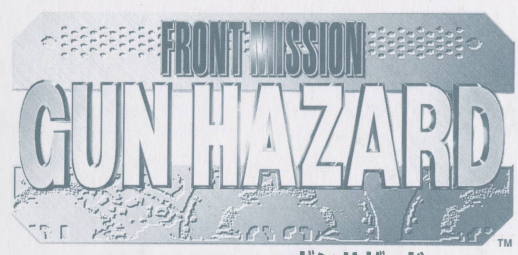
ASCII
COMIX

フロントミッション

ガンハザード

松田大秀

ASCII
アスキーコミックス



フロントミッションシリーズ・ガンハザード

ロボットミックスシリーズ ガンザード

ガンザード

松田大秀

ASCII COMIX

